

DIGITAL KEYBOARD

取扱説明書

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使 用ください。

また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いします。 ご使用の前に必ず4~7ページの「安全上のご注意」をお読みください。

オートパワーオフ機能

この楽器には、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能が搭載されています。 オートパワーオフ機能とは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。詳しくは15ページ をご覧ください。



取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■冊子マニュアル

」 取扱説明書(本書)

この楽器の基本操作について説明しています。

■電子マニュアル(PDF形式)



リファレンスマニュアル 楽器の詳細な機能と使い方を説明しています。

データリスト ボイス、スタイル、エフェクトなどのリストやMIDI関連情報を掲載しています。



iPhone/iPad接続マニュアル この楽器をiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。



コンピューターとつなぐ

この楽器とコンピューターを接続する方法や、MIDIデータを送受信する方法などを説明しています。



MIDI入門

MIDIについての基礎知識を説明しています。

上記マニュアルは、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、モデル名を入力して検索してください。

ヤマハ ダウンロード http://download.yamaha.com/jp/

■ 操作手順の記載方法について

この楽器には各種の設定画面があります。この取扱説明書では、設定画面を表示させるための操作手順を「→」で表記しています。

例: [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[▶] MENU2(メニュー 2) → カーソルボタン[▲][♥][◀][▶] SYSTEM (システム) → ENTER(決定) → TAB[◀][▶] BACKUP/RESTORE(バックアップ/リストア)

上記の例は、以下5つの手順を表わしています。

- 1. [FUNTION](ファンクション)ボタンを押します。
- 2. TAB(タブ)[▶]ボタンで「MENU2」(メニュー 2)タブを選びます。
- 3. カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で「SYSTEM」(システム)を選びます。
- 4. [ENTER](決定)ボタンを押します。
- 5. TAB(タブ)[◀][▶]ボタンで「BACKUP/RESTORE」(バックアップ/リストア)タブを選びます。

ご使用前の準備	14
各部の名称	12
こんなことができます	
対応フォーマットと機能	9
付属品(お確かめください)	9
安全上のご注意	4
取扱説明書について	2

ヘッドフォンを使う	16
画面に表示される言語を切り替える	17
楽器の特長や機能を確認する(デモ)	17
電源を入れる/切る	14
音量(マスターボリューム)を調節する	16
画面のコントラスト(明暗)を調整する	16
電源の準備	14

メイン画面の見かた 画面の操作方法	18
呼び出したい画面をすばやく表示させる	
(ダイレクトアクセス)	22
画面に表示されるメッセージの操作方法	
ファイル選択画面の見かた	
ファイルを管理する	25
文字を入力する	30
設定を工場出荷時の状態に戻す(初期化)	
データのバックアップ	32
いろいろなボイス(楽器音)で演奏する	33

1 いろいろなボイス(楽器音)で演奏する

ボイスを選んで弾く	. 33
パートごとにボイスを選ぶ	. 34
音の高さ(ピッチ)を変える	. 36
ホイールを使う	. 37
LIVE CONTROL(ライブコントロール)ノブを使う	. 38
ボイスにエフェクト(効果)をかける	. 40
鍵盤のタッチ感度を変える	. 43
新しいボイスやスタイルを追加する	
ー エクスパンションパック	. 44

2 リズムや自動伴奏に合わせて演奏する (スタイル)

		= 0
З	曲(ソング)を再生、練習、録音する	59
	スタイルを制作/編集する(スタイルクリエーター)	. 57
	右手でコードを押さえて左手でベースパートを演奏する	. 56
	スプリットポイントを設定する	. 55
	音量バランスを調節する	. 54
	スタイルをチャンネルごとにオン/オフする	. 53
	演奏に合うスタイルを呼び出す(スタイルレコメンダー)	. 52
	選んだスタイルで演奏できる曲を検索する(レパートリー)	.51
	(ワンタッチセッティング=OTS)	. 50
	選んだスタイルに合うパネル設定を呼び出す	
	コードの認識方法(フィンガリングタイプ)を変える	. 49
	スタイル再生を操作する	. 47
	スタイルに合わせて演奏する	. 45
_		

ソングを再生する	59
譜面を表示する	61

	歌詞/テキストを表示する ソングをチャンネルごとにオン/オフする	62 63
	練習機能(ガイド)を使って片手ずつ練習する	63
	くり返し冉生9 る 演奏を録音する	64
4	オーディオファイルを再生/録音する	
_	リージャリンジャルと行上) (USBオーディオプレーヤー)	69
	オーディオファイルを再生する オーディオ録音する	69 72
5	マルチパッドを使う	74
	マルチパッドを再生する	74
	コードに合わせてマルチパッドを再生する (コードマッチ)	75
	演奏と同時にマルチパッドをスタートする	
	(シンクロスタート)	75
	WAVEファイルを使ってマルチバットを作る (オーディオリンクマルチパッド)	76
6	弾きたい曲に合ったパネル設定を呼び出す	F
	(ミュージックファインダー)	78
	レコード(パネル設定)を選ぶ	78
	レコード(パネル設定)を検索する	79
	ウェブリイトからレコート(ハイル設定)を読み込む 曲データ(ソング/オーディオ)やスタイルを	00 د
	レコードとして登録する	81
7	パネル設定を登録する (レジストレーションメモリー)	83
	パンリションロケジョン	
	ハイル設止で豆球9 る	83
	ハイル設定を豆蔵する 登録したパネル設定をファイルとして保存する	83 84
_	バネル設定を豆塚りる	83 84 85
8	ハネル設定を豆螺する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー)	83 84 85
8	ハネル設定を豆類する	83 84 85 86
8	ハネル設定を豆螺する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す	83 84 85 86 86
8	ハネル設定を豆類する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する	83 84 85 86 86 88
8	ハネル設定を豆蔵する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する	83 84 85 86 86 88 88 88
8	 ハネル設定を豆類する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1] [R]端子、[AUX IN]端子) 	83 84 85 86 86 88 88 R]/ 89
8 9	 ハネル設定を豆類する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 普量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1 [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する 	83 84 85 86 86 88 88 88 89 89
8	 ハネル設定を豆飯する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1 [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB機器を接続する(IUSB TO DEVICE]端子) 	83 84 85 86 86 88 88 R]/ 89 5 90 91
8 9	 パネル設定を豆飯する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 一 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1 [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB機器を接続する([USB TO DEVICE]端子) iPhone/iPadと接続する([USB TO DEVICE]端子) 	83 84 85 86 86 88 88 R]/ 89 3 90 91 F,
9	 ハネル設定を豆飯する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 音量バランスや音色などを調節する	83 84 85 86 86 88 RJ/ 89 90 91 F. 93 93
8 9 10	 ハネル設定を豆蔵する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+I] [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB機器を接続する([USB TO DEVICE]端子) iPhone/iPadと接続する([USB TO DEVICE]端子) コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子) アンクション) 	83 84 85 86 86 88 R]/ 90 91 F. 93 2 ²)93 94
8 9 10	 ハネル設定を豆飯する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 一 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1] [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB 機器を接続する(IUSB TO DEVICE]端子 [USB TO HOST]端子) コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子) シ楽器の詳細設定と機能(ファンクション) 基本操作 	83 84 85 86 86 88 89
8 9 10	 ハネル設足を受感する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1 [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB機器を接続する(IUSB TO DEVICE]端子) IPhone/iPadと接続する([USB TO DEVICE]端子) IUSB TO HOST]端子) コンピューターと接続する(IUSB TO HOST]端子) 決器の詳細設定と機能(ファンクション) 基本操作 ファンクションリスト 	83 84 85 86 86 88 R]/ 90 91 F. 93 93 93 93 94 94 95
8 9 10 <i>§</i>	 ハネル設足を受感する 登録したパネル設定をファイルとして保存する ご 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1 [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB機器を接続する(IUSB TO DEVICE]端子) iPhone/iPadと接続する([USB TO DEVICE]端子) コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子) ファンクションリスト イレクトアクセスチャート 	83 84 85 86 86 88 R]/ 90 91 F. 93 93 93 94 94 95 96
8 <u>9</u> 10 ダ困	 ハネル設足を受感する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す 音量バランスや音色などを調節する (ミキサー) ミキサーの基本操作 他の機器と接続して演奏する リアパネル 外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+1 [R]端子、[AUX IN]端子) フットスイッチやフットコントローラーを接続する (FOOT PEDAL端子) USB機器を接続する([USB TO DEVICE]端子) IPhone/iPadと接続する([USB TO DEVICE]端子) コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子) コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子) シンピューターと接続する([USB TO HOST]端子) アンクションリスト エーターと支援 エーターと支援 リアンクションリスト ハート ったときは 	83 84 85 86 88 88 86 88 86 88 80 90 91 793 93 94 94 95 96 98
8 9 10 ダ困位	ハネル設定を豆飯する 登録したパネル設定をファイルとして保存する 登録したパネル設定を呼び出す	83 84 85 86 86

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への 損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。 お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、 「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



この表示の欄は、「死亡す る可能性または重傷を負 う可能性が想定される」 内容です。



この表示の欄は、「傷害を 負う可能性または物的損 害が発生する可能性が想 定される」内容です。

電源アダプターについて

▲ 警告



ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。

電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の 用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、 火災などの原因になります。



電源アダプターは、室内専用のため屋外及び 水滴のかかる環境では、使用しない。また、水 の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。 内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故 障の原因になります。



製品は電源コンセントの近くに設置する。



電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を 感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いてください。また、 電源スイッチを切った状態でも微電流が流れていま す。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プ ラグをコンセントから抜いてください。

楽器本体について

查生

電源 / 電源アダプター



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけ たり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。 また、電源コードに重いものをのせない。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。 エアコンの電源など交流 200V のものがあります。 誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、必ず指定のもの(102 ページ)を使用する。 異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、

実はうた電源アラブラーを使用すると、改摩、光熱、 火災などの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、 ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を 分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったもの を置かない。また、浴室や雨天時の屋外など 湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源ブラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマ八修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電のおそれがあります。

火に注意



本体の上にろうそくなど火気のあるものを 置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になりま す。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電 源スイッチを切り、電源プラグをコンセント から抜く。

必ず実行・電源コード/プラグがいたんだ場合

- ・製品から異常なにおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

・製品に亀裂が入ったり、破損したりした場合 そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障の おそれがあります。至急、お買い上げの販売店または 巻末のヤマハ修理ご相談センターにご連絡くださ い。

1、注意



すべての機器の電源を切った上で、ほかの機 器と接続する。また、電源を入れたり切ったり する前に、機器のボリュームを最小にする。 感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

演奏を始める前に機器のボリュームを最小に し、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、 適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

本体のすき間に手や指を入れない。 お客様がけがをするおそれがあります。

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になる

本体の上にのったり重いものをのせたりしな い。また、ボタンやスイッチ、入出力端子など に無理な力を加えない。

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しな

聴覚障害の原因になります。



DMI-6 3/4

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。 ●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[心](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[心](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じ る原因になります。iPad、iPhone、iPod touch のアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため iPad、 iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃~40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- ・ 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変 色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- 編集したソング/スタイル/ボイスやMIDI設定などは、保存前に電源を切ると消えてしまいます。オートパワーオフ機能(15ページ)により電源が切れた場合も同様です。保存しておきたいデータは、本体またはUSBフラッシュメモリーに保存してください(26ページ)。USBフラッシュメモリーの取り扱いについては、91ページをご覧ください。
- 本体に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリーに保存してください(26ページ)。
- ・ 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部 機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の 底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合など でもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以 下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている 著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについ ては、著作権法等に基づき、許されていません。
 - ※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽 譜データなどを含みます。
 - ※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。
- この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作 させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用く ださい。
- ・ 本製品には、株式会社リコーのBitmap Fontが使われています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
 "Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999 All Rights Reserved.

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

言語設定:英語(初期設定)

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- この製品の出荷時の言語設定は英語です。画面表示を日本語にする場合は、言語設定を日本語に切り替えてください(17ページ)。なお、この取扱説明書に掲載している画面は、言語設定が日本語の場合の画面です。

MAIN	REGIST SEQ. 12345678
LIVE CONTROL 12345678	TRANSPOSE 0 U.OCTAVE 0
STYLE	VOICE
4∕4 J=120	Live! PRIGHT1
	ConcertGrand
🚌 HardRock	Live! RIGHT2
	🗼 🕯 Strings
MULTI PAD	Cool! LEFT 🖸
Shaker&Tamb	🔚 GalaxyEP
SONG	REGIST
4/4 J=120	(0
☐ NewSong	▼ 🖭 NewBank
[00:00] OFF Audio_001	[[]
CHORD BAR-	-BEAT TEMPO

言語設定:日本語



付属品(お確かめください)

- □ 取扱説明書(本書)
- □ 製品ユーザー登録のご案内
- ユーザー登録の際に必要となるプロダクトIDが記載されています。ぜひご登録ください。
- □ 保証書
- □ 譜面立て
- □ 電源アダプター、電源コード
- □ 和文シート





対応フォーマットと機能

「GMシステムレベル1*」を、さらに表現力を高める機能にまで拡張した音源フォーマットです。多くの MIDI機器がGMシステムレベル1に対応しており、市販のミュージックデータの多くがGMシステムレベ ル1で作られています。GMシステムレベル2に対応したMIDI機器では、GMシステムレベル1で制作され たミュージックデータも再生できます。

*メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音色配列やMIDI機能に関する音源 フォーマットです。



XG

[GMシステムレベル1]をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハが提唱する音 源フォーマットです。このフォーマットで制作されたデータは、広く普及しているXG対応機器やPCソフ トウェアで再生することができます。

ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハのXGフォーマットと同様、GMシステムレベル1の 仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定していま す。



XF

GS

ソングデータの代表的なフォーマットであるSMF(スタンダードMIDIファイル)をより拡張し、歌詞表示な どを可能にしたヤマハ独自のMIDIファイルのフォーマットです。



スタイルファイルフォーマット GE

(ギターエディション)

「スタイルファイルフォーマット(SFF)」とは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した、伴奏スタ イルに関するフォーマットです。SFF GEは、ギターの表現力をさらに高めた、SFFの拡張フォーマット です。

こんなことができます トトトトトトトト

さまざまなボイス(楽器音)で演奏できます

この楽器には、ピアノ、オルガン、弦楽器、管楽器など、さまざまな楽器音をリアルに再現したボイスが搭載されてい ます。これらのボイスを使えば、まるで本物の楽器を使っているかのように、自然で表現力豊かな演奏ができます。

PIANO & GUITAR & ACCORDION & STRINGS & BASS HARMONICA CHOIR BRASS WOODWIND SYNTH DRUMS USER

この楽器には、さまざまなジャンルや、さまざまな地域の音楽に合ったスタイル(自動伴奏)が搭載されています。左手 でコードを押さえるだけで、専用のバックバンドが演奏に合わせて伴奏をしてくれます。また、イントロやエンディン グを付けたり、フィルインしたり、リアルタイムのアレンジも可能です。

マルチパッドで演奏にインパクトや変化を与えることができます

マルチパッドは、この楽器に内蔵された短いリズムパターンやフレーズです。スタイルなどの再生に合わせてマルチ パッドを鳴らすことで、演奏に変化をつけたり、インパクトを与えたりすることができます。

ボイスやスタイルを追加できます

多彩なス

この楽器は、ライブ演奏や音楽制作など目的に合わせて、ボイスやスタイルを追加して使うことができます。ヤマハの ウェブサイトから「エクスパンションパック」をダウンロードして、楽器に取り込んで使います。また、ソフトウェア 「Yamaha Expansion Manager (ヤマハエクスパンションマネージャー) | を使うと、オリジナルのパックを作るな ど、エクスパンションパックのデータ管理ができます。

DSPエフェクトを使って音に臨場感や広がりを付けられます

この楽器には、ディストーションやリバーブなどの高品質なエフェクトタイプが搭載されています。このようなDSP エフェクトを使えば、ギターの音を歪ませて迫力のある演奏をしたり、ホールで演奏しているかのように音を響かせた りできます。

タイル(自動伴奏)に合わせて演奏できます	4





40ページ

44ページ

5ページ

33ページ

オーディオファイルを再牛/録音できます

USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイ ル(WAVE)を楽器で再生できます。また、自分の演奏を オーディオファイル(WAVE)としてUSBフラッシュメモ リーに録音することもできます。録音したオーディオファ イルは、コンピューターで編集したり、友人と共有した り、オリジナルのCDを作成したりすることができます。

リアルタイムで演奏をコントロールできます―ライブコントロール

2つのノブにさまざまな機能を割り当てて操作すると、 サウンドや演奏を簡単にコントロールできます。たと えば、音の明るさ(カットオフ周波数)を変えたり、ス タイルとマルチパッドの音量バランスを調節したり、 いろいろな演奏を楽しめます。

またほかにも、ピッチベンドホイールで音の高さを変 化させたり、モジュレーションホイールでビブラート (変調効果)をかけたりと、簡単に演奏に変化をつけられ る機能も搭載しています(37ページ)。

簡単にさまざまなアルペジオ演奏ができます

鍵盤で和音を押さえるだけでアルペジオを鳴らせる ので、難しいフレーズでも簡単に演奏できます。

このほかにも、この楽器には演奏や音楽制作の可能性を広げてくれる、そのような機能がたくさん搭載されています。本 書をよくお読みのうえ、ぜひご活用ください。







42ページ



38ページ

各部の名称

■トップパネル



- [0](スタンバイ/オン)スイッチ.....14ページ 電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

- 【TAP TEMPO](タップテンポ)ボタン、 TEMPO(テンポ)[-]/[+]ボタン......48ページ テンポを調節します。
- ⑤ [METRONOME] (メトロノーム)ボタン………35ページ メトロノームを鳴らします。
- ⑤ TRANSPOSE(トランスポーズ)[-]/[+]ボタン....36ページ 半音単位で移調します。
- ⑦ STYLE(スタイル)カテゴリーボタン......45ページ スタイルカテゴリーを選びます。
- ③ SONG CONTROL(ソングコントロール)ボタン…60ページ ソング再生をコントロールします。
- STYLE CONTROL(スタイルコントロール)ボタン...47ページ スタイル再生をコントロールします。

(SONG FUNCTION)

(ソング機能)ボタン......23、59ページ ソング選択などを行なうSONG FUNCTION MENU画面 を表示します。

- [FADE IN/OUT](フェードイン/アウト)ボタン….48ページ スタイルやソングを再生するときにフェードインしたり、 フェードアウトしたりします。
- [MODULATION](モジュレーション)ホイール…37ページ
 鍵盤演奏音にビブラート(変調効果)などをかけます。





- 🕼 画面、画面操作ボタン......19ページ
- [CHANNEL ON/OFF] (チャンネルオン/オフ)ボタン…………53、63ページ スタイルやソングのチャンネルのオン/オフ設定画面を表示します。
- [BALANCE] (バランス)ボタン……………54、72ページ
 パート間の音量バランスの設定画面を表示します。
- [FUNCTION](ファンクション)ボタン…………94ページ
 詳細設定を行なったり、オリジナルのスタイル、ソング、
 マルチパッドを制作したりします。
- ② REGISTRATION MEMORY (レジストレーションメモリー)ボタン…………83ページ パネル設定を保存したり、呼び出したりします。
- ② [OTS LINK] (OTS リンク)ボタン......51ページ OTS(ワンタッチセッティング)リンク機能をオン/オフします。

🐵 MULTI PAD CONTROL

(マルチパッドコントロール)ボタン…………74ページ マルチパッドのリズムパターンやフレーズを再生します。

- ② PART SELECT(パート選択)ボタン......34ページ 鍵盤パートを選びます。
- PART ON/OFF(パートオン/オフ)ボタン……35ページ 鍵盤パートのオン/オフを切り替えます。
- [USB]ボタン……92ページ
 USBフラッシュメモリー内のファイルを表示します。
- ② VOICE EFFECT(ボイスエフェクト)ボタン……40ページ 鍵盤演奏音にさまざまなエフェクト(効果)をかけます。
- UPPER OCTAVE(オクターブ)[-][+]ボタン....36ページ
 鍵盤演奏音のピッチ(音の高さ)を1オクターブずつ上げ
 下げします。

パネル設定

この楽器では、パネルにあるボタンを使ってボイスやス タイルの選択、チューニングなどさまざまな設定ができ ます。これらパネル上のボタンを使って行なった設定を 「パネル設定」と呼びます。

ご使用前の準備

電源の準備

図の順序で電源アダプターを接続します。



▲ 警告

電源アダプターは、必ず指定のもの(102ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火 災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

⚠ 注意

本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の順序で行なってください。

電源を入れる/切る

72/2- ボリューム [MASTER VOLUME]ダイアルを左に回し、音量を最小にします。







- 2 [0](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。 画面が表示されたら、鍵盤を弾いて音を聞きながら音量を徐々に上げてください。
- 3 電源を切るには、もう一度[①](スタンバイ/オン)スイッチを押します (約1秒)。

⚠ 注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のお それがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

注記

フットペダルを踏んだり、 [PITCH BEND]ホイールな どを動かしたりしながら電源 を入れないでください。楽器 が誤動作する原因になりま す。

NOTE

メイン画面が表示されるまで は、電源を切ったり、ボタン を操作したり、鍵盤を演奏し たりできません。 注記

録音中、編集中、メッセージ表示中は、[心](スタンバイ/オン)スイッチを押しても電源は切れません。電源を切りたい 場合は、録音、編集、メッセージ表示が終了してから[心](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を切ってください。 やむを得ず強制終了したい場合は、[心](スタンバイ/オン)スイッチを3秒以上押してください。ただし、強制終了する と、データが失われたり、楽器や外部機器が故障したりする場合があります。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源が切れるまでの時間は、初期設定では30分ですが、変更することもできます。

1 設定画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] UTILITY(ユーティリティー) → [ENTER](決定) → TAB[◀] CONFIG 1(コンフィギュレーション 1)



2 カーソルボタン[▼]で、「4 AUTO POWER OFF」を選びます。

3 [4 ▲▼]/[5 ▲▼]ボタンで、電源が切れるまでの時間を設定します。

自動で電源を切りたくない(オートパワーオフ機能を解除したい)場合は、 「DISABLED」を選びます。 これで設定は完了です。 [EXIT](戻る)ボタンを何度か押すと、メイン画面に戻ります。



注記

オートパワーオフ機能により 電源が切れると、USER (ユーザー)メモリーやUSB フラッシュメモリーに保存し ていないデータは失われま す。電源が切れる前に必ず データを保存してください (26ページ)。

音量(マスターボリューム)を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、[MASTER VOLUME]ダイアルを左右に回して、全体音量を調節します。



⚠ 注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

画面のコントラスト(明暗)を調整する

リアパネルの[LCD CONTRAST]つまみを回して、画面のコントラストを調整します。



ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンは[PHONES]端子に接続して使います。



⚠ 注意

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

画面に表示される言語を切り替える

画面に表示されるメッセージ、ファイル名などの言語(英語、日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリ ア語のいずれか)を指定します。

1 設定画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[▶] MENU2 (メニュー 2) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] SYSTEM(システム) → [ENTER](決定) → TAB[◀] OWNER(オーナー)



[4 ▲▼]/[5 ▲▼]ボタンで言語を選びます。
 これで言語の切り替えは完了です。
 [EXIT](戻る)ボタンを何度か押すと、メイン画面に戻ります。

楽器の特長や機能を確認する(デモ)

デモでは、デモ曲を聞くだけでなく、この楽器の特長や機能を簡単に知ることができます。

[FUNCTION](ファンクション)ボタンと[MEMORY](メモリー)ボタンを同時に押して、デモのメニューを表示させます。



カーソルボタン[▲][▼]で説明を見たいメニューを選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。

カーソルボタン[▶]を押して「OVERVIEW」(オーバービュー)を選ぶと、さまざ まな機能を簡単に説明するオーバービューデモ画面が表示されます。 <u>NOTE</u> 一つ前の回

ーつ前の画面に戻るには、 [EXIT](戻る)ボタンを押しま す。

選んだメニューにさらに番号が付いた項目がある場合、カーソルボタン[▲][▼] を押して見たい項目を選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。

3 [EXIT](戻る)ボタンを何度か押して、デモ画面を抜けます。



メイン画面の見かた

電源を入れたあとに表示される画面がメイン画面です。メイン画面を見れば、どのボイスが選ばれているか、どのス タイルが選ばれているかなど、楽器の設定状態がひとめでわかります。演奏中に表示させておくと便利です。





[DIRECT ACCESS](ダイレ クトアクセス)ボタンを押し てから[EXIT](戻る)ボタンを 押すと、どの画面からでもす ぐにメイン画面に戻れます。

● スタイル情報

選ばれているスタイルの名前、拍子、テンポが表示されます(45ページ)。

2 マルチパッドバンク名

選ばれているマルチパッドバンクの名称を表示します(74ページ)。

3 ソング情報

選ばれているソングの名前、拍子、テンポが表示されます。

④ ボイス名

RIGHT1(ライト1)、RIGHT2(ライト2)、LEFT(レフト)パートで選ばれてい るボイスの名前が表示されます。また、PART SELECT(パートセレクト)ボタ ンで選んでいるパートには、「P」が表示されます(34ページ)。

しジストレーションメモリーバンク名

選ばれているレジストレーションメモリーバンクの名称を表示します (84ページ)。

オーディオファイル情報

選ばれているオーディオファイルの情報(再生時間、ファイル名、リピートモードのアイコン)が表示されます。また、オーディオ録音待機中は「WAITING」と表示されます。オーディオ録音中は「RECORDING」と表示されます。

7 コード名

[ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンがオンになっている場合は、コード鍵域で 押さえたコード名が表示されます。コードデータが入っているソングの再生中 は、現在のコード名が表示されます。

NOTE

レフトホールド(35ページ) がオンのときは、パート名の 右側に「H」が表示されます。

NOTE

フリーズ(85ページ)機能が オンのときは、レジストレー ションメモリーバンク名欄の 右上に「F」が表示されます。

⑧ 小節/拍

ソング、またはスタイルの再生位置(小節数、拍数)が表示されます。

9 テンポ

ソング、またはスタイルのテンポが表示されます。

🛈 スプリットポイント

スプリットポイントの位置が表示されます(55ページ)。

① ライブコントロールノブ情報

ノブに割り当てられる8つの機能の組み合わせのうち、現在選ばれている組み 合わせの番号が表示されます(38ページ)。

P トランスポーズ

半音単位のトランスポーズ量が表示されます(36ページ)。

🚯 アッパーオクターブ

上げ下げしているオクターブ量が表示されます(36ページ)。

🕑 レジストレーションシーケンス

レジストレーションシーケンスがオンの場合、レジストレーションメモリー (83ページ)の順番が表示されます。レジストレーションシーケンスについて は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアル(7章)をご覧ください。

画面の操作方法

画面に表示された各項目は、画面の下にあるボタンやダイアルを使って設定します。



画面上のカーソルを上下左右に移動させる場合に使用します。 ファイル選択画面(23ページ)では、カーソルボタンでカーソルを動かし、[ENTER](決定)ボタンを押します。



データダイアル

画面に表示されている内容によって、2つの使い方があります。

■設定値を変更する

設定項目が画面の下に表示されている場合、変更したい項目を[1 ▲▼]~[8 ▲▼]ボタンで選んだあと、データダイ アルを回して設定値を変更します。



テンポやトランスポーズのように、設定値が画面中央に表示される場合も、データダイアルを使って設定値を変更で きます。たとえば、テンポ値は、TEMPO(テンポ)[-]または[+]ボタンを押すと、設定値が画面中央に表示されま す。

■ファイル(ボイス、スタイル、ソングなど)を選ぶ

カーソルボタンでの操作と同様です。ファイル選択画面(23ページ)を表示させ、データダイアルでカーソルを動かし、[ENTER](決定)ボタンを押します。

本書では、項目やファイルを選ぶときの操作説明は、カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]を使った操作方法で説明します。

設定値を増減させたり、画面に表示されたYES/NOを選んだりします。 2つのボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



-/NO		
	\square	1 Fund

選ばれている項目の値を、[+/YES]、 [-/NO]ボタンで調整します。

TAB(タブ)[◀][▶]ボタン

表示中の画面上部にタブがある場合、このボタンで切り替えます。



[EXIT](戻る)ボタン

表示中の画面を閉じて、1つ前の画面に戻ります。何度か押すと、メイン画面(18 ページ)に戻ります。



このボタンを使って、ボイス やスタイルを選ぶこともでき ます。[ENTER](決定)ボタン を押さなくても選択できるの で、試聴したいときなどに便 利です。 ボタンの上に表示された項目を選んだり、設定値を増減させたりします。本書では、1~8の数字の上にあるボタン を[▲]、下にあるボタンを[▼]と表記します。





この列に表示された項目は、 [1 ▼]~[8 ▼]ボタンで選び ます。 スライダーやノブの形状の設定項目は、[1 ▲▼] ~[8 ▲▼]ボタンで値を調整します。 値を初期設定値に戻したい場合は、設定項目の [▲][▼]ボタンを同時に押します。

呼び出したい画面をすばやく表示させる(ダイレクトアクセス)

ダイレクトアクセス機能を使うと、呼び出したい画面をすばやく表示できます。 この機能で呼び出せる画面は、「ダイレクトアクセスチャート」(96ページ)をご覧ください。

- [DIRECT ACCESS] (ダイレクトアクセス)ボタンを押します。 画面にメッセージが表示されます。
- 2 呼び出したい画面に応じたボタンを押します(またはノブやホイールを 動かすか、ペダルを踏みます)。

たとえば、[METRONOME](メトロノーム)ボタンを押すと、メトロノームの音 量などの設定画面が表示されます。



画面に表示されるメッセージの操作方法

操作中、画面にメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら、[+/YES]、[-/NO]ボタン、 または、対応する[1 ▲▼]~[8 ▲▼]ボタンを押してください。



ファイル選択画面の見かた

ボイス、スタイル、ソングなど、楽器内のさまざまなデータ(ファイル)を選ぶための画面をファイル選択画面といい ます。

■ファイル選択画面の呼び出しかた

ボイス、スタイル、ソングなどのファイル選択画面は、メイン画面から呼び出すことができます。カーソルボタン [▲][▼][◀][▶]でそれぞれの項目を選び、[ENTER]ボタンを押すと表示されます。また、ボイス、スタイル、ソン グ選択画面は、下記の方法でも表示できます。

•ボイス、スタイル選択画面

ボイスカテゴリーボタン、またはスタイルカテゴリーボタンを押すと表示されます。

ソング選択画面

[SONG FUNCTION](ソング機能)ボタンを押して、画面下部にSONG FUNCTION MENU画面を表示させます。画面の下の[1 ▲▼](SELECT)ボタンを押すと表示されます。

NOTE

ソング選択画面は、[DIRECT ACCESS](ダイレクトアクセ ス)ボタンを押してから [SONG FUNCTION](ソング 機能)ボタンを押しても表示 できます。





● データの保存場所

PRESET(プリセット)..楽器にあらかじめ内蔵されているデータが表示されま す。

USER(ユーザー)………自分で録音したり編集したりして、楽器本体のUSER (ユーザー)メモリーに保存したデータが表示されます。 インストールしたエクスパンションボイスやスタイル もUSER(ユーザー)タブのエクスパンションフォル ダーに保存されます。

USB……USBフラッシュメモリーに保存されたデータが表示されます。このタブは、USBフラッシュメモリーが [USB TO DEVICE]端子(88ページ)に接続されている ときのみ表示されます。

2 データ(ファイル)一覧

画面上で選べるファイルが表示されます。11ファイル以上ある場合は、一覧の下のページ番号(P1、P2など)に該当するボタン([1 ▲]、[2 ▲]など)を押すと、画面に表示するページを切り替えられます。ページが多くなると「NEXT」、「PREV」と表示されます。

③ MENU1(メニュー1)/MENU2(メニュー2)

[8 ▼]ボタンを押すと、ファイル選択画面の右下の表示が、「MENU1」(メ ニュー 1)または「MENU2」(メニュー 2)に切り替わります。MENU1(メ ニュー 1)では、選んでいるファイル(ボイス、スタイル、ソングなど)に関連し た機能が、MENU2(メニュー 2)では、ファイル/フォルダー管理(25ページ) のための機能が表示されます。

ひとつ上の階層を表示させる

フォルダーに保存されたファイルが表示されているとき、画面右下に「上へ」というボタンが表示されます。 [8 ▲](上へ)ボタンを押すと、ひとつ上の階層が表示されます。

≪内蔵ボイス選択画面の例≫

内蔵のボイスは、カテゴリー別のフォルダーに納められています。



NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。

NOTE

[USB]ボタンを押すと、 USBフラッシュメモリーに保 存したボイス、スタイルなど のファイルを選べます(92 ページ)。

NOTE

内蔵のデータ、オリジナル データのいずれも、「ファイ ル」として保存されます。

ファイルを管理する

この楽器で作ったデータ(録音したソング、編集したボイスなど)は、楽器本体の USER(ユーザー)メモリーまたはUSBフラッシュメモリーにファイルとして保存し ます。ファイルが増えると、目的のファイルを探すのが大変になります。フォルダー を作ってファイルを整理したり、ファイルにわかりやすい名前を付けたり、不要な ファイルを削除したりすることで、ファイルが探しやすくなります。ここでは、ファ イルの管理について説明します。ファイルの管理は、ファイル選択画面で行ないま す。

NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。

プロテクトがかかったソングの制限

内蔵ソングや市販のミュージックデータ(ソング)の中には、コピー防止や誤消去防止のためにプロテクトがかかっているものがあります。プロテクトがかかったソングは、ソング選択画面で、ソング名の左上に表示が出ます。表示の内容と制限事項の詳細は下記のとおりです。

ַע	ノヴ 「アッサット」ユーザー」 USB1
Prot.2 Data001	Prot.2E 5 Data004
Prot.2 - Data002	
Prot.2E 79 Data002	

• Prot.1

本体のUSER(ユーザー)メモリーにコピーした内蔵ソングにつきます。USER(ユーザー)メモリー上でコピー/ 移動/削除できますが、USBフラッシュメモリーにはコピー/移動/保存できません。

Prot.2

ヤマハのプロテクトフォーマットがかかったソングです。コピーできません。USER(ユーザー)メモリーとUSB フラッシュメモリーに移動できます。

Prot.2E

上記Prot.2を編集し、保存したソングです。編集元のファイルと同じフォルダーに保存します。コピーができません。USER(ユーザー)メモリーとUSBフラッシュメモリーに移動/保存できます。

NOTE

 Prot.2とProt.2Eのソングは、同じフォルダーに保存してください。Prot.2Eのソングは、同じフォルダーにProt.2のソン グがないと再生できません。また、Prot.2Eのソングを移動するときは、必ずProt.2のソングと一緒に移動してください。

・画面上でProt.2のソング名やアイコンを変更しないでください。Prot.2Eのソングが再生できなくなります。

録音したソングや編集したボイスなどのデータを本体のUSER(ユーザー)メモリーまたはUSBフラッシュメモリー にファイルとして保存します。

】 ファイル選択画面(23ページ)でTAB(タブ)[◀][▶]ボタンを押して、 ファイルを保存したい場所(USERまたはUSB)を選びます。

すでにあるフォルダーの中に保存したい場合は、フォルダーも選びます。



NOTE

PRESET(プリセット)タブの 中や、USER(ユーザー)タブ の「Expansion」(エクスパン ション)フォルダー(44ペー ジ)の中にはファイルを保存 することができません。

2 画面右下に「MENU2」(メニュー 2)と表示されていることを確認します。

「MENU1」(メニュー 1)が表示されていたら、[8 ▼]ボタンを押して、 「MENU2」を表示させます。

3 [6 ▼](保存)ボタンを押します。 文字入力画面が表示されます。

SAVE 🖵	NewSong_
かな漢 あ	かきたなはOK
ICON ま	やろわ で DELETE GANCEL

4 必要に応じて、ファイル名を入力します(30ページ)。

ファイル名は、あとから変更できます(28ページ)ので、そのまま次の手順に進んでも構いません。

5 [8 ▲] (OK) ボタンを押して、ファイルを保存します。

すでに同じ名前のファイル/フォルダーがある場合、上書きするかどうかのメッ セージが表示されます。上書き保存したくない場合は、[-/NO]ボタンを押し、 名前を変更して保存してください。 保存したファイルは、アルファベット順/50音順に並べ替えられて表示されま す。 NOTE

保存を中止するときは、[8 ▼](CANCEL)ボタンを押し ます。

NOTE

USER(ユーザー)タブで保存 できるファイルとフォルダー の数は、ファイルサイズや ファイル名の長さによって異 なります。 新しいフォルダーを作ります。フォルダーには、ファイルを種類別に分けて入れることができます。ファイル整理に活用しましょう。

ファイル選択画面(23ページ)でTAB(タブ)[◀][▶]ボタンを押して、 フォルダーを作成したい場所(USERまたはUSB)を選びます。 すでにあるフォルダーの中に作成したい場合は、フォルダーも選びます。



NOTE

PRESET(プリセット)タブの 中や、USER(ユーザー)タブ の「Expansion」(エクスパン ション)フォルダー(44ペー ジ)の中にはフォルダーを作 れません。

NOTE

ひとつのフォルダーに保存で きるファイル/フォルダーの 数は500までです。

NOTE

USER(ユーザー)メモリーに 作成できるフォルダーの階層 は3階層までです。保存でき るファイルとフォルダーの数 は、ファイルサイズやファイ ル名の長さによって異なりま す。

2 画面右下に「MENU2」(メニュー 2)と表示されていることを確認します。

「MENU1」(メニュー 1)が表示されていたら、[8 ▼]ボタンを押して、 「MENU2」を表示させます。

3 [7 ▼](フォルダー)ボタンを押します。 文字入力画面が表示されます。

NEH FOLDER	NewFolder
<u>かな漢</u> (あ) (か) (き) (た) (な) (は) (OK
(ま) (や) (ら) (わ) (***) (DELETE (GANG)

4 フォルダー名を入力します(30ページ)。

すでに同じ名前のフォルダーがある場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。上書き保存したくない場合は、[-/NO]ボタンを押し、名前を変更して保存してください。

作成したフォルダーは、アルファベット順/50音順に並べ替えられて表示されます。

NOTE

新しいフォルダーの作成を中止 するときは、[8 ▼](CANCEL) ボタンを押します。

注記

フォルダー名に「Expansion」 を使用しないでください。エ クスパンションパック(44 ページ)を楽器にインストー ルすると、このフォルダーに 上書き保存され、フォルダー 内にあるすべてのデータが失 われます。

ファイル/フォルダーの名前を変える

ファイル/フォルダーの名前を書き換えます。

- ファイル選択画面(23ページ)でTAB(タブ)[◀][▶]ボタンを押して、名前を変えたいファイル/フォルダーがある画面を表示させます。
- 2 画面右下に「MENU2」(メニュー 2)と表示されていることを確認します。

「MENU1」(メニュー 1)が表示されていたら、[8 ▼]ボタンを押して、 「MENU2」を表示させます。

3 [] ▼](名前)ボタンを押します。

画面下部に、名前を変えたいファイル/フォルダーの選択を促すメッセージが表 示されます。



- 4 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]を押して、名前を変えたいファイル/ フォルダーを選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。
- 5 [8 ▼](OK)ボタンを押して、名前を変えるファイル/フォルダーを確定します。

文字入力画面が表示されます。

5 ファイル/フォルダーの名前を入力します(30ページ)。 すでに同じ名前のファイルがある場合、上書きするかどうかのメッセージが表示 されます。上書き保存したくない場合は、[-/NO]ボタンを押し、名前を変更し て保存してください。 名前を変えたファイル/フォルダーはアルファベット/50音順に並べ替えられて 表示されます。

注記 フォルダー名に「Expansion」 を使用しないでください。エ クスパンションパック(44 ページ)を楽器にインストー ルすると、このフォルダーに 上書き保存され、全データが 失われます。

名前変更を中止するときは、 [7 ▼](CANCEL)ボタンを押

ファイルをコピーまたは移動する

ファイルを別の保存場所にコピーまたは移動します。元の場所に残したまま別の場所 にコピーしたり、元の場所からは削除して別の場所に移動したりします。フォルダー 単位でもコピーできますが、移動はできません。

- ファイル選択画面(23ページ)で、コピーまたは移動したいファイル/ フォルダーがあるタブを選びます。
- 2 画面右下に「MENU2」(メニュー 2)と表示されていることを確認します。

「MENU1」(メニュー 1)が表示されていたら、[8 ▼]ボタンを押して、 「MENU2」を表示させます。

NOTE

NOTE

します。

・PRESET(プリセット)タブ にあるファイルはコピーで きますが、移動はできませ ん。

- ・USER(ユーザー)タブの 「Expansion」(エクスパン ション)フォルダー(44 ページ)にあるファイルや フォルダーはコピー/移動 できません。
- 市販のミュージックデータ は著作権で保護されていま すので、コピー機能は個人 で楽しむ範囲でご利用くだ さい。市販のミュージック データの中には、コピーで きないものもあります。

次ページへつづく

PRESET(プリセット)タブの 中や、USER(ユーザー)タブ の[Expansion](エクスパン ション)フォルダー(44ペー ジ)の中にあるファイルや フォルダーは、名前を変更で きません。

NOTE

3 コピーする場合は[3 ▼](コピー)ボタン、移動する場合は[2 ▼](カット)ボタンを押して、ファイル/フォルダーをコピーまたはカットします。



画面下部に、コピー /移動したいファイル/フォルダーの選択を促すメッセージ が表示されます。

4 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でコピー /移動したいファイル/フォル ダーを選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。

選択したファイル/フォルダーが反転表示されます。ファイル/フォルダーの選択を解除するときは、[ENTER](決定)ボタンをもう一度押します。 表示されているファイル/フォルダーをすべて選ぶには、[8 ▼](ALL)ボタンを 押します。画面に表示されているすべてのファイル/フォルダー(画面に表示さ れていない別ページも含む)が選択されます。もう一度[8 ▼](ALL OFF)ボタン を押すと、すべての選択が解除されます。

- 5 [7 ▼](OK)ボタンを押して、コピー /移動するファイル/フォルダーを 確定します。
- 6 TAB(タブ)[◀][▶]ボタンを押して、ファイル/フォルダーのコピー先/ 移動先(USERまたはUSB)を選びます。

USER(ユーザー)またはUSBタブにある特定のフォルダーを指定したい場合は、 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]ボタンでフォルダーを選んだあと、[ENTER](決 定)ボタンを押します。

7 [4 ▼](貼り付け)ボタンを押して、手順4で選んだファイル/フォルダーを貼り付けます。

すでに同じ名前のファイルがある場合、上書きするかどうかのメッセージが表示 されます。上書き保存したくない場合は、[-/NO]ボタンを押し、名前を変更し て保存してください。 コピー /移動したファイル/フォルダーは、アルファベット/50音順に並べ替え られて表示されます。

ファイル/フォルダーを削除する

ファイル/フォルダーを削除します。

- ファイル選択画面(23ページ)で、削除したいファイル/フォルダーがある画面を表示させます。
- 2 画面右下に「MENU2」(メニュー 2)と表示されていることを確認します。
 「MENUL1 (メニュー 1)がまデオカブルたら、「8 ■1ボカンを押して

「MENU1」(メニュー 1)が表示されていたら、[8 ▼]ボタンを押して、 「MENU2」を表示させます。

3 [5 ▼](削除)ボタンを押します。 画面下部に、削除したいファイル/フォルダーの選択を促すメッセージが表示されます。

次ページへつづく

NOTE

コピー /移動を中止するとき は、[6 ▼](CANCEL)ボタン を押します。

NOTE

PRESET(プリセット)タブの 中や、USER(ユーザー)タブ の「Expansion」(エクスパン ション)フォルダー (44ペー ジ)の中にあるファイルや フォルダーは削除できませ ん。



4 カーソルボタン[▲][▼][◀][▼]を押して、削除したいファイル/フォル ダーを選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。 選択したファイル/フォルダーが反転表示されます。ファイル/フォルダーの選 択を解除するときは、[ENTER](決定)ボタンをもう一度押します。 表示されているファイル/フォルダーをすべて選ぶには、[8 ▼](ALL)ボタンを 押します。画面に表示されているすべてのファイル/フォルダー(画面に表示さ れていない別ページも含む)が選択されます。もう一度[8 ▼](ALL OFF)ボタン

NOTE

削除を中止するときは、[6 ▼](CANCEL)ボタンを押し ます。

- 5 [7 ▼](OK)ボタンを押して、削除するファイル/フォルダーを確定します。
- 6 画面メッセージに従って操作を進めます。

を押すと、すべての選択が解除されます。

- ・YES.....選んだファイル/フォルダーを削除します。
- ・YES ALL選んだファイル/フォルダーすべてを一度に削除します。
- •NO.....選んだファイル/フォルダーを削除せず、残します。
- CANCEL 削除を中止します。

文字を入力する

ファイル/フォルダーに名前を付けたり、ミュージックファインダー (79ページ)のキーワードを入力したりすると きなどの文字入力方法を説明します。文字入力は、下記のような画面で行ないます。



】 [1 ▲]ボタンを押して、文字種を切り替えます。

言語設定(17ページ)が日本語の場合は、下記の文字種を選べます。

- ・かな漢.....ひらがな(漢字変換)、全角記号
- ・カナ全角カタカナ、全角記号
- ・
 か
 ……
 半角カタカナ、半角記号
- ・ABC......全角アルファベット(大文字、小文字)、全角数字、全角記号
- ・ABC半角アルファベット(大文字、小文字)、半角数字、半角記号

言語設定が日本語以外の言語の場合は、下記の文字種を選べます。

- ・CASE.....半角アルファベット(大文字)、半角数字、半角記号
- ・Case半角アルファベット(小文字)、半角数字、半角記号

2 データダイアルで、文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。

次ページへつづく

3 [2 ▲▼]~[6 ▲▼]、[7 ▲]ボタンを押して、文字や記号を入力します。

ひとつのボタンにはいくつかの文字が割り当てられています。ボタンをくり返し 押して、文字を切り替えます。 文字の確定方法は文字種によって異なります。 文字種が「かな漢」の場合は[1 ▼](確定)ボタンか[8 ▼](OK)ボタンを押しま す。「かな漢」以外の場合は、文字を表示したあとでカーソルを移動させたり、 別の文字入力ボタンを押したりします。言語設定(17ページ)が日本語以外の場 合は、しばらく待つと自動的に確定します。 文字入力の詳細は、下記の「文字入力中の操作」をご覧ください。

4 [8 ▲](OK)ボタンを押して、文字入力を完了します。

文字入力中の操作

■ 文字を消す

データダイアルで消したい文字にカーソルを移動させ、[7 ▼](DELETE)ボタンを押します。入力した文字列を一度に消したいときは、[7 ▼](DELETE)ボタンを押し続けます。

■ 濁点(゛)、半濁点(゜)を入力する

濁点/半濁点などを付けたい文字を入力し、文字を確定する前に[6 ▼]ボタンを押します。

■ 記号やスペース(空白)を入力する

- 1. 文字を確定したあと、[6 ▼]ボタンで記号一覧を表示させます。
- 2. データダイアルで入力したい記号/スペースにカーソルを移動させ、[8 ▲](OK)ボタンを押します。

■ 漢字に変換する(文字種:かな漢)

文字を確定する前に、[1▲](変換)または[ENTER](決定)ボタンを何度か押して変換候補を表示させます。データダ イアルで漢字変換する範囲を変えられます。目的の漢字が表示されたら、[1 ▼](確定)または[8 ▲](OK)ボタンを押 します。

■ ファイル名の左に表示されるアイコンを変える

- 1. [1 ▼](ICON)ボタンを押して、アイコン画面を表示させます。
- カーソルボタン[▲][▼][▲][▶]、またはデータダイアルでアイコンを選びます。 アイコン画面は複数ページ(複数のタブ)に分かれています。別のページを表示さ せるときは、TAB(タブ)[▲][▶]ボタンを押します。
 [8 ▲](OK)ボタンを押して、選んだアイコンを確定します。

設定を工場出荷時の状態に戻す(初期化)

いちばん右の鍵盤(C6)を押しながら電源を入れます。言語設定(17ページ)、オー ナーネーム(リファレンスマニュアル参照)を除く設定が工場出荷時の状態に戻ります。 初期化される設定項目は、ウェブサイト上のデータリスト「パラメーターチャート」 のSystem Setup(システムセットアップ)の欄をご覧ください。



NOTE 自分で録

NOTE

を押します。

自分で録音したソング(66 ページ)や、インストールし て追加したエクスパンション スタイル(44ページ)などは、 この操作では初期化されませ ん。

アイコン選択を中止するとき

は、[8 ▼](CANCEL)ボタン

ー部の設定だけを工場出荷時の状態に戻したり、USER(ユーザー)メモリーのファイル/フォルダーを削除したりす ることもできます。([FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[▶] MENU2(メニュー 2) → カーソルボタン [▲][▼][◀][▶] SYSTEM(システム) → [ENTER](決定) → TAB[▶] RESET(リセット))。詳しくは、ウェブサイト 上のリファレンスマニュアル(10章)をご覧ください。

25文字)まで入力できます (98ページ参照)。

NOTE

きません。

¥/:*?"<>I

NOTE

途中で文字入力を中止すると きは、[8 ▼](CANCEL)ボタ ンを押します。

・次の半角記号はファイル名/

フォルダー名として入力で

・ファイル名は半角で41文字

(全角20文字)、フォルダー 名は半角で50文字(全角

データのバックアップ

本体のUSER(ユーザー)メモリー内のすべてのデータ(プロテクトソング、エクスパ ンションボイス/スタイルを除く)とすべての設定を、バックアップファイルとして USBフラッシュメモリーに保存できます。

パックアップ先のUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子 に接続します。

2 設定画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[▶] MENU2(メニュー 2) → カーソルボタン[▲][♥][◀][▶] SYSTEM(システム) → [ENTER](決定) → TAB[◀][▶] BACKUP/RESTORE(バックアップ/リストア)



3 [5 ▲▼]/[6 ▲▼] (BACKUP) ボタンで、バックアップ先のフラッシュ メモリーに保存します。

バックアップファイルの再読み込み(リストア)

バックアップしたデータを楽器にリストアする際は、BACKUP/RESTORE(バック アップ/リストア)画面(上記参照)で[7▲▼]/[8▲▼] (RESTORE)ボタンを押しま す。楽器が自動的に再起動します。

NOTE

USBフラッシュメモリーを使 用する前に、必ず「USB機器 を接続する」(91ページ)をお 読みください。

NOTE

ボイス、ソング、スタイル、 マルチパッド、レジストレー ションメモリーについては、 ファイルごとにUSBフラッ シュメモリーにコピーするこ とで、個別にバックアップと して保存できます。詳しく は、28ページをご覧ください。

NOTE

システムファイル、MIDIテン プレート、エフェクト、 ミュージックファインダーの レコードは、以下の画面で、 個別にバックアップとして保 存できます。 [FUNCTION](ファンクショ ン) → MENU2(メニュー2) → SYSTEM(システム) → [ENTER](決定) → SET UP FILES (セットアップファイル) 詳しくは、ウェブサイト上の リファレンスマニュアルの 10章をご覧ください。

NOTE

バックアップ/リストアは、 完了するのに数分かかりま す。

注記

USER(ユーザー)メモリーに 保存したプロテクトソング は、リストアする前にUSBフ ラッシュメモリーに移動させ てください。移動させない と、リストアしたときに失わ れます。

いろいろなボイス(楽器音)で演奏する



この楽器では、ピアノ、ギター、弦楽器、管楽器などいろい ろなボイス(楽器音)を選んで弾くことができます。

ボイスを選んで弾く

VOICE(ボイス)カテゴリーボタンの1つを押して、ボイス選択画面を表示させます。



内蔵ボイス

EXPANSION(エクスパンション)ボイス インストールして追加したボイスです(44ページ)。 USER(ユーザー)ボイス ボイスセット機能(ウェブサイト上のリファレンスマ ニュアル参照)で作ったボイスや、USERメモリーに コピー(28ページ)したボイスです。

内蔵のボイスはカテゴリー別に分けられています。ボイスカテゴリーボタンは、 内蔵ボイスのカテゴリーを表わします。たとえば、[ORGAN](オルガン)ボタン を押すと、画面にさまざまなオルガン音色(ボイス)が表示されます。

カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でボイスを選び、[ENTER](決定)を押します。

画面が複数ページで構成されている場合、ページ番号(P1、P2…)に対応した[1 ▲]~[7 ▲]ボタンを押すか、同じボイスカテゴリーボタンを複数回押します。 [8 ▲](上へ)ボタンを押すと、ボイスカテゴリーボタンのない「GM&XG」、 「GM2」というボイスカテゴリー (フォルダー)が表示されます。

NOTE

NOTE

内蔵ボイスの詳細は、ウェブ サイト上のデータリスト「ボ イスリスト」をご覧ください。

ボイス名の上にボイスの特徴 が表示されることがありま す。特徴の詳細については、 35ページをご覧ください。



次ページへつづく

ボイスの特徴がわかる演奏を聞く

[7 ▼](デモ)ボタンを押すと、選ばれているボイスのデモ演奏がスタートします。もう一度[7 ▼]ボタンを押すと、 デモ演奏は止まります。

NOTE

画面右下に「MENU1」(メニュー 1)と表示されているのを確認してください(24ページ)。

3 鍵盤を弾いてみましょう。



NOTE

メイン画面(18ページ)に戻ると、それぞれのパートで選んだボイスを確認できます。

パートごとにボイスを選ぶ

ボイスには、RIGHT1(ライト1)、RIGHT2(ライト2)、LEFT(レフト)の3つの鍵盤パートがあります。PART ON/OFF(パート オン/オフ)ボタンで、3つのパートのオン/オフを切り替えると、さまざまな演奏を楽しめます。



- ・全鍵域で1つのボイスを鳴らす:RIGHT1(ライト1)またはRIGHT2(ライト2)パートのどちらかをオンにします。
- ・全鍵域で2つのボイスを重ねて鳴らす(レイヤー):RIGHT1(ライト1)とRIGHT2 (ライト2)パートをオンにします。
- ・スプリットポイントで鍵盤を左手鍵域と右手鍵域に分けて別々のボイスを鳴らす(スプリット):LEFT(レフト)とRIGHT(ライト1と2のいずれかまたは両方)のパートをオンにします。F#2(初期設定)とそれより低い鍵盤でレフトパートのボイスが鳴り、F#2より高い鍵盤でライトパートのボイスが鳴ります。ライトパートとレフトパートの境目の鍵盤を「スプリットポイント」といいます。

NOTE

スプリットポイントは変更で きます(55ページ)。

1 弾きたいパートのPART SELECT(パートセレクト)ボタンをオンにします。



- **2** 弾きたいボイスを選びます。 ボイスの選び方は、33ページをご覧ください。
- **3** 必要に応じて、手順1~2(33ページ)をくり返して、ほかのパートのボイスを選びます。

NOTE

選択したボイスや、各パート のオン/オフの設定は、レジ ストレーションメモリーに保 存できます(83ページ)。

次ページへつづく

- **4** 弾きたいパートのPART ON/OFF(パート オン/オフ)ボタンをオンにします。
- **5** 鍵盤を弾いてみましょう。

NOTE

メイン画面(18ページ)に戻 ると、それぞれのパートで選 んだボイスを確認できます。

鍵盤から指を離してもレフトボイスを鳴らしたままにする(レフトホールド)

LEFT(レフト)パートをオンにして、PART ON/OFF [LEFT HOLD](レフトホールド)ボタンを押し、左手鍵域で 弾くと、鍵盤から指を離しても、レフトボイスを鳴らしたままにできます。ストリングスのように減衰しないボイ スを鳴り続けるようにしたり、ピアノのように減衰するボイスをより遅く減衰するように(サステインペダルを踏 んだように)したりできます。

この機能は、スタイル(45ページ)再生時に便利です。コード鍵域で弾いた音が持続するので、スタイル再生音が より豊かになります。鳴っているレフトボイスを止めるには、スタイルまたはソングの再生を停止させるか、レフ トホールドをオフにします。



メトロノームを使う

[METRONOME](メトロノーム)ボタンを押すと、メトロノームをスタート/ストップできます。メトロノームの テンポは、スタイルのテンポと同じ方法で調節できます(48ページ)。



NOTE

メトロノームの拍子や音量、ベル音のオン/オフも、以下の画面で変更できます。 [FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → UTILITY(ユーティリティー) → [ENTER](決定) → CONFIG1(コンフィギュレーション1) → 2 METRONOME

ボイスの特徴

ボイス選択画面のボイス名の上に、Live!, Cool!, Sweet!, MegaVoice, Drums, SFXという6種類のボイスの特徴 が表示されます。

ポイス(ライト1) 7″リセット(ューサー)(USB1)
Drums	SFX
NGA > JXtol	No. 11-11")\$91
Drums	SFX
(4) , 9)71-451	TagJ な"ップ"ゔゔ)キット
sfx	SFX
RGT 7"59" 45 41	ZO 751"59451

ここでは一部のみ説明します。このほかの特徴の詳細については、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧 ください。

Live!

アコースティック楽器をステレオサンプリングで録音した、臨場感豊かなボイスです。

Drums/SFX

さまざまなドラムやパーカッションの音色、または効果音(SFX)が鍵盤に割り当てられていて、鍵盤でドラム演奏したり効果音を鳴らしたりできます(ドラムキット/SFXキット)。どの鍵盤にどの音色が割り当てられているかは、 ウェブサイトのデータリストにある「ドラム/SFXキットリスト」をご覧ください。

音の高さ(ピッチ)を変える

音の高さを半音単位で調整する(トランスポーズ)

TRANSPOSE(トランスポーズ)[-]/[+]ボタンで、楽器の音全体(鍵盤演奏、ソン グ再生、スタイル再生など)を半音単位(-12~0~12)で移調できます。[-]と[+] を同時に押すと、初期設定(0)に戻ります。 NOTE

ドラム/SFXキットのボイス は移調できません。



MIXING CONSOLE(ミキシングコンソール)画面で音の高さを調整(トランスポーズ)する MIXING CONSOLE画面でも音の高さ(トランスポーズ、オクターブ、チューン(音程))を設定できます。 [MIXER] (ミキサー) → TAB(タブ)[◀][▶] TUNE(チューン)

鍵盤で弾いた音を1オクターブ上げ下げする

UPPER OCTAVE(アッパーオクターブ)[-]/[+]ボタンで、ライト1、2パートの音のピッチ(音の高さ)を1オク ターブ単位(-1~0~1)で上げ下げできます。



音の高さを微調整する(チューニング)

この楽器のピッチは、初期設定でA3=440.0Hz、平均律に設定されています。この設定は、以下の画面で、約 0.2Hz単位(414.8Hz~466.8Hz)で変更できます。 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] MASTER TUNE/SCALE TUNE(マスターチューン/スケールチューン) → [ENTER](決定) 詳しくは、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。
ホイールを使う

[PITCH BEND](ピッチベンド)ホイールを使う

鍵盤を弾きながら[PITCH BEND](ピッチベンド)ホイールを上下に動かすと、鍵盤の全パート(レフト、ライト1、2)のピッチを滑らかに上げたり下げたりできます。 [PITCH BEND]ホイールから手を離すと、自動的に中央の位置に戻り、元のピッチ に戻ります。



ピッチの変化幅はMIXING CONSOLE(ミキシングコンソール)画面で変えられます。 [MIXER](ミキサー) → TAB(タブ)[◀][▶] TUNE(チューン) → カーソルボタン [▲][▼][◀][▶] PITCH BEND RANGE(ピッチベンドレンジ)

[MODULATION](モジュレーション)ホイールを使う

[MODULATION]ホイールを使うと、鍵盤の全パート(レフト、ライト1、2)で弾いた音にビブラート(変調効果)がかかります。ホイールを上(奥)に動かすと効果の深さが最大になり、下(手前)に動かすと最小になります。



ΝΟΤΕ

ボイスの種類によっては、 [MODULATION]ホイールを 動かすと、音量が変わった り、ビブラートではなくフィ ルターやその他のパラメー ターが変わったりすることが あります。

NOTE

演奏に意図せずビブラートを かけないように、演奏前に [MODULATION]ホイールを 最小(下)に戻しておきましょ う。

NOTE

[MODULATION]ホイールを 使っても、スタイルの設定に よっては、スタイル再生中の レフトパートの音にビブラー トがかかりません。



[FUNCTION](ファンクション) → TAB (タブ)[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソ ルボタン[▲][▼][◀][▶] CONTROLLER(コントローラー) → [ENTER](決定) → TAB[▶] KEYBOARD/PANEL(キーボード/パネル) → カーソルボタン[▲][▼] MODULATION WHEEL(モジュレーションホイール)

NOTE

[PITCH BEND]ホイールを 使っても、スタイルの設定に よっては、スタイル再生中の レフトパートのピッチを変え られません。

1

LIVE CONTROL(ライブコントロール)ノブを使う

2つのLIVE CONTROL(ライブコントロール)ノブにさまざまな機能を割り当てて回すと、演奏中でもサウンドを簡単に変えて楽しむことができます。

 [ASSIGN](アサイン)ボタンを押して、LIVE CONTROL(ライブコン トロール)画面を呼び出します。



2 カーソルボタン[▲][▼]で、ノブに割り当てる機能の組み合わせを選びます。

選んだ機能の番号は、メイン画面(18ページ)の左上に表示されます。

NOTE [ASSIGN](アサイン)ボタン を繰り返し押すことでも、ノ ブに割り当てられる機能を順

番に選択できます。

初期設定の機能一覧

No.	ノブ1	ノブ2
1	Voice/Filter/R1,R2 ライト1、ライト2パートに対して、レゾナンス効果と カットオフ周波数を同時に調節して、音質を変化させま す。	Voice/Effect/Rev/R1,R2 ライト1、ライト2パートにかかるリバーブの深さ(かか り具合)をコントロールします。右に回すほど、効果が深 くなります。
2	Voice/Balance/R1,R2 ライト1とライト2パートの音量バランスをコントロー ルします。左に回すとライト1パートが、右に回すとラ イト2パートが大きくなります。	Voice/Effect/Cho/R1,R2 ライト1、ライト2パートにかかるコーラスの深さ(かか り具合)をコントロールします。右に回すほど、効果が深 くなります。
З	Voice/Attack/R1,R2 ライト1、ライト2パートに対して、鍵盤を弾いてから 最大音量に達するまでの時間を調節します。右に回すほ ど、音の立ち上がりが遅くなります。	Voice/Release/R1,R2 ライト1、ライト2パートに対して、鍵盤から指を離し たあと音が消えるまでの時間を調節します。右に回すほ ど、鍵盤を離してからの余韻が長くなります。
4	Voice/Arp/Velocity アルペジオの音の強さ(音量)をコントロールします。右 に回すほど、音量が大きくなります。アルペジオ機能に ついての詳細は、42ページをご覧ください。	Voice/Arp/GateTime アルペジオの各音の長さをコントロールします。右に回 すほど、各音の長さが長くなります。
5	Style/Retrig/OnOff,Rate スタイルリトリガー (スタイルのセクションの先頭に 戻ってくり返し再生する機能)のオン/オフを切り替え、 くり返し部分の長さをコントロールします。ノブを左端 まで回すと機能がオフになります。右に回すほど、くり 返し部分の長さが短くなります。	Chorus/Voice,Style すべての鍵盤パートとスタイルのコーラスの深さ(かかり 具合)をコントロールします。右に回すほど、効果が深く なります。
6	Style/Track-Mute A スタイルの再生チャンネルのオン/オフを切り替えます。 ノブを左端まで回すとリズム2チャンネルのみがオンで、 その他チャンネルがオフになります。ノブを右に回して いくと、リズム1、ベース、コード1、コード2、パッ ド、フレーズ1、フレーズ2の順にオンに切り替わり、 右端まで回すとすべてのチャンネルがオンになります。 スタイルチャンネルの詳細は、53ページをご覧くださ い。	Balance/Style,M.Pad スタイルとマルチパッドの音量バランス(54ページ)をコ ントロールします。左に回すとスタイル、右に回すとマ ルチパッドの音量が大きくなります。

No.	ノブ1	ノブ2
7	Filter/Voice,Style すべての鍵盤パート とスタイルに対して、レゾナンス効 果とカットオフ周波数を同時に調節して、音質を変化さ せます。	Reverb/Voice,Style すべての鍵盤パートとスタイルに対してリバーブの深さ (かかり具合)をコントロールします。右に回すほど、効 果が深くなります。
8	Master Tempo 選ばれているスタイルまたはソングのテンポを、初期設 定値の50%から150%の範囲で変更します。右に回す とテンポが速くなります。	AUX/Volume [AUX IN]端子から入力された外部音声の音量をコント ロールして、その他のパートとの音量のバランスを調節 します。右に回すほど、外部音声の音量が大きくなりま す。

それぞれのノブに、初期設定以外の機能を割り当てることもできます([7 ▲▼]/ [8 ▲▼](ASSIGN) → PARAMETER ASSIGN (パラメーターアサイン)画面)。 詳しくは、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

NOTE

スタイルリトリガー機能は、 スタイルのメインセクション のみ効果がかかります。

NOTE

パネル設定やノブの動かし方 によっては、ノブを回しても 効果がわかりにくかったり、 正しく動作しない場合があり ます。

3 LIVE CONTROLノブを回しながら、演奏してみましょう。





NOTE ノブを回すことで、選択した 機能の値が変わります。選択 した機能の値をリセットする 場合は[1 ▲▼]/[2 ▲▼](RESET)ボタンを、ノ ブに割り当てられる全機能の 値をリセットする場合は[3 ▲▼]/[4 ▲▼](ALL RESET) ボタンを押します。

ボイスにエフェクト(効果)をかける

この楽器には、鍵盤での演奏音(レフト、ライト1、2)に深さや広がりを付け表現の幅を広げる、いろいろな種類の エフェクトがあります。エフェクトは、以下のボタンでオン/オフを切り替えます。



これらのエフェクト(効果)は、選択したパート (PART SELECT(パートセレクト)ボタンが点灯 しているパート)にのみかかります。

• HARMONY/ARPEGGIO(ハーモニー /アルペジオ)

右手鍵域で弾いた演奏にハーモニー効果をつけたり、右手鍵域で和音を弾いてアルペジオを鳴らしたりできます。詳細は、後述の「右手鍵域で弾いた演奏にハーモニー / エコーの効果をつける」(下記)、「アルペジオ(分散和音)を鳴らす」(42ページ)をご覧 ください。

• DSP/DSP VARI.(DSP/DSPバリエーション)

内蔵のデジタルエフェクトにより、音に臨場感や広がりなどを付けることができます。たとえば、リバーブをかけると、コンサートホールで弾いているような音になります。

[DSP] ボタン:現在選ばれている鍵盤パートのボイスに対して、DSP (Digital Signal Processor)をかけるかどうかを設定します。

[DSP VARI.] ボタン: DSPのバリエーションを切り替えるときに使います。たとえ ば、ロータリースピーカーエフェクトの回転スピード(速い/遅い)を変更します。

NOTE

DSPエフェクトのかかり具合 を細かく設定することもでき ます。ボイス選択画面から[5 ▼](VOICE SET)→ EFFECT(エフェクト)→2 DSPを選ぶと、設定画面が開 きます。詳しくは、ウェブサ イト上のリファレンスマニュ アルをご覧ください。

右手鍵域で弾いた演奏にハーモニー / エコーの効果をつける

右手鍵域で弾いた演奏音に、ハーモニー (デュエット、トリオなど)、エコー、トレモロ、トリルの効果がつきます。

- [HARMONY/ARPEGGIO](ハーモニー / アルペジオ)ボタンをオンにします。
- **2** 付加したいハーモニー /エコータイプを選びます。
 - 2-1 設定画面を表示させます。
 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー 1)
 → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] HARMONY/ARPEGGIO(ハーモニー / アルペジオ) → [ENTER](決定)
 - **2-2** [1 ▲▼]~[3 ▲▼](CATEGORY)ボタンを押して、「Harmony」(ハーモ ニー)または「Echo」(エコー)を選びます。
 - **2-3** [4 ▲▼]~[6 ▲▼](TYPE)ボタンで演奏音に付加したいハーモニー/エ コータイプを選びます。



NOTE

ボイスを選択すると、ハーモ ニー/エコー/アルペジオタ イプは、自動的にVOICE SET(ボイスセット)で設定さ れているタイプになります。 ボイスセット機能について は、ウェブサイト上のリファ レンスマニュアルをご覧くだ さい。

NOTE

[7 ▲▼](DETAIL)ボタンを押 すと、選んだハーモニー /エ コータイプの詳細設定画面が 表示されます。詳細設定につ いては、ウェブサイト上のリ ファレンスマニュアルをご覧 ください。

■Harmony(ハーモニー)カテゴリー

• Standard Duet~Strum(スタンダードデュエット~ストラム)

下記のとおり、ハーモニー用コード鍵域または左手鍵域で弾いたコードに応じ て、右手鍵域で弾いた演奏音にハーモニーが付加されます。

[ACMP] (スタイル オン/オフ) ボタンがオンで、レフトパートがオフの場合



[ACMP] (スタイル オン/オフ) ボタンがオフでレフトパートがオンの場合



[ACMP] (スタイル オン/オフ) ボタンとレフトパートがオンの場合



Multi Assign(マルチアサイン)

右手鍵域でのコード押鍵に特殊な効果を付けるタイプです。 スタイルのオン/オフやレフトパートのオン/オフに関係なく、右手鍵域での コード押鍵の各音に対して個別の鍵盤パートボイスをアサイン(割り当て)しま す。PART ON /OFF [RIGHT1](ライト1)、[RIGHT2](ライト2)ボタンをオン にして使います。弾いた順番にライト1ボイス、ライト2ボイスがアサインされ ます。

■Echo(エコー)カテゴリー:Echo(エコー)、Tremolo(トレモロ)、 Trill(トリル)

設定されているテンポに従って、右手鍵域での演奏音に同じノートの連続発音が 付加されるタイプです。 スタイルのオン/オフやレフトパートのオン/オフに関係なく、右手鍵域での演 奏音にエコー/トレモロ/トリル音が付加されます。なお、トリル音は、同時に 複数の鍵盤を押したときだけに効果がかかり、最後に押した2つの音どうしでト リル再生をします。

3 鍵盤を弾いてみましょう。

手順2で選んだエフェクトが右手で弾いた演奏音に付加されます。

[HARMONY/ARPEGGIO](ハーモニー /アルペジオ)ボタンをオフにして、エ フェクトをオフにします。

NOTE

「1+5」、「Octave」(オクター ブ)は、コード鍵域のコード とは関係なくハーモニーが付 加されます。

NOTE

スプリットポイントの詳細は 55ページをご覧ください。 アルペジオ機能を使うと、鍵盤を押さえるだけで、簡単にアルペジオ(分散和音)を鳴 らせます。たとえばドミソを押さえると、ド、ミ、ソの音を使ってさまざまな分散和 音がフレーズのように生成されます。

- [HARMONY/ARPEGGIO](ハーモニー / アルペジオ)ボタンをオンにします。
- **2** 鳴らしたいアルペジオタイプを選びます。
 - 2-1 設定画面を表示させます。
 [FUNCTION] (ファンクション) → TAB(タブ) [◀] MENU1(メニュー 1)
 → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] HARMONY/ARPEGGIO(ハーモニー / アルペジオ) → [ENTER](決定)
 - **2-2** [1 ▲▼]~[3 ▲▼](CATEGORY)ボタンを押して、「Harmony」、「Echo」 以外のカテゴリーを選びます。
 - **2-3** [4 ▲▼]~[6 ▲▼](TYPE)ボタンを押して、アルペジオタイプを選びます。



3 鍵盤を弾いて、アルペジオを鳴らしましょう。 弾く音によって、アルペジオのフレーズは変わります。

[HARMONY/ARPEGGIO](ハーモニー /アルペジオ)ボタンをオフにして、エフェクトをオフにします。

NOTE

ボイスを選択すると、ハーモ ニー/エコー/アルペジオタ イプは、自動的にVOICE SET(ボイスセット)で設定さ れているタイプになります。 ボイスセット機能について は、ウェブサイト上のリファ レンスマニュアルをご覧くだ さい。

NOTE

[7 ▲▼](DETAIL)ボタンを押 すと、選んだアルペジオタイ プの音量、パートの設定画面 が表示されます。詳細設定に ついては、ウェブサイト上の リファレンスマニュアルをご 覧ください。

NOTE

ソング/スタイル再生に合わ せてアルペジオを鳴らすと き、アルペジオクオンタイズ 機能を使うと、アルペジオと ソング/スタイル再生の「ず れ」を補正して同期させるこ とができます。同期のタイミ ングは、以下の画面で設定で きます。 [FUNCTION](ファンクショ ン) → MENU1(メニュー 1) → UTILITY (ユーティリ ティー) → CONFIG 2 (コン フィギュレーション2)

NOTE

アルペジオホールド機能をペ ダルに割り当てると、鍵盤か ら指を離してもアルペジオを 鳴らし続けることができま す。ペダルに関する詳細は、 90ページをご覧ください。

NOTE

アルペジオの音量や各音の長 さをLIVE CONTROLノブで 調節できます。ノブへ割り当 てられる機能の詳細は、38 ページをご覧ください。

鍵盤のタッチ感度を変える

鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方(タッチ感度)を変えられます。選んだ設定は、ピアノ以外の音色にも共通で有効になります。

1 設定画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] CONTROLLER(コントローラー) → [ENTER] (決定) → TAB[▶] KEYBOARD/PANEL (キーボード/パネル)

 カーソルボタン[▲][▼]で、「1 TOUCH RESPONSE(タッチレスポン ス)」を選びます。



実際の楽器(たとえば、従来 のオルガンのように、もとも とタッチレスポンス機能がな い楽器)の特徴を再現するた め、ボイスによっては、音に 強弱が付かないものもありま す。

1

- CONTROLLER (FOUTPERT KEYBORD-PRACE)

 -//00
 +/YES
 1
 International meter 2
 FILMER BESTER BURDE 2
 FILMER BURDE 2</td
- 3 [1 ▲▼]~[7 ▲▼]ボタンでタッチレスポンスを設定します。

[1 ▲▼]/ [2 ▲▼]	TOUCH(タッチ)	タッチ感度を選びます。 HARD2(ハード2):重いタッチです。強く弾かないと大きな音が出ません。 HARD1(ハード1):ハード2とミディアムの中間のタッチです。 MEDIUM(ミディアム):標準的なタッチです。 SOFT1(ソフト1):ソフト2とミディアムの中間のタッチです。 SOFT2(ソフト2):軽いタッチです。弱く弾いても大きな音が出ます。
[4 ▲▼]	TOUCH OFF LEVEL (タッチオフレベル)	タッチレスポンス機能をオフにしたときの音量を設定します。
[5 ▲▼]~ [7 ▲▼]	LEFT(レフト)〜 RIGHT2(ライト2)	鍵盤パートごとにタッチレスポンス機能をオン/オフします。

新しいボイスやスタイルを追加する ― エクスパンションパック

エクスパンションパックをインストールすると、新しいボイスやスタイルをUSER(ユーザー)メモリーの 「Expansion」(エクスパンション)フォルダーに追加できます。インストールしたボイスやスタイルは、ボイス、また はスタイルカテゴリーボタンの[EXPANSION/USER](エクスパンション/ユーザー)ボタンから選択でき、演奏やソ ング/スタイルの制作などに活用できます。エクスパンションパックは、ヤマハのWebサイトで入手するか、コン ピューターで「Yamaha Expansion Manager」(ヤマハエクスパンションマネージャー)を使って作成してください。

エクスパンションパックをインストールする方法は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。 ヤマハエクスパンションマネージャーの情報は、ヤマハウェブサイトのPSR-S670製品情報をご覧ください。 http://jp.yamaha.com/

もっと進んだ使いかた 詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル第1章をご覧ください。				
GM/XGボイスなどを選ぶ	ボイス選択画面 → [8 ▲](上へ)			
ハーモニー / アルペジオの設定	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → HARMONY/ARPEGGIO(ハーモニー /アルペジオ)			
音の高さに関する設定				
・鍵盤全体のピッチを微調整する	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー1) → MASTER TUNE/SCALE TUNE(マスターチューン/スケールチューン) → [ENTER](決定) → MASTER TUNE			
・音律(調律法)を選ぶ(スケールチューニング)	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー1) → MASTER TUNE/SCALE TUNE(マスターチューン/スケールチューン) → [ENTER](決定) → SCALE TUNE			
・トランスポーズ(移調)するパートを変更する	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → CONTROLLER(コントローラー) → [ENTER](決定) → KEYBOARD PANEL(キーボードパネル) → TRANSPOSE ASSIGN			
LIVE CONTROLノブに割り当てるパラメーターを 設定する	[ASSIGN](アサイン) → [7 ▲▼]/[8 ▲▼](ASSIGN)			
ボイスを編集する (ボイスセット)	ボイス選択画面 → [8 ▼] MENU1(メニュー 1) → [5 ▼](VOICE SET)			
ボイスに含まれる設定(ボイスセット)を呼び出さな いようにする	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → VOICE SETTING(ボイスセッティング) → [ENTER](決定) → VOICE SET FILTER			
ボイスの設定を変える(タッチレスポンス、サステイ ン、モノ/ポリ)	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → VOICE SETTING(ボイスセッティング) → [ENTER](決定) → VOICE CONTROL			
エクスパンションパックをインストールする				

リズムや自動伴奏に合わせて演奏する (スタイル)



この楽器には、ポップス、ジャズなど、さまざまなジャンル の伴奏やリズムパターンが搭載されています。このリズムパ ターンと伴奏のことを「スタイル」と呼びます。スタイルを使 えば、左手でコードを押さえるだけでコードに合った伴奏を 自動で鳴らせます。これにより、一人で演奏しても、バンド やオーケストラの伴奏付きの演奏を楽しめます。

スタイルに合わせて演奏する

スタイルカテゴリーボタンの1つを押して、スタイル選択画面を表示させます。



EXPANSION(エクスパンション) インストールして追加したスタイルです(44ページ)。

USER(ユーザー) スタイルクリエーター機能(ウェブサイト上のリファレンス マニュアルをご覧ください)で作ったスタイルやUSERメモ リーにコピー (28ページ)したお気に入りのスタイルです。

2 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で演奏したいスタイルを選び、 ENTER(決定)ボタンを押します。

画面が複数ページで構成されている場合、ページ番号(P1、P2…)に対応した[1 ▲]~[7 ▲]ボタンを押すか、同じスタイルカテゴリーボタンを複数回押します。



3 [ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンを押して、自動伴奏をオンにします。

鍵盤の左手鍵域(55ページ)がスタイル再生用のコードを押さえるための鍵域 (コード鍵域)になります。この鍵域で弾く音は、スタイル再生用コードとして認



識され、現在のスタイル再生に反映されます。

次ページへつづく

NOTE

初期設定では、左手鍵域で弾 いた鍵盤からコードを認識し ますが、右手鍵域から認識さ れるようにコード鍵域を変更 できます。詳しくは、56 ページをご覧ください。

NOTE

内蔵スタイルの詳細は、ウェ ブサイト上のデータリスト 「スタイルリスト」をご覧くだ さい。 4 [SYNC START] (シンクロスタート)ボタンを押して、シンクロスタート(47ページ)をオンにします。



5 左手でコードを押さえると同時に、スタイルがスタートします。 左手でコードを押さえながら、右手でメロディーを弾いてみましょう。



6 [START/STOP](スタート/ストップ)ボタンで、スタイルをストップします。



NOTE

- コードやコードの認識方法 (フィンガリングタイプ)に ついては、49ページをご覧 ください。
- [EXIT](戻る)ボタンでメイン
 回面に戻ると、現在弾いているコードの情報を確認できます(18ページ)。

NOTE

スタイル再生音はトランス ポーズできます(36ページ)。

NOTE

再生しているスタイルのセク ションの繰り返し部分の長さ を調節できます(スタイルリ トリガー機能)。この機能は LIVE CONTROLノブに割り 当てて使います。詳細は38 ページをご覧ください。

スタイルの特徴

スタイルの特徴は、スタイル選択画面の各スタイル名の上に表示されます。さまざまな特徴がありますが、ここでは、画面上で「DJ」と表示されるDJスタイルについてのみ説明します。このほかの特徴については、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

スタイル						
	7"9tyP == #= USB1					
[DJ J=12	8 DJ J=128					
157"197						
DJJ=12	8 DJ J=128					
528 7(7:10)2	5X 119107557					
DJJ=12	8 DJ J=128					
SR 1625952492	SR 1-09")2					

DJスタイル

DJスタイルは、[DANCE & R&B](ダンス/R&B)ボタンで呼び出されるカテゴリーに入っています。このスタイル には、あらかじめコード進行が含まれているので、ルートを指定するだけでコード進行を伴う動きのある演奏を楽し めます。このスタイルは、ルートのみ変更できます。特定のコードタイプを指定しての演奏はできません。 [DJ Phrase (DJフレーズ)]フォルダーにあるマルチパッド(74ページ)のデータは、このスタイルに合わせて制作 されています。ワンタッチセッティング機能(50ページ)を使えば、スタイルに合ったマルチパッドを簡単に呼び出 せます。

スタイルの互換性

この楽器のスタイルは、SFF GEフォーマット(9ページ)で作成されています。一般的なSFFファイルを読み込むこと もできますが、読み込んだSFFファイルをこの楽器上で保存すると、SFF GEフォーマットに変換されます。SFF GE フォーマットに変換されたスタイルファイルは、SFF GE対応の楽器上でしか再生できなくなります。

再生スタート/ストップ

スタイルはリズムパートとベースやコードなどの伴奏パートで構成されています。ここでは、スタイル再生に使うボタンについて説明します。

• [START/STOP] (スタート/ストップ) ボタン

スタイルのうち、リズムパートだけをスタートします。もう一度押すとストップしま す。

• [ACMP] (スタイル オン/オフ) ボタン

スタイルの伴奏パートをオン/オフします。このボタンをオンにしたあと、[START/ STOP](スタート/ストップ)ボタンを押し、コード鍵域でコードを押さえると、リズ ムパートだけでなく自動伴奏も鳴ります。

• [SYNC START] (シンクロスタート) ボタン

このボタンを押すと、スタイル再生が待機状態になり、[START/STOP](スタート/ ストップ)ボタンが点滅します。[ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンがオンのとき は、コード鍵域を押さえるとスタイル再生がスタートします。[ACMP](スタイル オ ン/オフ)ボタンがオフのときは、どの鍵盤を弾いてもリズムパートのみがスタートし ます。スタイル再生中に[SYNC START](シンクロスタート)ボタンを押すと、スタ イル再生はストップし、待機状態に戻ります。

• [SYNC STOP] (シンクロストップ) ボタン

[ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンをオンにしてから、[SYNC STOP](シンクロ ストップ)ボタンを押します。コード鍵域でコードを押さえている間、スタイルが再 生され、コード鍵域の鍵盤から指を離すとスタイル再生がストップします。

• INTRO(イントロ)[I]~[Ⅲ]ボタン

演奏にイントロを付けます。各内蔵スタイルに3つのイントロがあります。INTRO (イントロ)[I]~[Ⅲ]ボタンのいずれかを押してからスタイルをスタートすると、イ ントロが終わってからメイン演奏に移ります。

• ENDING/rit.(エンディング/rit.)[Ⅰ]~[Ⅲ]ボタン

演奏にエンディングを付けます。各内蔵スタイルに3つのエンディングがあります。 スタイル再生中にENDING/rit.(エンディング/rit.) [Ⅰ]~[Ⅲ]ボタンのいずれかを押 すと、エンディングが鳴ったあと、スタイルが自動的にストップします。エンディン グ演奏中にもう一度同じボタンを押すと、スタイルは徐々に遅くなって(リタルダン トして)からストップします。









NOTE フィンガリングタイプ(49 ページ)で[フルキーボード] または[Alフルキーボード]を 選んだ場合は、シンクロス トップをオンにできません。



NOTE INTRO [I]はリズムパート だけの構成ですが、INTRO [I]と[II]はリズムパート以 外のパートもあります。 INTRO [II]または[II]を再 生したい場合は、[ACMP](ス タイル オン/オフ)ボタンをオ ンにして、コード鍵域でコー ドを押さえると、全パートが 再生されます。



NOTE

メインセクション(48ページ) 再生中にENDING/rit.[I]ボ タンを押すと、エンディング 1パターンの前に自動的に フィルインが1小節入ります。

演奏中のセクション切り替え

各内蔵スタイルには、メインセクション、フィルインセクション、ブレイクセクションがあります。これらのセク ションを効果的に使うことで、簡単にご自身の演奏を盛り上げることができます。セクションは、スタイル再生中に 自由に変えられます。

• MAIN VARIATION(メイン)[A]~[D]ボタン

曲のメイン部分の伴奏パターンです。数小節の伴奏パターンがくり返し演奏されま す。

MAIN VARIATION(メイン)[A]~[D]ボタンのいずれかを押して、使いたいメインセクションを選んでください(ボタンが赤く点灯します)。各メインセクションは、曲のメイン部分の伴奏パターンです。数小節の伴奏パターンがくり返し再生されます。再生中のメインのボタンを押すと、フィルインが入ります。

セクション切り替え時に自動的にフィルインを入れる

[AUTO FILL IN](フィルイン オン/オフ)ボタンをオンにしておくと、 メインを切り替えたときに自動的にフィルインが演奏されます。

• [BREAK] (ブレイク) ボタン

曲の流れを一時中断することで区切りを付けることができます。スタイル再生中に [BREAK](ブレイク)ボタンを押すと、1小節のブレイクが入ります。

INTRO(イントロ)、MAIN VARIATION(メイン)、BREAK(ブレイク)、ENDING(エンディング)ボタンのランプについて

FILL IN

- ・赤点灯:データが入っていて、現在選ばれているセクションです。
- 赤点滅:次に再生されるセクションです。
 *メイン[A]~[D]ボタンは、フィルイン演奏中にも赤点滅します。
- **緑点灯**:データは入っていますが、現在選ばれていません。
- ・**消灯**:データが入っていません。

フェードイン/フェードアウト

• [FADE IN/OUT] (フェードイン/フェードアウト) ボタン

スタイルやソングの再生をスタートするときにフェードイン(鳴り始めは小さくだん だん大きくなる効果)、ストップするときにフェードアウト(だんだん音が小さくなっ て消える効果)をかけます。再生停止中に[FADE IN/OUT](フェードイン/アウト)ボ タンをオンにしてスタイル/ソングの再生を開始すると、フェードインしながら再生 が始まります。再生中に[FADE IN/OUT]ボタンをオンにすると、スタイル/ソング の再生がフェードアウトしながらストップします。

テンポを変える

TEMPO(テンポ)[-]/[+]ボタンでメトロノーム、スタイル、ソングのテンポを変えられます。スタイルやソングの テンポは[TAP TEMPO](タップテンポ)ボタンでも変えられます。

• TEMPO(テンポ)[-]/[+]ボタン

TEMPO(テンポ)[-]または[+]ボタンを押すとテンポ画面が表示されます。 TEMPO[-]/[+]ボタンでテンポを調節します(5~500:1分間の拍数)。ボタンを 押し続けると値が連続的に変わります。TEMPO[-]と[+]ボタンを同時に押すと、 最後に選択されたスタイルまたはソングのテンポ値に戻せます。











• [TAP TEMPO] (タップテンポ) ボタン

スタイルやソングの再生中に[TAP TEMPO]ボタンを2回たたくと、たたいたテンポ に切り替わります。 スタイルやソングの停止中に、タイミングを取りながらボタンをたたくと(4分の4拍 子の場合は4回)、そのテンポでスタイルのリズムパートの再生がスタートします。

コードの認識方法(フィンガリングタイプ)を変える

フィンガリングタイプを変更すれば、コードの構成音すべてを左手で押さえなくても、適切な自動伴奏が再生されま す。

1 設定画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] SPLIT POINT/CHORD FINGERING(スプリッ トポイント/コードフィンガリング) → ENTER(決定) → TAB[▶] CHORD FINGERING

2 [1▲▼]~[3▲▼]ボタンでフィンガリングタイプを選びます。



たとえば、以下のようなフィンガリングタイプがあります。

• SINGLE FINGER(シングルフィンガー)

簡単なルールに従って鍵盤を1~3つ押さえるだけで、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコード を認識します。コードの押さえ方が覚えられない場合に便利です。



ルート音だけ押さえます。



ルート音と左の黒鍵を押さ えます。



ルート音と左の白鍵を押さ えます。

Cm ₇		
マイナ	ーセブンス	

NOTE

ません。

コード検出鍵域を「UPPER」 に設定している場合(56ペー

ジ)は、FINGERED (フィン

ガード)しか使えません。ま

た、FINGEREDで検出される コードタイプのうち、一部 (「Cancel」など)は検出され

ルート音と左の黒鍵と白鍵を押 さえます。

• FINGERED(フィンガード)

[ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンがオン、またはレフトパートがオンのとき、左手鍵域でコードを構成する音を そのまま押して、コードを指定する方法です。コードの押さえ方がよく分からない場合は、コードチューター機能 (50ページ)で確認するか、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

• AI FULL KEYBOARD(AIフルキーボード)

全鍵盤で通常の両手演奏をするだけで、意識してコードを押さえなくても自動伴奏が再生されます。特定のコードの 弾き方にとらわれず、鍵盤のどこで演奏してもリズム、ベース、コードやフレーズによる自動伴奏がつきます。(曲 のアレンジによっては、AIフルキーボードでの演奏に合わない場合もあります。)

フィンガリングタイプの詳細については、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

J

コードチューター機能でコードの押さえ方を調べる

コード名が分かっていてコードの押さえ方が分からない場合、コードチューター機能 を使えば、コードの押さえ方がCHORD FINGERING(コードフィンガリング)画面に 表示されます。この機能で表示される押さえ方は、「FINGERED」を選んだときの押 さえ方のみですが、「SINGLE FINGER」以外のフィンガリングタイプを選んだときで も参考にしていただけます。

も多考にしていたたりより。 [6 ▲▼]ボタンでコードのルート音(根音)を選び、[7 ▲▼]/[8 ▲▼]ボタンでコード タイプを選んでください。画面にコードの押さえ方が表示されます。 NOTE

コードによっては、一部の構 成音が表示されないものもあ ります。

選んだスタイルに合うパネル設定を呼び出す(ワンタッチセッティング=OTS)

ワンタッチセッティング(OTS)は、ボタンを押すだけで選ばれているスタイルの最適 なパネル設定(ボイスやエフェクトなど)を自動的に呼び出す便利な機能です。使いた いスタイルが決まっているときは、ボイス選択をワンタッチセッティングに任せてみ ましょう。

】 スタイルを選びます(45ページ手順1~2)。

2 ONE TOUCH SETTING(ワンタッチセッティング)[1]~[4]ボタンの いずれかを押します。

選択中のスタイルに最適な設定(ボイス、エフェクトなど)を簡単に呼び出せるだけでなく、[ACMP](スタイルオン/オフ)や[SYNC START](シンクロスタート)が自動的にオンになるので、すぐにスタイルを演奏できます。



ワンタッチセッティングの内容を確認する

スタイル選択画面(画面右下に「MENU1」と表示されているとき)で[6 ▼](OTS情報)ボタンを押すと、OTS INFORMATION (OTSインフォメーション)画面が開き、選ばれているスタイルに対して、ONE TOUCH SETTING[1]~[4]ボタンにどのようなボイスが設定されているか確認できます。

NOTE

ONE TOUCH SETTING [1]~[4]ボタンを押したときにオフになるボイスパートは、パート名(R1、R2、L)がグレーア ウトされます。

この画面を閉じるには、[7 ▲▼]/[8 ▲▼](CLOSE)ボタンを押します。

3 左手でコードを押さえると同時に選んだスタイルがスタートします。

1つのスタイルに4つのワンタッチセッティングが用意されています。ONE TOUCH SETTING[1]~[4]ボタンを切り替えて、ほかの設定も試してみてくだ さい。

NOTE

ワンタッチセッティングで呼び出せるパネル設定については、ウェブサイト上のデータリストの「Parameter Chart (パラメーターチャート)」の OTS(ワンタッチセッティング)欄をご覧ください。

NOTE

自分で設定した内容をワン タッチセッティングに登録で きます。登録方法は、ウェブ サイト上のリファレンスマ ニュアルをご覧ください。

2

スタイルのメイン切り替えとワンタッチセッティングの切り替えを連動させる(OTSリンク)

OTSリンク機能を使うと、スタイルのメイン[A]~[D]を切り替えたときに自動的にワンタッチセッティングが切 り替わります。メインの[A]~[D]はワンタッチセッティングの[1]~[4]に連動しています。OTSリンク機能を使 うには、「OTS LINK1(OTS リンク)ボタンを押してください。



NOTE

ワンタッチセッティングが実際に呼び出されるタイミングを変更できます。変更方法はウェブサイト上のリファレンスマ ュアルをご覧ください。

選んだスタイルで演奏できる曲を検索する(レパートリー)

ミュージックファインダーのレコード(78ページ)から、選んだスタイルを使って演奏するのに最適な曲を検索でき ます。弾きたい曲を選ぶと、その曲に合うパネル設定(ボイス、エフェクト、ペダル設定など)が自動的に呼び出され ます。

レパートリーを使う前に、ミュージックファインダーのレコードを楽器に取り込んでおくことをおすすめします (80ページ)。

1 演奏したいスタイルを選びます(45ページ手順1~2)。

スタイル

J=116

J=184

J=200

J=132

Pro 902 ብን ዓንታታበን

Prio 9902 20-74592

Pro We Jacjahosh

ም። ምሮ ነብንፓታንፓ

HF OIS 721

Pro የሚዲያጋጋ።

J=108

J=122

يربههم

4

2 [4 ▼](レパートリー)ボタンを押します。

°°° ♥ #"₩#"57"

ዋ። ● 8ቲ"-ትያት"ሃያ

♥ro ♥ ディスコルンズ

ድር። የአንት-ምክን

🖿 ፤ንምታርነንኮ P1 P2 P3 P4

Δ

ます。

Pro ≪& ティファナ

MUSIC FINDER(ミュージックファインダー)画面が自動的に表示され、選択中 のスタイルを使って弾ける曲が表示されます。

NOTE 画面の右下に 「MENU1」 (メ ニュー 1)と表示されているの を確認してください(24ペー ジ)。

NOTE

スタイルによっては、レコー ドが表示されないものもあり ます。

3/4 3/4 3/4 3/4 3/4 3/4 3/4 3/4 3/4 178 186 240 186 186 186 182 186 180 SORT 1 2 PLAY FAVORISE OPTION

UMBER OF RECORDS:12

MUSIC

An Der Schonen Blauen Don Donauwellen (Danuhe Haves

Donauwellen (Danube Naves) Emperor Waltz (Kaiser Walz Fledermaus Waltz Fruehlingsstinnen-Walzer Minute Waltz Poet And Peasant (Waltz) Skater's Waltz Tales From Vienna Woods

MUSIC FINDER

ロナータルタ ロナータルタ ロナータルタ

ナーワルフ ナーワルフ

HPC 174 186

3/4 3/4

3 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で弾きたい曲を選びます。 選んだ曲に適したパネル設定が呼び出されます。

コード鍵域でコードを押さえると同時に、選んだスタイルがスタートし

演奏に合うスタイルを呼び出す(スタイルレコメンダー)

スタイルレコメンダーは、演奏に合うおすすめのスタイルを呼び出す機能です。

】 スタイル選択画面(45ページ)で、[7 ▼](スタイルレコメンド)ボタン を押して、STYLE RECOMMENDER(スタイルレコメンダー)画面を 表示させます。

鍵盤は、下図のようにB1を境にドラム音とピアノ音に分割されます。



画面の右下に「MENU1」(メ ニュー1)と表示されているの を確認してください(24ペー ジ)。

NOTE

- ドラム音(キック、スネア、ハイハット)はB1から左側に割り当てられ、ピアノ 音は右側に割り当てられます。
- 2 スタイルレコメンダー機能を使ってスタイルを呼び出します。
 - **2-1** [7 ▲▼]/[8 ▲▼](START)ボタンを押すと、演奏の待機状態になり、メトロノームが鳴り出します。
 - 2-2 TEMPO(テンポ)[-]/[+]ボタンまたは[TAP TEMPO](タップテンポ)ボタンで演奏したいテンポに設定し、[1 ▲▼]/[2 ▲▼](METRONOME3/4)で3拍子か、[3 ▲▼]/[4 ▲▼](METRONOME4/4)ボタンで4拍子に設定します。
 - 2-3 メトロノームに合わせて、1~2小節をピアノ鍵域で弾く(両手演奏がおすすめです。)か、リズムを1~2小節ドラム鍵域で弾きます。 演奏が数秒で解析され、最もおすすめのスタイルが再生されます。また、おすすめスタイルの候補が一覧で表示されます。
 - 例 1: ピアノ鍵域で下記の曲を弾いてみましょう。



おすすめのスタイルが一覧で表示されます。

• 例 2:ドラム鍵域で下記のリズムを弾いてみましょう。



演奏に近いドラムパターンを含むスタイルが一覧で表示されます。

3 カーソルボタン[▲][▼]で、一覧の中から演奏したいスタイルを選びます。

演奏に合うスタイルかどうか、鍵盤を弾いて確かめてみましょう。 演奏に合うスタイルが呼び出されていない場合は、[5 ▲▼]/[6 ▲▼](RETRY) ボタンを押して手順2-3からやり直します。

次ページへつづく

[7 ▲▼]/[8 ▲▼]ボタンを押 すと、START(スタート)と CANCEL(キャンセル)が切り 替わります。

NOTE

NOTE

コードのバッキングパターン を弾いたり、低音域でベース を弾いても、おすすめスタイ ルが再生され、候補が一覧で 表示されます。

NOTE

弱起で始まる曲は、次の小節 頭から弾き始めると、より合 う結果がおすすめされる場合 があります。

- 4 気に入ったスタイルが見つかったら、[7 ▲▼]/[8 ▲▼] (OK) ボタンを 押してSTYLE RECOMMENDER (スタイルレコメンダー) 画面を閉じ ます。
- 5 選んだスタイルを使って演奏してみましょう。

スタイルをチャンネルごとにオン/オフする

1つのスタイルは、下記のチャンネルで構成されています。スタイルを再生させながら各チャンネルをオン/オフして、スタイルの雰囲気を変えてみましょう。

スタイルチャンネルの構成

- ・RHY1、2(リズム1、2):スタイルの中心となるリズムパートです。ドラムやパー カッションのパターンが入っています。
- BASS(ベース):ベースパートです。
- ・CHD1、2(コード1、2): ピアノやギターの音で作られるコード伴奏のパートで す。
- PAD(パッド):ストリングス、オルガンなどの音を使った、長く伸びるコードの響きを付けるパートです。
- ・PHR1、2(フレーズ1、2):パンチの効いたブラスセクションやコードアルペジオ など、スタイルを装飾するパートです。
- [CHANNEL ON/OFF] (チャンネル オン/オフ)ボタンを押して、
 CHANNEL ON/OFF (STYLE) 画面を表示させます。

CHANNEL ON/OFF (STYLE)画面が表示されないときは、もう一度 [CHANNEL ON/OFF]ボタンを押します。



2 [1 ▼]~[8 ▼]ボタンで、各チャンネルをオン/オフします。

1チャンネルだけ再生するときは、再生したいチャンネルのボタンを長押しして 「SOLO(ソロ)」にします。ソロを解除するには、もう一度ソロチャンネルのボタ ンを押します。

各チャンネルのボイスを変更する

[1 ▲]~[8 ▲]ボタンを押すと、ボイス選択画面(33ページ)が表示されるので、 ボイスを選びます。

3 [EXIT](戻る)ボタンを押して、CHANNEL ON/OFF (STYLE)画面を 閉じます。

NOTE

ここでの設定を、レジスト レーションメモリーに保存で きます(83ページ)。

NOTE

スタイルチャンネルのオン/ オフは、LIVE CONTROLノ ブでも切り替えられます。ノ ブへ割り当てられる機能の詳 細は、38ページをご覧くだ さい。

音量バランスを調節する

ソング、スタイル、マルチパッドの再生音、鍵盤演奏音(レフト、ライト1、2)の音量バランスを調節することができます。

[BALANCE] (バランス)ボタンを1回または2回押して、調節したい パートが含まれるBALANCE(バランス)画面を表示させます。

バランス画面は2ページ(1/2、2/2)あります。



2 [1▲▼]~[8▲▼]ボタンで各パートの音量を調節します。
 1/2ページでは、SONG(MIDIソング、59ページ)、STYLE(スタイル)、
 M.PAD(マルチパッド、74ページ)やLEFT(レフト)、RIGHT1、2(ライト1、2)の鍵盤演奏音の各音量を調節できます。

2/2ページでは、SONG(MIDIソング)、AUDIO、AUX-IN([AUX-IN]端子からの入力音、89ページ)、KBD(鍵盤演奏音)の音量を調節できます。[2 ▲▼]/[3 ▲▼]ボタンを使った音量バランス調節の詳細は、72ページをご覧ください。



NOTE

- ・パート間の音量バランスは、 LIVE CONTROLノブでも 調節できます。詳細は、38 ページをご覧ください。
- ・MIXING CONSOLE(ミキ サー)画面のVOL/VOICE ページ(86ページ)では、ソ ングやスタイルの各パート の音量を調節できます。

NOTE

USB無線LANアダプター UD-WLO1を楽器に接続する と、「WLAN」がBALANCE 2/2ページに表示されます。

3 [EXIT](戻る)ボタンを押して、BALANCE(バランス)画面を閉じます。

スプリットポイントを設定する

鍵盤の機能を左右で分割する音を「スプリットポイント」といいます。スプリットポイントには、スプリットポイント (LEFT)とスプリットポイント(STYLE)の2つがあります。



- ・スプリットポイント(LEFT): 左手(ロワー) 鍵域と右手(アッパー) 鍵域に分割します。
- ・スプリットポイント(STYLE): 左手(ロワー) 鍵域をコード鍵域とレフトボイス鍵域に分割します。
- 7 スプリットポイント設定画面を表示させます。 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] SPLIT POINT/CHORD FINGERING → ENTER(決定) → TAB[◀] SPLIT POINT(スプリットポイント)
- **2** スプリットポイントを設定します。

KBD/TE2	SPLIT マンのいずれお	POINT/CHORD SPLITP を押したまま、対象	JINGERIING OINT IGEOROFILGERILG れの鍵盤を押してください。
			RIGHT 1
HAHUAL BASS ON CIER	CHORD DETECTION A UPPER LOAFR	REA STYLE	SPLIT POINT LEFT F#2 STYLE +LEFT KBD KBD
1			

[4 ▲▼]/ [5 ▲▼]	SPLIT POINT (STYLE)	スタイルスプリットポイント(STYLE)を設定します。[4 ▲▼]ボタンを押して値を設 定するか、[5 ▲▼](KBD)ボタンを押しながら、スプリットポイントに設定したい音を 鍵盤で弾きます。
[6 ▲▼]/ [7 ▲▼]	SPLIT POINT (LEFT)	スタイルスプリットポイント(LEFT)を設定します。[6 ▲▼]ボタンを押して値を設定 するか、[7 ▲▼](KBD)ボタンを押しながら、スプリットポイントに設定したい音を鍵 盤で弾きます。
		スプリットポイント(LEFT)はスプリットポイント(STYLE) より下の位置には設定で きません。
[8 ▲▼]	SPLIT POINT (STYLE+LEFT)	スプリットポイント(STYLE)とスプリットポイント(LEFT)を同じ位置に設定します。 データダイアルを回すか、[8 ▲▼](KBD)ボタンを押しながらスプリットポイントに設 定したい音を鍵盤で弾きます。
		スプリットポイント(STYLE+LEFT)
		×
		└────────────────────────────────────
		(左手鍵域)

右手でコードを押さえて左手でベースパートを演奏する

コード鍵域を左手鍵域から右手鍵域に変えると、右手でスタイルを再生させながら、左手で自由にベースパートを演奏できます。

- スプリットポイント設定画面を表示させます。
 [FUNCTION](ファンクション) → TAB[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソル ボタン[▲][▼][◀][▶] SPLIT POINT/CHORD FINGERING(スプリットポイン ト/コードフィンガリング) → [ENTER](決定) → TAB[◀] SPLIT POINT
- [2▲▼]/[3▲▼]ボタンを押して、CHORD DETECTION AREA (コード鍵域)を「UPPER」(アッパー)に設定します。



この設定により、右手用(アッパー)鍵域全体が、メロディー演奏用鍵域であると同時にコード鍵域になります。この状態のときは、下記に注意してください。

- ・右手(アッパー)鍵域では、メロディーを弾いてもコードが検出されます。
- MANUAL BASS(マニュアルベース)機能を使用できるようになります。この機能 がオンのときは、選んでいるスタイルのベース音がミュートされますので、左手(ロ ワー)鍵域でご自身でベースパートを演奏してください。MANUAL BASS機能の オン/オフは、[1 ▲▼]ボタンで切り替えられます。
- ・フィンガリングタイプ(49ページ)が自動的に「FINGERED*(フィンガード*)」に設定されるので、コード検出のためには、3つ以上の鍵盤を同時に押さえなければいけません。1~2つの鍵盤を押さえただけではコードは変わりません。
- ・スプリットポイント(STYLE)は無効になります。

NOTE

コード検出鍵域を「UPPER」 に設定すると、フィンガリン グタイプ(49ページ)は、 「FINGERED(フィンガード)」 しか使えません。また、 FINGEREDで検出される コードタイブのうち、一部 (「Cancel」など)は検出され ません。

スタイルを制作/編集する(スタイルクリエーター)

スタイルクリエーター機能を使うと、鍵盤を弾いてリズムパターンを録音したり、既存のスタイルデータを活用した りすることで、オリジナルのスタイルデータを制作できます。作りたいスタイルに最も近い内蔵スタイルを選んでか ら、セクションごとに各チャンネルのリズムパターン、ベースライン、コード、フレーズを録音します(スタイルク リエーターでは「ソースパターン」と呼びます)。

スタイルデータ構造-ソースパターンの作成

スタイルは、イントロ、メイン、エンディングなどの異なるセクションで構成されたデータです。1つのセクション は8つのチャンネルで構成されていて、このチャンネル1つのデータを「ソースパターン」と呼びます。スタイルクリ エーターでは、チャンネルごとのソースパターンを別々に録音したり、既存のスタイルからデータを取り込んだりし て、オリジナルのスタイルを作ります。



スタイルのリズムパートを編集する(ドラムセットアップ)

内蔵スタイルのリズムパートは、内蔵のドラムキットボイスで構成され、各鍵盤にド ラムの音が割り当てられています。スタイルクリエーターのドラムセットアップ機能 を使えば、鍵盤に割り当てる音を変えたり、音量バランスやエフェクトなどの詳細設 定をして、オリジナルのスタイルとして保存できます。この機能の詳細は、ウェブサ イト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

NOTE

楽器本体に内蔵されているド ラムキットの詳細は、ウェブ サイト上のデータリストの 「ドラム/SFXキットリスト」 をご覧ください。どのボイス がどの鍵盤に割り当てられて いるか確認できます。

もっと進んだ使いかた 詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル 第2章 をご覧ください。				
スタイル再生に関する設定	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → STYLE SETTING(スタイルセッティング) → [ENTER](決定)			
ワンタッチセッティングにパネル設定を登録する	[MEMORY](メモリー) + ONE TOUCH SETTING(ワンタッチセッ ティング)[1]~[4]			
スタイルを制作/編集する(スタイルクリエーター)	FUNCTION](ファンクション) → MENU2(メニュー 2) → STYLE CREATOR(スタイルクリエーター) → [ENTER](決定)			
・リアルタイム録音	→ BASIC			
・スタイル組み立て	→ ASSEMBLY			
・リズムのノリを変える	→ GROOVE			
・チャンネル単位で編集する	→ CHANNEL			
・スタイルファイルフォーマットの項目を設定する	→ PARAMETER			
・スタイルのリズムパートを編集する(ドラムセットアッ プ)	→ BASIC(ベーシック) → 3 RHY CLEAR/CH DELETE/DRUM SETUP			

曲(ソング)を再生、練習、録音する



この楽器では、内蔵曲や市販の曲データなどMIDI形式の曲 データを総称して「ソング」と呼んでいます。単に再生して楽 しむだけでなく、ソングを再生しながら演奏したり、自分の 演奏をソングとして録音することもできます。

MIDI形式の曲データ

鍵盤を押す/離すといった演奏の動きを記録したデータです。楽譜と同じように、どの鍵盤をどのくらいの強さでどのタイミングで弾いた、といった演奏情報が記憶され、 音そのものは記録されません。記録された演奏情報にもとづいて、音源部が鳴ること ではじめて音になります。鍵盤パートやボイスの情報なども記録されているため、譜 面の表示、パートごとのオン/オフ、ボイスの変更ができ、演奏の練習に便利です。

NOTE

オーディオファイルの再生、 録音については、69ページ をご覧ください。

ソングを再生する

この楽器では、以下のソングが再生できます。

2

次ページへつづく

- ・楽器に内蔵されているプリセットソング(ソング選択画面の「プリセット」タブ内)
- ・この楽器で録音して作成したソング(66ページ)
- ・市販の曲: SMF(Standard MIDI File) 形式のMIDIファイル

USBフラッシュメモリーに入っている曲を再生したい場合は、事前にUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続しておいてください。

[SONG FUNCTION] (ソング機能)ボタンを押して、SONG FUNCTION MENU画面を表示させます。

YRICS/TEXT

NOTE この楽器で再生できるソング

のフォーマットについては、 9ページをご覧ください。

NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。



- 2 [1 ▲▼](SELECT)ボタンを押して、ソング選択画面を表示させます。
- 3 TAB(タブ)[◀][▶]ボタンを押して、再生したいソングが入っている場所を選びます。
 - ・PRESET(プリセット)タブ…楽器にあらかじめ内蔵されているソングが表示 されます。

NOTE

[DIRECT ACCESS](ダイレ クトアクセス)ボタンを押し てから[SONG FUNCTION] (ソング機能)ボタンを押すと、 簡単にソング選択画面を呼び 出せます。

曲(ソング)を再生、練習、録音する

- 4 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で再生したいソングを選び、[ENTER] (決定)ボタンを押します。
- 5 SONG CONTROL[▶/■](プレイ/ポーズ)ボタンを押して、ソングを スタートします。

ソング再生音はトランスポー ズできます(36ページ)。

NOTE



次に再生するソングを予約する

ソング再生中に、次に再生させるソングを1曲だけ予約できます。ステージ演奏などでスムーズに次のソングを再 生させたいときに便利です。ソングを予約するには。ソング再生中に、ソング選択画面で次に再生させるソングを 選びます。

次に再生させるソングは、ソング名右上に「NEXT」(ネクスト)と表示されます。ソングの予約を解除するには、[7 ▼](NEXTキャンセル)ボタンを押します。

NOTE

画面の右下に「MENU1」(メニュー1)と表示されているのを確認してください(24ページ)。

6 SONG CONTROL[■](ストップ)ボタンを押すと、ソングがストップします。



ソング再生を操作する



演奏と同時にソングをスタートする(シンクロスタート)

鍵盤を弾くと同時にソング再生がスタートします。SONG CONTROL[■](ストップ) ボタンを押しながら、[▶/■](プレイ/ポーズ)ボタンを押すと、シンクロスタートがオ ンになります。シンクロスタートを解除するときは、[■](ストップ)ボタンを押しま す。

一時停止する

ソング再生中に[▶/┃](プレイ/ポーズ)ボタンを押します。一時停止した位置からソ ングを再生するには、もう一度[▶/┃](プレイ/ポーズ)ボタンを押します。

早戻し/早送りする

ソング再生中または停止中に、[◀◀](早戻し)または[▶▶](早送り)ボタンを押します。 一度だけ押すと、1小節だけ早戻し/早送りします。ボタンを押し続けると、手を離 すまで早戻し/早送りし続けます。

NOTE

- ソングと鍵盤演奏の音量バランスの調整については、 54ページをご覧ください。 MIXING CONSOLE(ミキサー)画面のVOL/VOICE タブ(86ページ)では、各ソングチャンネルの音量を調節できます。
- ソングとオーディオファイ ルの音量バランスも調節で きます(72ページ)。

NOTE

特定のパートをオン/オフすることもできます(63ページ)。

NOTE

フレーズマークとはソング データに設定されている、ソ ング中のある箇所を指定する データです。 [◀◀](早戻し)/[▶▶](早送り)ボタンを押すと、ソング再生位置(またはフレーズマーク)を示す画面が表示されます。

ソング再生位置を示す画面が表示されている間は、ソング再生位置をデータダイアル でも変更できます。

フレーズマークがないソングの場合

001

小節

フレーズマークがあるソングの場合



早戻し/早送りをフレーズマーク単位 でする場合は、[3 ▲▼]/[4 ▲▼]ボ タンを押して「PHRASE MARK」 を、小節単位でする場合は、[1 ▲▼]/[2 ▲▼]ボタンを押して [BAR]を選びます。

•フェードイン/フェードアウト

スタイルと同じ操作方法です。48ページをご覧ください。

•テンポを調節する スタイルのテンポ調節と同じ方法です。48ページをご覧ください。

譜面を表示する

選んだソングの譜面(楽譜)を表示させます。

- 1 ソングを選びます(59ページ手順1~4)。
- [SONG FUNCTION] (ソング機能) ボタンを押して、SONG FUNCTION MENU画面を表示させます。

NOTE

この楽器では、自分で録音したMIDIソングや市販のMIDIファイルの譜面も表示させることができます。ただし、市販のファイルによっては、譜面が表示されない場合があります。





3 [2 ▲▼]/[3 ▲▼] (SCORE) ボタンでSCORE(譜面) 画面を表示させま す。

ソングの停止中は、TAB(タブ)[◀][▶]ボタンで譜面をめくれます。ソングを再 生すると、譜面上のボールが移動して、再生位置を示します。

[1 ▲▼]~[8 ▲▼]ボタンで、表示サイズを変えたり、音名を表示させたりな ど、譜面の表示方法を変えられます。詳しくは、ウェブサイト上のリファレンス マニュアルをご覧ください。 NOTE

表示される譜面はソングデー タをもとに作成されます。そ のため、細かい音符が多い曲 や複雑な曲を表示するとき は、市販の楽譜と異なる場合 があります。

歌詞/テキストを表示する

ソングに歌詞データが入っている場合、画面上に歌詞を表示できます。ソングに歌詞データが入っていなくても、歌 詞データのテキストファイル(拡張子.txt)をコンピューターで作成し、USBフラッシュメモリーに入れて楽器本体に 接続すれば、歌詞だけでなく、コードネームや演奏時のメモなどを表示して、さまざまな使い方ができます。

- 1 ソングを選びます(59ページ手順1~4)。
- [SONG FUNCTION] (ソング機能)ボタンを押して、SONG FUNCTION MENU画面を表示させます。



3 [4 ▲▼]/[5 ▲▼](LYRICS/TEXT)ボタンで歌詞画面を表示させます。 [1 ▲▼]ボタンを押すたびに、LYRICS(歌詞)画面とTEXT(テキスト)画面が交

[I▲▼]ホタンを押すたいに、LYRICS(歌詞)画面とIEXI(テキスト)画面が交 互に表示されます。

ソングに歌詞データが入っていれば、歌詞が画面上に表示されます。ソングの停止中は、TAB(タブ)[◀][▶]ボタンで歌詞のページをめくれます。ソングを再生すると、再生に合わせて歌詞の色が変わります。

コンピューターで作ったテキストファイルを表示させたい場合は、[5 ▲▼]/[6 ▲▼](TEXT FILE)ボタンを押してファイル選択画面を表示させて、対象のテキ ストファイルを選びます。

歌詞(テキスト)画面についての詳細は、ウェブサイト上のリファレンスマニュア ルをご覧ください。

NOTE

表示された歌詞が文字化けし て読めない場合は、 [FUNCTION](ファンクショ ン) → MENU1(メニュー 1) → SONG SETTING(ソング セッティング) → [ENTER] (決定) → 2 LYRICS LANGUAGEで、歌詞言語を 変更する必要があります。

NOTE

テキストファイルの指定情報 は、レジストレーションメモ リーに保存できます(83ペー ジ)。

NOTE

フットペダルに機能を割り当 てると、フットペダルで歌詞 のページをめくることができ ます。 [FUNCTION](ファンクショ ン) → MENU1(メニュー 1) → CONTROLLER(コント ローラー) → [ENTER](決定) → FOOT PEDAL(フットペ ダル)

ソングをチャンネルごとにオン/オフする

1曲のソングは、16のチャンネルで構成されています。選んだソングを再生させながら、各チャンネルをオン/オフ してみましょう。

1 [CHANNEL ON/OFF](チャンネルオン/オフ)ボタンを押して、 CHANNEL ON/OFF (SONG)画面を表示させます。

CHANNEL ON/OFF(SONG)画面が表示されないときは、もう一度 [CHANNEL ON/OFF]ボタンを押します。



2 「1 ▲▼1~「8 ▲▼」ボタンを押して、各チャンネルをオン/オフします。 1チャンネルだけ再生(ソロ再生)したいときは、再生したいチャンネルに対応し た[1 ▲▼]~[8 ▲▼]ボタンのいずれかを押し続けて「SOLO(ソロ)」にします。 選んだチャンネルのみがオンになり、その他のチャンネルがオフになります。ソ 口を解除するには、もう一度ソロチャンネルのボタンを押します。

NOTE

通常、各チャンネルに下記の とおり、各パートが録音され ています。

 チャンネル1~3:鍵盤 パート(ライト1、レフト、 ライト2)

・チャンネル5~8:マルチ パッド

・チャンネル9~16:スタイル

練習機能(ガイド)を使って片手ずつ練習する

右手パートを消音して、右手の練習をしてみましょう。ここでは、「Follow Lights」(フォローライツ)というガイド 機能を使った右手練習のしかたを説明します。正しい鍵盤を弾くまで伴奏が待ってくれるので、自分のペースで練習 できます。また、SCORE(譜面)画面を表示すると、弾く音と再生位置を確認できます。

- 1 ソングを選び、譜面を表示させます(61ページ)。
- 2 [SONG FUNCTION] (ソング機能) ボタンを押して、SONG FUNCTION MENU画面を表示させます。



- 3 [6 ▲▼](GUIDE)ボタンを押して、ガイド機能をオンにします。
- 4 [CHANNEL ON/OFF](チャンネル オン/オフ)ボタンを押して、 CHANNEL ON/OFF (SONG)画面を表示させます。 CHANNEL ON/OFF(SONG)画面が表示されないときは、もう一度 [CHANNEL ON/OFF]ボタンを押します。
- 5 [1▲]ボタンを押して、チャンネル1(ライト1パート)をオフにします。 必要に応じて、「3▲1ボタンを押して、チャンネル3(ライト2パート)もオフに します。 ご自身で右手パートを弾いてみましょう。

NOTE

レフトパートはチャンネル2 に割り当てられています。

次ページへつづく

SONG CONTROL[▶/III](プレイ/ポーズ)ボタンで、ソングをスタートします。



SCORE(譜面)画面を見ながら消音したパートを練習しましょう。右手以外の パートが、あなたが正しい鍵盤を弾くまで待ってくれます。

7 練習が終わったら、[SONG FUNCTION] (ソング機能) ボタンで SONG FUNCTION MENU画面を表示させたあと、[6 ▲▼] (GUIDE) ボタンを押してガイド機能をオフにします。

NOTE

再生位置を示すボールを譜面 上に表示させるには、 [EXIT](戻る)ボタンを押し て、CHANNEL ON/OFF (SONG)画面を閉じます。

その他のガイド機能

ガイド機能には、ここで説明した「フォローライツ」のほかに、鍵盤を弾くタイミングだけを練習する「Any Key」(エニーキー)、カラオケ練習用の「Karao-Key」(カラオキー)、弾くペースに合わせてソングのテンポが変化する [Your Tempo](ユアテンポ)があります。 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]

[[ONG HON](ファクラクラコン) ・ TAB(ラク)(4] MEND (スニュー 1) ・ カーフルボタン[▲] 1 GUIDE MODE(ガイドモード)

詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

くり返し再生する

くり返し再生機能を使うと、ソング1曲をくり返し再生できるだけでなく、複数のソングをくり返し再生したり、ソングの特定部分のみをくり返し再生したりすることもできます。

くり返し再生方法(リピートモード)を設定する

1 設定画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] SONG SETTING(ソングセッティング) → [ENTER](決定) → カーソルボタン[▼] 2 REPEAT MODE(リピートモー ド)



2 [1 ▲▼][2 ▲▼](REPEAT MODE)ボタンを押して、くり返し再生の方法を設定します。

・OFF現在選ばれているソングを1回だけ再生し、くり返し再生はしません。

- ・SINGLE......現在選ばれているソング1曲をくり返し再生します。
- RANDOM.........現在選ばれているソングがあるフォルダーのソング全曲のランダム(順不同)再生をくり返します。

- 1 ソングを選びます(59ページ手順1~4)。
- [SONG FUNCTION] (ソング機能) ボタンを押して、SONG FUNCTION MENUを表示させます。



- **3** SONG CONTROL[▶/**III**](プレイ/ポーズ)ボタンを押して、ソングを スタートします。
- 4 くり返し位置を指定します。

くり返し再生の開始位置(A点)にしたい所で[7 ▲▼](A-B)ボタンを押してくり返し機能をオンにします。くり返し再生の終了位置(B点)にしたい所で、もう一度 [7 ▲▼](A-B)ボタンを押します。曲に合わせたカウントが入ったあと、ソングのA点からB点までがくり返し再生されます。



NOTE

A点だけを指定して、B点を 指定せずにいると、A点から ソングの最後までがくり返し 再生されます。

NOTE

A点を曲の開始位置、B点を 曲の途中に設定したい場合 は、下記の操作をしてくださ い。

- 1 [7 ▲▼](A-B)ボタンを押 してからソング再生をス タート
- 2 くり返し再生の終了位置(B 点)にしたい所でもう一度 [7 ▲▼](A-B)ボタンを押 す
- 5 SONG CONTROL[■](ストップ)ボタンで、ソングをストップします。 再生位置がA点に戻ります。[▶/III](プレイ/ポーズ)ボタンを押すと、A点から 再生が始まります。 練習が終わったら、[7 ▲▼](A-B)ボタンを押してくり返し機能をオフにします。

ソングの停止中にA点とB点を指定する

- 1. SONG CONTROL[▶](早送り)ボタンでA点にしたい所までソングを早送りして、[7 ▲▼](A-B)ボタンでく り返し機能をオンにします。
- 2. [▶](早送り)ボタンでB点にしたい所までソングを早送りして、もう一度[7 ▲▼](A-B)ボタンを押します。

演奏を録音する

自分の演奏を録音して、USER(ユーザー)メモリーまたはUSBフラッシュメモリー にMIDIファイル (SMFフォーマット0)として保存できます。MIDIファイルなので、 あとで簡単に編集できます。

この楽器では、2通りの方式で録音できます。

- クイック録音・・・・・下記参照 すべてのパートを一度に録音できます。また、特定のパート(右手、左手、スタイル 再生)だけを録音することもできます。
- マルチトラック(多重)録音・・・・67ページ参照
 チャンネルごとに録音して、1つの曲を作り上げることができます。各チャンネルに
 割り当てるパートは自由に変更できます。

クイック録音

録音を始める前に、ボイスやスタイルの選択など必要な準備をしておきましょう。この録音方法では、各パートが以下のチャンネルに録音されます。

- 鍵盤パート:チャンネル1~3
- •マルチパッド(74ページ)パート:チャンネル5~8
- •スタイルパート:チャンネル9~16
- SONG CONTROL[REC](録音)ボタンと[■](ストップ)ボタンを同時 に押します。

録音のための空のソングが用意され、メイン画面(18ページ)のソング名表示欄 に「New Song」と表示されます。



2 [REC](録音)ボタンを押します。



3 録音をスタートします。

鍵盤を演奏したり、スタイル再生やマルチパッド再生をスタートしたり、 SONG CONTROL[▶/■](プレイ/ポーズ)ボタンを押したりすると、録音がス タートします。



4 演奏が終わったら、[■](ストップ)ボタンまたは[REC](録音)ボタンを 押して、録音を終わります。

保存を促すメッセージが表示されます。メッセージを閉じるには、[EXIT](戻る) ボタンを押します。



次ページへつづく

NOTE

NOTE

オーディオリンクマルチパッド(76ページ)やオーディオ ファイル(69ページ)をもと に作られたリズムチャンネル のようなオーディオデータ は、MIDIファイルとして録音 できません。

NOTE

録音をキャンセルする場合 は、手順3に進む前に[■](ス トップ)ボタンを押します。

NOTE

録音中もメトロノームを使え ます(35ページ)。ただし、メ トロノームの音は録音されま せん。

5 録音した演奏を保存します。

5-1 [SONG FUNCTION](ソング機能)ボタンを押してSONG FUNCTION MENU画面を表示させ、[1 ▲▼](SELECT)ボタンでソング選択画面を表示させます。 録音したソングを保存せず に、ソングを切り替えたり電 源を切ったりすると、録音し たデータは失われます。ご注 意ください。

注記

- 5-2 26ページの手順1~5に従って、録音データをファイルとして保存します。
- 6 [▶/II](プレイ/ポーズ)ボタンを押して、録音した演奏を再生して聞いてみましょう。



チャンネルごとに録音する(マルチトラック録音)

1チャンネルずつ録音して、全部で16チャンネルで構成されるソングを作り上げることができます。たとえば、ピアノ曲の場合、右手パートをチャンネル1に録音したあと、左手パートをチャンネル2に録音すれば、両手で弾くのが難しいピアノ曲を録音することができます。また、スタイルを使う場合は、チャンネル9~16にスタイル演奏を先に録音しておき、あとでスタイルを聞きながらチャンネル1にメロディーを録音することができます。このように、1回で演奏するのが難しい曲でも、パート別に重ねて録音をすることによって、1つの曲に仕上げることができます。 録音を始める前に、ボイスやスタイルの選択など必要な準備をしておきましょう。

 SONG CONTROL [REC] (録音) ボタンと[■] (ストップ) ボタンを同時 に押します。

録音のための空のソングが用意され、メイン画面(18ページ)のソング名表示欄に「New Song」と表示されます。

 [REC](録音)ボタンを押しながら[1 ▲▼]~[8 ▲▼]ボタンを押して、 録音したいチャンネルを「REC」にします。

チャンネルの録音をキャンセルする場合には、[1 ▲▼]~[8 ▲▼]ボタンをもう 一度押してください。



3 下記のような画面が表示されたら、データダイアル、または[+/YES]/ [-/NO]ボタンで録音したいチャンネルに割り当てるパートを選びます。

> 語音パート選択 CH:1 RIGHT1

NOTE

録音をキャンセルする場合 は、手順4に進む前に[■](ス トップ)ボタンを押します。

次ページへつづく

4 録音をスタートします。

鍵盤を演奏したり、スタイルやマルチパッドを再生したり、SONG CONTROL[▶/■](プレイ/ポーズ)ボタンを押したりすると、録音がスタートし ます。



5 演奏が終わったら、[■](ストップ)ボタンを押して、録音をストップします。

保存を促すメッセージが表示されます。メッセージを閉じるには、[EXIT](戻る) ボタンを押します。

- 6 [▶/II](プレイ/ポーズ)ボタンを押して、録音した演奏を再生して聞いてみましょう。
- 7 手順2~6をくり返し、別のチャンネルに録音します。
- 8 録音した演奏を保存します。
 - 8-1 [SONG FUNCTION](ソング機能)ボタンを押して画面下部に「SONG FUNCTION MENU」を表示させ、[1 ▲▼](SELECT)ボタンでソング選択 画面を表示させます。
 - 8-2 26ページの手順1~5に従って、録音データをファイルとして保存します。

N	0	T	Έ	

録音済みのソングに上書き録 音する場合、スタイルリトリ ガー機能(38ページ)は使え ません。

注記

録音したソングを保存せず に、ソングを切り替えたり電 源を切ったりすると、録音し たデータは失われます。ご注 意ください。

もっと進んだ使いかた 詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル 第3章 をご覧ください。				
譜面表示の設定を変える	[SONG FUNCTION](ソング機能) → [2 ▲▼]/[3 ▲▼](SCORE) → [1 ▲▼]~[8 ▲▼]			
歌詞/テキスト表示の設定を変える	[SONG FUNCTION](ソング機能) → [4 ▲▼]/[5 ▲▼](LYRICS/ TEXT) → [1 ▲▼]~[8 ▲▼]			
ソングとスタイルを同時に再生する	[ACMP](スタイルON/OFF) → STYLE CONTROL [SYNC START](スタイルコントロール シンクロスタート) → SONG CONTROL(ソングコントロール)[■] + [▶/11] → STYLE CONTROL [START/STOP](スタート/ストップ)			
ソング再生に関する設定	FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → SONG SETTING(ソングセッティング) → [ENTER](決定)			
・ガイド機能の種類を選ぶ	→ 1 GUIDE MODE			
ソングを編集する(ソングクリエーター)	- FUNCTION](ファンクション) → MENU2(メニュー 2) → SONG CREATOR(ソングクリエーター) → [ENTER](決定)			
・ソングのセットアップデータを編集する	→ SETUP			
・部分的に再録音する(パンチイン/アウト録音)	→ REC MODE			
・チャンネル単位で編集する	→ CHANNEL			

4

オーディオファイルを再生/録音する (USBオーディオプレーヤー)



USBオーディオプレーヤー機能を使えば、USBフラッシュ メモリーに入っているオーディオファイル(WAVE)を楽器 で再生できます。また、自分の演奏を録音してUSBフラッ シュメモリーにオーディオファイル(WAVE)として保存で きますので、コンピューターで再生したり、知り合いとお互 いの演奏データを共有したり、オリジナルのCDを制作した りして楽しめます。

NOTE

- ・MIDIソングの再生や録音については、59ページをご覧ください。
- ・USBオーディオプレーヤー機能を使った録音では、あとで別パートを追加で録音したり(マルチトラック録音)、編集したりする ことはできません。このような録音をしたい場合は、MIDIソングの録音方法(66ページ)をご覧ください。

オーディオファイルを再生する

この楽器では、USBフラッシュメモリーに入っているWAVEファイル(サンプルレート44.1kHz、量子化ビット数16bit、ステレオ)を再生できます。

- 再生したいオーディオファイルが入っているUSBフラッシュメモリー を[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- [USB AUDIO PLAYER] (USBオーディオプレーヤー) ボタンを押し て、USB AUDIO PLAYER画面を表示させます。



3 [1 ▲▼](FILES)ボタンを押して、オーディオファイル選択画面を表示 させます。

NOTE

DRM(デジタル著作権管理)付 きファイルは再生できませ ん。

NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。

NOTE

オーディオリンクマルチパッ ド機能(76ページ手順5)で WAVEファイルを選んでいる 間は、[USB AUDIO PLAYER]ボタンは機能しま せん。 Δ

次ページへつづく

4 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で再生したいファイルを選び、 [ENTER](決定)を押します。



NOTE

オーディオファイルは、MIDI ファイルなど他のファイルと 比べて、読み込むのに時間が かかります。

オーディオファイル情報を表示する

[6 ▼](情報)ボタンで情報画面を表示させると、カーソルで選んだファイルのファイル名、サンプルレートなどを 確認できます。[7 ▲▼]/[8 ▲▼](OK)ボタンで画面を閉じます。

NOTE

画面右下に「MENU1」(メニュー 1)と表示されているのを確認してください(24ページ)。

5 [7 ▼](オーディオプレイ)ボタンを押して、オーディオファイルを再生します。

自動的にUSB AUDIO PLAYER画面に戻ります。

6 [3 ▲▼] (STOP) ボタンを押して、再生をストップします。

		USE	B AUDI	O PLAY	'ER		
	•		Aud io	_001			
	REPEAT	OFF		A (: ·] B	[:-]	
FILES	BEC	STOP	PLQY∕ PAUSE ▶∕11	PREV IAA	HEXT DD	REPEAT A ↔ B HODE	Alia C M
1	2		4	5	6	7	8

NOTE

画面右下に「MENU1」(メ ニュー 1)と表示されているの を確認してください(24ペー ジ)。

注記

再生中はUSBフラッシュメモ リーを抜き差ししたり、楽器 の電源を切ったりしないでく ださい。USBフラッシュメモ リー内のデータが壊れるおそ れがあります。



[3 ▲▼]	STOP	再生をストップします。
[4 ▲▼]	PLAY/PAUSE	再生をスタートしたり、一時停止したりします。
[5 ▲▼]	JUJAPA PREV	1つ前のファイルを選びます。押し続けると、選んでいるファイルを早戻しします。
[6 ▲▼]	NEXT	1つ後のファイルを選びます。押し続けると、選んでいるファイルを早送りします。
[7 ▲▼]	REPEAT	下記参照。
[8 ▲▼]	AUDIO VOLUME	選んでいるファイルの音量を調節します。 NOTE • MIDIソングとオーディオファイルを再生した時の音量バランスは、[BALANCE](バ ランス)ボタンで調節できます。詳しくは、72ページをご覧ください。 • オーディオファイルのボリュームは、LIVE CONTROLノブでも調節できます。ノブ に割り当てられる機能の詳細については、38ページをご覧ください。

指定した範囲をくり返し再生する(ABリピート)

- 1. オーディオファイル再生中、くり返し再生の開始位置(A点)にしたい所で[7 ▲](A↔B)ボタンを押します。曲の 開始からA点に設定された位置までの時間が画面に「A [--:--]」と表示され、▲マークが付きます。
- 2. オーディオファイル再生中、くり返し再生の終了位置(B点)にしたい所で、もう一度[7▲](A↔B)ボタンを押します。曲の開始からB点に設定された位置までの時間が画面に「B[--:--]」と表示され、▲マークが付きます。

オーディオファイルのA点からB点まで指定された範囲がくり返し再生されます。

3. くり返し再生をオフにする場合は、もう一度[7 ▲](A↔B)ボタンを押します。

連続再生する

[7 ▼](MODE)ボタンを押してREPEAT MODE(リピートモード)設定画面を表示させ、[6 ▲▼]/[7 ▲▼]ボタンで リピートモードを選びます。選んだら[EXIT](戻る)ボタンを押して設定画面を閉じます。



- ・ OFF (OFF).................現在選ばれているファイルを1回だけ再生し、くり返し再生はしません。
- SINGLE (1)……現在選ばれているファイル1曲をくり返し再生します。

ソングとオーディオファイルの音量バランスを調節する

[BALANCE]ボタンを1回または2回押して、BALANCE(バランス)画面の2/2ページを開きます。[2 ▲▼]~[3 ▲▼]ボタンを押すと、SONG(MIDIソング)とAUDIOの音量バランスを簡単に調節できます。CENTER(センター)に設 定されている場合は、SONGとAUDIOが同じ音量であることを意味します。変更した音量バランスを簡単にCENTER に戻すには、[2 ▲]と[3 ▲](または[2 ▼]と[3 ▼])を同時に押してください。



NOTE

BALANCE画面の詳細は、54ページをご覧ください。

オーディオ録音する

自分の演奏をオーディオファイル(WAVフォーマット:サンプルレート44.1kHz、 量子化ビット数16bit、ステレオ)として、USBフラッシュメモリーに直接録音でき ます。

録音できる音

- ・鍵盤演奏音(レフト、ライト1、2)や、ソング、スタイル、マルチパッド(74ページ) の音すべて
- [AUX IN]端子から入力された携帯音楽プレーヤーなどの音(89ページ)
- [USB TO HOST]端子から入力されたMIDIデータの再生音など(93ページ)

録音可能時間

1回の録音につき80分まで可能です。ただし、USBフラッシュメモリーの容量に よって異なります。

- **1** USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- 2 録音を始める前に、ボイスやスタイルの選択など必要なパネル設定をします。
- **3** [USB AUDIO PLAYER] (USBオーディオプレーヤー) ボタンを押し て、USB AUDIO PLAYER画面を表示させます。



NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。

NOTE

あとで別パートを追加で録音 したり(マルチトラック録音)、 編集したりしたい場合は、 MIDIソングとして録音してく ださい(66ページ)。

NOTE

プリセットソングなど著作権 で保護されているソング(曲) や、オーディオリンクマルチ パッド(76ページ)の演奏音、 メトロノーム音は録音できま せん。

次ページへつづく
4 [2 ▲▼](REC)ボタンを押して、録音待機状態にします。

画面上の[PLAY/PAUSE]ボタンが点滅します。

録音可能時間

USB AUDIO PLAYER WAITING 00:00 RECORDABLE TIN [10:02] AUDIO REPEAT VOLUM G 100 2

[4 ▲▼](PLAY/PAUSE)ボタンを押して録音を開始したら、演奏を始 めます。

5

録音中、画面に録音経過時間が表示されます。



注記
録音中はUSBフラッシュメモ
リーの抜き差しをしたり、楽
器の電源を切ったりしないで
ください。USBフラッシュメ

それがあります。

モリー内のデータが壊れるお

6 演奏が終わったら、[3 ▲▼](STOP)ボタンを押して録音を終了しま す。

録音されたデータは、自動的にファイル名が付けられて、USBフラッシュメモ リーに保存されます。

7 [4 ▲▼] (PLAY/PAUSE) ボタンを押して、録音した演奏を再生してみ ましょう。

[1 ▲▼](FILES)ボタンでファイル選択画面を開くと、演奏を録音したファイル を確認できます。

NOTE

USB AUDIO PLAYER(USB オーディオプレーヤー)画面 を[EXIT](戻る)ボタンで閉じ ても、録音は中断されませ ん。[USB AUDIO PLAYER](USBオーディオ プレーヤー)ボタンでもうー 度USB AUDIO PLAYER画 面を表示させて、[3 ▲▼] (STOP)ボタンを押すと、録 音がストップします。

NOTE

録音済みのファイルに上書き 録音はできません。演奏を失 敗したら、ファイル選択画面 でファイルを削除してから、 もう一度演奏を録音してくだ さい。

NOTE

録音中もメトロノームを使え ます(35ページ)。ただし、メ トロノームの音は録音されま せん。

マルチパッドを使う



マルチパッドは、内蔵された短いリズムパターンやフレーズ です。マルチパッドを使えば、インパクトがある、変化に富 んだ演奏が可能になります。 4つのマルチパッドを1セットにしたものをバンクと呼び、

音楽シーンに合わせたさまざまなジャンルのマルチパッドバンクが搭載されています。

また、オーディオリンクマルチパッド機能を使えば、お気に 入りのオーディオファイル(WAVE)を使って新しいマルチ パッドを作って再生できます。

マルチパッドを再生する

ここではマルチパッドだけを再生する手順を説明しますが、スタイルやソングの再生時にマルチパッドを鳴らして、 より豪華な演奏にすることもできます。

▮ MULTI PAD CONTROL [SELECT](選択)ボタンでマルチパッド選択画面を表示させます。



2 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で再生したいマルチパッドバンクを選び、[ENTER](決定)ボタン を押します。

画面は複数ページで構成されているので、ページ番号(P1、P2···)に対応した[1▲]~[7▲]ボタンを押すか、 MULTI PAD CONTROL [SELECT](選択)ボタンを何度か押して再生したいバンクが含まれるページを表示さ せます。そのあと、カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でバンクを選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。 [8▲](上へ)ボタンを押すと、マルチパッドがカテゴリー別に納められたフォルダーが表示されます。

3 MULTI PAD CONTROL(マルチパッドコントロール)[1]~[4]ボタン のいずれかを押して、マルチパッドを再生します。

各ボタンに入っているフレーズが、設定されているテンポで再生されます。ま た、同時に複数のマルチパッドを再生することもできます。



NOTE

マルチパッドデータは2種類 あります。1つは、ひととお り再生すると、再生がストッ プするデータです。もう1つ は連続再生(ループ再生)され るデータです。

NOTE

再生中にマルチパッドコント ロール[1]~[4]ボタンを押す と、再生が停止して、フレー ズの最初から再生が再開され ます。

4 [STOP] (ストップ) ボタンで、マルチパッドの再生をストップします。 特定のパッドだけストップしたいときは、[STOP] ボタンとストップしたいパッ ドのボタンを同時に押します。

NOTE

- スタイルやソングの再生中にマルチパッドボタンを押すと、スタイルやソングの次の小節の最初に、マルチパッドが再生されます。スタイルやソングの停止中にマルチパッドボタンを押すと、すぐにマルチパッドが再生されます。
- スタイルやソングの再生中にSTYLE CONTROL [START/STOP](スタート/ストップ)ボタン、またはSONG CONTROL [■](ソングコントロール ストップ)ボタンを押すと、マルチパッドの再生もストップします。スタイルとソン グの両方が再生されているときは、SONG CONTROL [■] (ストップ)ボタンで、ソング、スタイル、マルチパッドすべて の再生がストップします。

MULTI PAD CONTROL(マルチパッドコントロール)[1]~[4]ボタンのランプについて

- ・緑点灯:データが入っています。
- ・**赤点灯**:現在再生中です。
- ・赤点滅:再生(シンクロスタート)待機中です。
- *シンクロスタート機能については、下記をご覧ください。
- ・消灯:データが入っていません。

コードに合わせてマルチパッドを再生する(コードマッチ)

[ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンまたはレフトパートがオンのとき、マルチパッド再生のピッチが、コード鍵域 で弾いたコードに合わせて自動的に変わります。MULTIPAD CONTROL(マルチパッドコントロール)[1]~[4]ボ タンを押してから(または押す前に)、コード鍵域でコードを弾きます。



NOTE

- コード鍵域で弾いたコード に合わせて再生(コードマッ チ)しないマルチパッドもあ ります。
- 「DJ Phrase (DJフレーズ)」 フォルダーのマルチパッドは DJスタイル(46ページ)に合 わせて制作されていますの で、ルートしか変更できません。

演奏と同時にマルチパッドをスタートする(シンクロスタート)

鍵盤を押すか、スタイル再生をスタートするだけで、マルチパッドを再生できます。

 MULTI PAD CONTROL [SELECT](マルチパッドコントロール[選択]) ボタンを押したまま、再生したいマルチパッドの[1]~[4]ボタンのいず れか、または複数を押します。

押したボタンが赤点滅して、再生待機状態になります。



2 マルチパッドを再生します。

- [ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンがオフのときは、いずれかの鍵盤を押す か、スタイルを再生してください。
- ・[ACMP]ボタンがオンのときは、コード鍵域でコードを弾くか、スタイルを再 生してください。

スタイルまたはソングの再生中にマルチパッドを再生待機状態にした場合、 [ACMP]ボタンがオフのときはいずれかの鍵盤を押すと、[ACMP]ボタンがオン のときはコード鍵域でコードを弾くと、次の小節の最初からマルチパッドが再生 されます。

NOTE

選んだパッドの再生待機状態 をキャンセルするには、手順 1と同じ操作をしてください。 また、[STOP](ストップ)ボ タンを押すと、選んだすべて のパッドの再生待機状態を キャンセルできます。

NOTE

複数のマルチパッドが再生待 機状態の場合は、そのいずれ かのボタンを押すと、同時に すべてのマルチパッドが再生 されます。

WAVEファイルを使ってマルチパッドを作る(オーディオリンクマル チパッド)

USBフラッシュメモリー内のオーディオファイル(WAVE)を各マルチパッドボタン にリンクさせて、新しいマルチパッドとして鳴らすことができます。WAVEファイル は、USBオーディオプレーヤー機能(69ページ)で作ったデータや市販のデータが使 えます。WAVEファイルがリンクされたマルチパッドを、オーディオリンクマルチ パッドと呼び、USERメモリーやUSBフラッシュメモリーに保存できます。

- WAVEファイルが入っているUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- MULTI PAD CONTROL [SELECT]([選択])ボタンで、マルチパッド選 択画面を表示させます。
- 3 [6 ▼] (AUDIOリンク) ボタンでAUDIO LINK MULTI PAD(オーディ オリンクマルチパッド) 画面を表示させます。 確認メッセージが表示される場合があります。画面に表示される指示に従って操 作してください。

NOTE

オーディオファイルの再生、 録音待機、録音中は、オー ディオリンクマルチパッドを 作ったり、再生したりできま せん。

NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。

NOTE

画面右下に「MENU1」(メ ニュー 1)と表示されているの を確認してください(24ペー ジ)。

NOTE

WAVEファイルをMIDIのマ ルチパッドにリンクさせるこ とはできません。

Δ



- 4 カーソルボタン[▲][▼]でリンクさせたいマルチパッドコントロール
 [1]~[4]を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。
 WAVE(ウェーブ)画面が表示されます。
- 5 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でリンクさせたいWAVEファイルを選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

選んだWAVEファイルの情報を確認する

WAVE(ウェーブ)画面で[6 ▼](情報)ボタンを押すと、選んだWAVEファイルの ファイル名、ビットレート、サンプルレートなどの情報を確認できます。[7 ▲▼]/[8 ▲▼](OK)ボタンを押すと、確認画面が閉じます。

NOTE

手順3で[6 ▼](AUDIOリン ク)ボタンを押したときに、 すでにオーディオリンクマル チパッドが選ばれている場合 は、各パッドにリンクされた WAVEファイルが表示されま す。これを変更したくない場 合は、[1 ▲▼]/[2 ▲▼] (NEW BANK)を押して、新 しいバンクを作ってくださ い。

次ページへつづく

6 [EXIT] (戻る)ボタンで、AUDIO LINK MULTI PAD(オーディオリン クマルチパッド)画面に戻ります。

選んだWAVEファイルのリンク先のパスを確認する [7 ▲▼](INFO)ボタンを押すと、選んだWAVEファイルのリンク先のパスを確認 できます。[7 ▲▼]/[8 ▲▼](OK)ボタンを押すと、確認画面が閉じます。

- **7** ほかのWAVEファイルをほかのパッドにリンクさせたい場合は、手順4 ~6をくり返します。
- 8 必要に応じて、[3 ▲▼]~[6 ▲▼]ボタンでWAVEファイルの音量を調節します。

MULTI PAD CONTROL(マルチパッドコントロール)[1]~[4]ボタンを押して マルチパッドを再生すれば、音を聞きながら音量を調節できます。

- 9 マルチパッドバンクに設定を保存します。
 - **9-1** [8 ▲▼](SAVE)ボタンを押して、マルチパッドバンク選択画面を表示させます。
 - **9-2** 26ページ手順1~5の説明にしたがって、バンクファイルとして設定を保存します。
- **10** [EXIT](戻る)ボタンを押してマルチパッド選択画面に戻り、作った オーディオリンクマルチパッドを確認します。

新しく作ったオーディオリンクマルチパッドには、ファイル名の左上に「Audio Link」というマークが付きます。

リンクの設定を変えたいとき

リンクを変えたいオーディオリンクマルチパッドを選んだあと、手順3~10の 操作を行ないます。

オーディオリンクマルチパッドを再生する

WAVEファイルをリンクさせたマルチパッドを、マルチパッドバンク選択画面の USERタブまたはUSBタブで選んで再生することができます。74ページと同じ操作 で再生できますが、以下の制限事項に注意してください。

- リンクさせたWAVEファイルが入っているUSBフラッシュメモリーを必ず接続してください。
- ・ループ再生できません。
- 一度に再生できるのは1つのパッドのみです。
- コードマッチは使えません。

設定を保存せずに、ほかの オーディオリンクマルチパッ ドを選んだり、楽器本体の電 源を切ると、設定は消えてし まいます。

注記

NOTE

オーディオファイル(WAVE) は、MIDIファイルと比べて、 読み込むのに時間がかかりま す。

もっと進んだ使いかた 詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル 第5 章	をご覧ください。
マルチパッドを制作する(マルチパッドクリエーター)	[FUNCTION](ファンクション) → MENU2(メニュー2) →

マルチパッドを編集する

マルチパッドバンク選択画面 → [7 ▼](編集)

[ENTER](決定)

弾きたい曲に合ったパネル設定を呼び出す (ミュージックファインダー)



弾きたい曲に合ったパネル設定(ボイスやスタイルなど)が わからない場合、ミュージックファインダー機能を使うと便 利です。ミュージックファインダーに登録されているさまざ まな「レコード」から曲名を選ぶことにより、弾きたい曲に 合ったパネル設定を呼び出すことができます。 また、いろいろな場所に保存されたソング、オーディオ、ス タイルファイルをミュージックファインダーに登録して、簡 単に呼び出すこともできます。

レコード(パネル設定)を選ぶ

[MUSIC FINDER] (ミュージックファインダー)ボタンを押して、MUSIC FINDER画面を表示させます。

TAB(タブ)[◀][▶]ボタンで、表示するタブを選びます。

- ・FAVORITE......自分で登録したお気に入りのレコードが表示されます(詳細はウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください)。
- ・SEÁRCH1、2.......検索結果が表示されます(79ページ)。

	_	MUSIC	FINDER		
		ALL TAT	AVORTTE II SEARC	TNIS	SEARCH 2
	[[NUMBER OF RECORDS:71		۱.	= 120
		MUSIC	STYLE	BEAT	TEMPO
		Abide With Me	クラシックと『アノO"ラート"	4/4	72
		Aida Triumph March	オーラストラマージ	4/4	112
この画面に表示されるの		Air On The G String	275552E"720"7-F"	4/4	68
		Air On The G String	3179F	4/4	68
が「レコード」です 曲名 ―	ĿГ.	Air On The G String	n"ay9797	4/4	69
	Ш.	Anapola	60s‡"ター#"ッフ"	4/4	138
(MUSIC)とスタイル情	Ш.	Anapola	\$00°	4/4	112
	Ш.	American Patrol	£"??"n"2h"????	4/4	186
報を確認できます。	Ш.	An Der Schonen Blauen Donau	9707-982	3/4	174
	Ш.	Any Old Iron	n"7"E"7/	4/4	116
		Audi o_001	(AUDIO)		
		Ave Maria	6-2716-8	6/8	60
	Ш	Beautiful Dreamer	‡"ターもナーテ"	3/4	104
	È	ORT ROT	210 1 100	ι.U	OPTION

2 カーソルボタン[▲][▼]で、弾きたいレコードを選びます。

カーソルボタン[▲][▼]を同時に押すと、レコードの先頭行に戻ります。

選んだレコードのパネル設定が呼び出されます。スタイル名が含まれたレコードを選んだ場合、[ACMP](スタ イル オン/オフ)と[SYNC START](シンクロスタート)ボタンがオンになり、すぐにスタイル再生をスタート できます。

レコードを表示する順番を変える

MUSIC FINDER画面の[1 ▲▼](SORT)ボタンを押して、SORT SETTING(ソート設定)画面を表示させます。 [1 ▲▼]/[2 ▲▼](SORT BY)ボタンを押すと、MUSIC(曲名順)、STYLE(スタイル名順)、BEAT(拍子順)、 TEMPO(テンポ順)に、レコードを表示する順番を変えることができます。また、[3 ▲▼]/[4 ▲▼](SORT ORDER)ボタンを押すと、ASCENDING(昇順)かDESCENDING(降順)かを切り替えられます。 ソート設定画面を閉じるには、[EXIT](戻る)ボタンを押します。

3 左手でコードを押さえてスタイルを再生しながら、右手でメロディーを弾いてみましょう。

スタイル再生中に別のレコードを選んでもテンポが変わらないようにする

MUSIC FINDER画面の[8 ▲▼](OPTION)ボタンを押して、OPTION MENU(オプションメニュー)画面を表示 させます。[3 ▲▼]/[4 ▲▼](STYLE TEMPO)ボタンを押して、STYLE TEMPO(スタイルテンポ)を[HOLD] (ホールド)または[LOCK](ロック)に設定します。[LOCK] に設定すると、再生中だけでなく停止中でもスタイ ルのテンポが変わりません。別のレコードを選ぶたびにテンポをリセットしたいときは、STYLE TEMPOを [RESET]に設定してください。OPTION MENU画面を閉じるには、[EXIT](戻る)ボタンを押します。

レコード(パネル設定)を検索する

ミュージックファインダーの検索機能を使って、曲名やキーワードからレコードを検索できます。

MUSIC FINDER画面の[2 ▲▼] (SEARCH 1)ボタンを押して、
 MUSIC FINDER SEARCH 1 (ミュージックファインダー サーチ1)画
 面を表示させます。





2 検索の条件を入力します。

カーソルボタン[▲][▼]で検索条件を選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。

	MUSIC (ミュージック:曲名)	曲名で検索します。文字入力画面(30ページ)が表示 されたら、曲名を入力します。入力した内容を消去す るには、[1 ▲▼]/[2 ▲▼](CLEAR)ボタンを押しま す。	NOTE
	KEYWORD (キーワード)	キーワードで検索します。文字入力画面が表示された ら、キーワードを入力します。入力した内容を消去する には、[1 ▲▼]/[2 ▲▼](CLEAR)ボタンを押します。	複数のキーワードを入力する には、カンマ(.)で区切って入 力します。
	STYLE (スタイル)	スタイル名で検索します。スタイル選択画面が開いた ら、カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でスタイルを選 び、ENTER(決定)ボタンを押します。[EXIT](戻る) ボタンを押すとMUSIC FINDER SEARCH 1 画面に 戻ります。選んだスタイルを消去するには、[1 ▲▼]/[2 ▲▼](CLEAR)ボタンを押します。	NOTE
	GENRE (ジャンル)	音楽ジャンルを指定します。GENRE画面が表示され たら、[3 ▲▼]~[5 ▲▼]ボタンで検索したいジャン ルを選びます。[EXIT](戻る)ボタンを押すとMUSIC FINDER SEARCH 1画面に戻ります。	BEATで2/4や6/8を選ぶ と、2/4拍子や6/8拍子の曲 を演奏するのに適したスタイ ルが検索できますが、実際の
	BEAT (ビート:拍子)	カーソルボタン[◀][▶]で拍子を指定します。「ANY」(エ ニー)を選ぶと、すべての拍子が検索対象になります。	スタイルは4/4拍子で制作されています。
	SEARCH AREA (サーチエリア)	カーソルボタン[◀][▶]で、検索対象となるページ (MUSIC FINDER画面上部のタブ)を指定します。	
	TEMPO (テンポ)	テンポの範囲を指定します。 TEMPO画面が表示され たら、[3 ▲▼]/[4 ▲▼]ボタンで最小値(FROM)を、 [5 ▲▼]/[6 ▲▼]ボタンで最大値(TO)を設定します。	
[1 ▲▼]/ [2 ▲▼]	CLEAR (クリア)	入力した曲名、キーワード、選んだスタイル名など、 各検索条件を消去します。	NOTE 検索せずにMUSIC FINDER 画面に戻る場合は、[5▲▼]/
[3 ▲▼]/ [4 ▲▼]	ALL CLEAR (オールクリア)	入力したすべての検索条件を消去します。	[6 ▲▼](CANCEL)ボタンを 押します。

次ページへつづく

80 PSR-S670 取扱説明書

3 [7 ▲▼]/[8 ▲▼] (START SEARCH) ボタンを押して、検索をスタートします。

検索が終わると、検索結果がMUSIC FINDER画面のSEARCH1 タブに表示されます。レコードが表示されない場合は、別の曲名やキーワードを入力して試してみましょう。

- 4 カーソルボタン[▲][▼]を押して、弾きたい曲に合ったレコードを選びます。
- 5 左手でコードを押さえてスタイルを再生しながら、右手でメロディーを 弾いてみましょう。

ウェブサイトからレコード(パネル設定)を読み込む

工場出荷時にミュージックファインダーに入っているのはサンプルのレコード(パネル設定)です。ミュージックファ インダー機能をより便利に使うために、ヤマハのウェブサイトで提供されているミュージックファインダーのレコー ドを楽器本体に読み込んでおくことをおすすめします。

- IUSBフラッシュメモリーをコンピューターに接続して、以下のウェブ サイトから、ミュージックファインダーのレコードが入ったファイル (拡張子.mfd)をUSBフラッシュメモリーにダウンロードします。 http://download.yamaha.com/jp/
- ミュージックファインダーのファイルが入ったUSBフラッシュメモ リーを、楽器本体の[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- 3 [MUSIC FINDER] (ミュージックファインダー)ボタンを押して、 MUSIC FINDER画面を表示させます。

NUMBER OF RECORDS:71

NOTE

USBフラッシュメモリーを使 う前に、必ず「USB機器を接 続する」(91ページ)をお読み ください。

 MUSIC FNDER
 Discretion
 String
 <

MUSIC FINDER ALL (FAVORITE) (SEARCH 1) (SEARCH 2)

レコード数

4 MUSIC FINDER画面で[8 ▲▼] (OPTION) ボタンを押して、 OPTION MENU(オプションメニュー) 画面を表示させます。

MUSIC	FINDER			MUSIC FINDER	
ALL UT	AVORITE I SEARCH	H1) SE	ARCH 2	ALL (FAVORITE) (SEARCH 1) (SEARC	H2
NUMBER OF RECORDS:71		J=	120	NUMBER OF RECORDS:71 J= 12	0
MUSIC	STYLE	BEAT TI	EMPO	HUSIG STYLE BEATTEMP	D
Abide With Me	<u>ንምንንት የነበ ምት</u>	4/4	72	Abide With Me 275%2 アル『テト』 4/4 72	
Aida Triumph March	オーナストラマーチ	4/4	112	Aida Triumph March 카카카카카 4/4 112	2
Air On The G String	255552E"P20"5-1	4/4	68	Air On The G String 27555년"7개" 7나" 4/4 68	1
Air On The G String	5820 F	4/4	68	Air On The G String 케까가 4/4 68	1
Air On The G String	11°097797	4/4	69	Air On The G String 0"0:07797 4/4 65	1
Anapola	60s‡"9-#"97"	4/4	138	Anapola 60s‡"9=4"%)7" 4/4 138	1
Anapola	100°	4/4	112	Anapola 6/112	2
American Patrol	E 97 N JE J94E	4/4	186	American Par OPTION MENU	
An Der Schonen Blauen Donau	9477*987	3/4	114	An Der Sono	
Any Uld Iron	(AUDTO)	q∕q	116	And a got	
Hudro_con	(HODIO)	e /0	e 0	Additio_001	
Reputiful Drepper	1-7/110-0	2/4	104	Reputiful D HOLD	
SEADCH	F X (07 7	3/4	-	RESEL	
ORT 1 2	OU ADD	18	OPTION	SORT SOL FILES RECORDED	ш
	Charlenne Mandalasia		_		
	\square				
		1 U			
		1 U			
		\Box			
	5 6	7	Ļ		8
		7			8
		7	ц П		8

- 5 [5 ▲▼]/[6 ▲▼] (FILES) ボタンを押して、ファイル選択画面を表示 させます。
- 次ページへつづく

NOTE 表示された結果を残して、別

の条件で検索したい場合は、 手順1で[3 ▲▼] (SEARCH2)ボタンを押しま す(表示された検索結果は SEARCH1タブに残ります)。

- 6 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でUSBフラッシュメモリー内のミュージックファインダーのファイルを選ぶと、レコードのREPLACE(置き換え)かAPPEND(追加)を選ぶメッセージが表示されます。
- 7 元のレコードを残したまま選択したファイルのレコードを追加したい場合は[6 ▲▼](APPEND)を選び、選択したファイルのレコードと元の レコードを置き換えたい場合は[7 ▲▼](REPLACE)を選びます。
- 8 確認を求めるメッセージが表示されたら、[7 ▲▼](OK)ボタンを押します。
- 9 レコードの追加または置き換えの完了を知らせるメッセージが表示されたら、[7▲▼](YES)ボタンを押します。
 MUSIC FINDER画面の上部に表示されるレコード数で、レコードが追加または置き換えされたことを確認できます。

NOTE

ミュージックファインダーの レコードを追加、または置き 換えたあとでも、手順6で PRESET(プリセット)タブの 「MusicFinderPreset」とい うファイルを選ぶと、工場出 荷時の状態に戻すことができ ます。

曲データ(ソング/オーディオ)やスタイルをレコードとして登録する

本体メモリー (PRESET、USERメモリー)やUSBフラッシュメモリーのいろいろな 場所に保存されたソング、オーディオ、スタイルファイルも、ミュージックファイン ダーに登録すれば簡単に呼び出せます。

ソング、オーディオファイルまたはスタイル選択画面で、登録したい ファイルを選びます。

ファイル選択方法については、ソングは59ページ、オーディオファイルは69ページ、スタイルは45ページをご覧ください。



NOTE

 登録したいファイルがUSB フラッシュメモリーに入っ ている場合は、そのファイ ルが入ったUSBフラッシュ メモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続しま す。

 USBフラッシュメモリーを 使う前に、必ず「USB機器 を接続する」(91ページ)を お読みください。

2 [5 ▼] (MF登録) ボタンを押して、MUSIC FINDER RECORD EDIT (ミュージックファインダーレコードエディット)画面を表示させます。

画面右下に「MENU1」(メ ニュー 1)と表示されているの を確認してください(24ペー ジ)。

NOTE

NOTE

MUSIC FINDER RECORD EDIT画面の詳細については、 ウェブサイト上のリファレン スマニュアルをご覧くださ い。

弾きたい曲に合ったパネル設定を呼び出す(ミュージックファインダー)

6

3 [7 ▲▼]/[8 ▲▼](OK)ボタンを押して、ファイルを登録します。

4 MUSIC FINDER画面で、登録したレコードを確認してみましょう。 レコードのSTYLE(スタイル)欄に、ソングを登録したレコードは「(SONG)」、 オーディオファイルを登録したレコードは「(AUDIO)」と表示されます。スタイ ルは、登録したスタイル名がそのまま登録されます。

ミュージックファインダーに登録した曲データやスタイルを呼び出す

「レコード(パネル設定)を選ぶ」(78ページ)や「レコード(パネル設定)を検索する」 (79ページ)と同じ方法で、登録したソング、オーディオ、スタイルファイルを呼び 出すことができます。

選んだファイルは以下の方法で再生できます。

- ・ソング: SONG CONTROL [▶/III](ソングコントロール プレイ/ポーズ)ボタンを押 すか、鍵盤を弾いてください。再生をストップするには、SONG CONTROL [II] (ストップ)ボタンを押します。
- ・オーディオ: MUSIC FINDER画面で、[4 ▲▼]/[5 ▲▼](▶ PLAY)ボタンを押します。再生をストップするには、[4 ▲▼]/[5 ▲▼](■ STOP)ボタンを押します。
- ・スタイル: 左手でコードを押さえながら、右手でメロディーを弾いてください。再 生をストップするには、STYLE CONTROL [START/STOP](スタイルコント ロール スタート/ストップ)ボタンを押します。

登録を中止するときは、[5 ▲▼]/[6 ▲▼](CANCEL)ボ タンを押します。

NOTE

NOTE

レコードとして登録したUSB フラッシュメモリーに入って いるソング、オーディオ、ス タイルファイルを再生したい ときは、ファイルが入ってい るUSBフラッシュメモリーを [USB TO DEVICE]端子に接 続しておく必要があります。

NOTE

ソングやオーディオファイル を検索する(79ページ)とき は、検索条件を以下のように 入力する必要があります。 STYLE(スタイル):空白 BEAT(ビート):ANY(エ ニー) TEMPO(テンポ):「---」~ 「---」

もっと進んだ使いかた 詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル 第6章 をご覧ください。				
お気に入りのレコードを簡単に呼び出す	[MUSIC FINDER](ミュージックファインダー) → TAB [◀][▶] ALL, SEARCH 1/SEARCH 2 → [6 ▲▼]/[7 ▲▼](ADD TO FAVORITE)			
レコードを編集する	[MUSIC FINDER](ミュージックファインダー) → [8 ▲▼] (OPTION) → [7 ▲▼]/[8 ▲▼](RECORD EDIT)			
レコードをファイルとして保存する	[MUSIC FINDER](ミュージックファインダー) → [8 ▲▼] (OPTION) → [5 ▲▼]/[6 ▲▼](FILES)			

パネル設定を登録する (レジストレーションメモリー)



レジストレーションメモリーは、ボイスやスタイルなどに関 するパネル設定をボタンに登録し、演奏中でもワンタッチで 呼び出せる機能です。8つのレジストレーションメモリーボ タンに登録したパネル設定は、まとめて1つのバンク(ファ イル)として保存します。

パネル設定を登録する

ポイスやスタイル、エフェクトなどのパネル設定を、登録したい状態にします。

レジストレーションメモリーで登録できる内容は、ウェブサイト上のデータリストの「Parameter Chart(パラメーターチャート)」をご覧ください。

[MEMORY] (メモリー)ボタンを押します。
 登録する項目(グループ)を選ぶ画面が表示されます。



3 登録する項目(グループ)を指定します。

カーソルボタン[▲][▼]で登録する項目を選びます。[6 ▲](MARK ON)ボタン を押すと、選んだ項目にチェックマークが付きます。チェックマークを削除する には、[6 ▼](MARK OFF)ボタンを押します。 登録を中止するときは、[8 ▲▼](CANCEL)ボタンを押して画面を閉じます。

NOTE

データダイアルでも登録する 項目を選べます。また、[+/ YES]/[-/NO]ボタンでも、 チェックマークを付けたり、 削除したりできます。

4 レジストレーションメモリー [1]~[8] ボタンのうち、パネル設定を登録したいボタンを押します。



パネル設定が登録されると、ランプが赤に点灯します。

ランプの色について

- ・ランプ(赤)点灯:パネル設定を登録済みで、現在選ばれています。
- ・ランプ(緑)点灯:パネル設定を登録済みで、現在選ばれていません。
- ・ランプ消灯:パネル設定が未登録です。
- **5** ほかのボタンに別のパネル設定を登録するときは、手順1~4をくり返します。

保存したパネル設定は、レジストレーションメモリー [1]~[8]ボタンを押すこ とで呼び出せます。 注記 ランブが消灯しているボタン に登録することをおすすめし ます。赤または緑のランブが 点灯しているボタンは、すで にパネル設定が登録されてい るボタンです。ランブが点灯 しているボタンにパネル設定 を登録すると、そのボタンに 登録すれていたデータは消 え、新しい設定に書き換わり ます。

NOTE

登録したパネル設定は、電源 を切っても保持されます。登 録したパネル設定すべてを一 度に消去する場合は、いちば ん右のB鍵盤(B5)を押しなが ら電源をオンにします。

登録したパネル設定をファイルとして保存する

レジストレーションメモリーでは、ボタンに登録した8個のパネル設定をまとめて1つのバンク(ファイル)として保存します。



7 REGIST BANK(レジストバンク)[-]/[+]ボタンを同時に押して、バンク選択画面を表示させます。

	レジストレーション バンク
	BEZ BOSSA
	EEY NewBank
	🖅 NevBank2
	DEGIST
	P1
	1 2 3 4 5 6 7 8

2 [6 ▼](保存)ボタンを押して、バンクを保存します。 保存の手順については、26ページをご覧ください。

NOTE

画面右下に「MENU2」(メ ニュー2)と表示されているの を確認してください(24ペー ジ)。

登録したパネル設定を呼び出す

ファイルとして保存したレジストレーションメモリーは、REGIST BANK(レジスト バンク)[-]/[+]ボタンで順に呼び出したり、以下の方法で呼び出したりできます。

- 7 REGIST BANK(レジストバンク)[-]/[+]ボタンを同時に押して、バンク選択画面を表示させます。
- カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でバンクを選び、[ENTER](決定)ボタンを押します。

レジストレーションメモリーに登録された内容を確認する バンク選択画面で[6 ▼](情報)ボタンを押すと、REGISTRATION MEMORY (レジストレーションメモリー)[1]~[8]ボタンに、どんなボイスやスタイルが 登録されているかを確認するREGIST INFORMATION(レジストインフォメー ション)画面が表示されます。

NOTE

画面右下に「MENU1」と表示されているのを確認してください(24ページ)。

REGIST INFORMATION画面には、[1]~[4]ボタンの内容を確認する画面と、 [5]~[8]ボタンの内容を確認する画面があります。2つの画面は、TAB(タブ) [◀][▶]ボタンで切り替えられます。

NOTE

レジストレーションメモリー [1]~[8]ボタンを押したときにオフになるボイスパート は、パート名(R1、R2、L)がグレーアウトされます。

[7 ▲▼]/[8 ▲▼](CLOSE)ボタンで、REGIST INFORMATION画面を閉じま す。

3 レジストレーションメモリー [1]~[8] ボタンのうち、緑色に点灯しているボタンの中から1つを選んで押します。

- ・USBフラッシュメモリーの ソング、スタイル、テキス トを登録してある場合は、 登録したデータが入ってい るUSBフラッシュメモリー を[USB TO DEVICE]端子 に差してから呼び出してく ださい。
- USBフラッシュメモリーを 使う前に、必ず「USB機器 を接続する」(91ページ)を お読みください。

NOTE

[FREEZE](フリーズ)ボタン をオンにすると、登録した設 定のうち呼び出したくない項 目を指定できます。詳しく は、ウェブサイト上のリファ レンスマニュアルをご覧くだ さい。

12
設
ル
を
2
豆
셮쿤
3CK
ਰ
ź
ି
ν
3.7
2
ース
К
1.
ī
1
シ
<u></u>
)
×
- -
T
- 1]
1

もっと進んだ使いかた 詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル 第7章 をご覧ください。				
	登録した設定のうち呼び出したくない項目を指定す る (フリーズ)	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → REG SEQUENCE/FREEZE(レジストレーションシーケンス/フリース [ENTER](決定) → FREEZE	GIST <) →	
	レジストレーションメモリーを呼び出す順番を決め る (レジストレーションシーケンス)	[FUNCTION](ファンクション) → MENU1 → REGIST SEQUENCE/FREEZE → [ENTER](決定) → REGISTRATION SEQUENCE		

音量バランスや音色などを調節する (ミキサー)



この楽器にはミキサーの機能が内蔵されているので、鍵盤 パート間やスタイル/ソングチャンネルごとの音量バランス や音色調節ができます。さらに、ステレオ定位、エフェクト のかかり具合などを調節することもできます。

ミキサーの基本操作

[MIXER](ミキサー)ボタンを押して、MIXING CONSOLE(ミキシン グコンソール)画面を表示させます。



 [MIXER] (ミキサー)ボタンを何度か押して、バランス調節をしたい パートのMIXING CONSOLE画面を表示させます。

パート名は画面上部に表示されます。



次ページへつづく

3 TAB(タブ)[◀][▶]ボタンで設定画面を切り替えます。

各ページの詳細は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

- ・VOL/VOICE(ボリューム/ボイス)
 ……各パートのボイスを変更したり、パン(ステレオ定位) や音量バランスを調節したりします。
 ・FILTER(フィルター)……音のハーモニックコンテント(レゾナンス効果)や明る さを調節できます。
- ・TUNE(チューン)チューニングやトランスポーズ(移調)など、音の高さ に関する設定をします。
- ・EFFECT(エフェクト) …. 各パートにかけるエフェクトの種類を選び、エフェクトをかける深さを設定します。

の設定ができます。

- **NOTE** マスター
- マスターイコライザーとマス ターコンプレッサーは、オー ディオファイル再生とメトロ ノーム音には効果がありませ ん。
- 4 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で設定したい項目を選び、[1 ▲▼]~ [8 ▲▼]ボタンで設定値を変更します。
- 5 MIXING CONSOLE画面で行なった設定を保存します。
 - PANEL(パネル)画面での設定の保存 レジストレーションメモリーに登録します(83ページ)。
 - STYLE(スタイル)画面での設定の保存 スタイルファイルとして保存します。あとで呼び出すときには、ここで保存した スタイルを選びます。
 - 操作画面を表示させます。
 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[▶] MENU2(メニュー 2) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] STYLE CREATOR(スタイルクリエーター)
 → [ENTER](決定)
 - 既存のスタイルを編集するか、新しいスタイルを作るか、確認メッセージが 表示されたら、[5 ▲▼]/[6 ▲▼](CURRENT STYLE)ボタンを押します。
 - [EXIT](戻る)ボタンを押して、REC CHANNEL(録音チャンネル)画面を閉 じます。
 - 4. [8 ▲▼](SAVE)ボタンを押してスタイル選択画面を表示させ、スタイルとして保存します(26ページ)。
 - SONG(ソング)画面での設定の保存

ソングデータの一部として記憶(セットアップ)させてから、ソングを保存します。あとで呼び出すときは、ここで保存したソングを選びます。

- 操作画面を表示させます。
 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[▶] MENU2(メニュー 2) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] SONG CREATOR(ソングクリエーター) → [ENTER](決定)
- 2. TAB[◀][▶]ボタンで、SETUP(セットアップ)タブを選びます。
- 3. [ENTER](決定)ボタンを押します。
- 4. [8 ▲▼](SAVE)ボタンを押してソング選択画面を表示させ、ソングとして 保存します(26ページ)。

もっと進んだ使いかた

詳しくはウェブサイト上のリファレンスマニュアル**第8章**をご覧ください。

他の機器と接続して演奏する

この章では、この楽器のリアパネルにある接続端子について説明します。

⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切ったうえで行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機 器のボリュームを最小(O)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

リアパネル



外部オーディオ機器と接続する(OUTPUT [L/L+R]/[R]端子、[AUX IN]端子)

楽器の音を外部スピーカーから鳴らす

OUTPUT端子を使って楽器をアンプ内蔵スピーカーと接続すると、より大きな音で 迫力ある演奏を楽しめます。



NOTE

オーディオ接続ケーブルおよ び変換プラグは、抵抗のない ものをお使いください。



モノラル出力の場合(スピー カーを1台だけ使う場合)に は、[L/L+R]端子をご使用く ださい。

注記

外部機器の損傷を防ぐため、楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてくだ さい。電源を切るときは、最初に外部機器、次に楽器本体の順に行なってください。オートパワーオフ機能(15ページ)により、自 動的に電源が切れることがあります。外部機器を接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、この手順に従って手動で電 源を切るか、オートパワーオフを解除してください。

注記

OUTPUT端子から出力した音を、[AUX IN]に戻さないでください(OUTPUTから外部オーディオ機器に接続した場合、その機器 からふたたび楽器本体の[AUX IN]端子に接続しないでください)。楽器本体の[AUX IN]から入力された音はそのままOUTPUTか ら出力されますので、オーディオ系の発振が起こり、正常な再生がなされないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

外部スピーカーから鳴らすときの音量は、楽器本体の[MASTER VOLUME]ダイアルで調節できます。

楽器本体のスピーカーから携帯音楽プレーヤーの音を出す

楽器の[AUX IN]端子と、携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器のヘッドフォン端 子を接続すると、楽器本体のスピーカーから携帯音楽プレーヤーの音を鳴らせます。



注記

外部機器の損傷を防ぐため、 外部機器の音を楽器本体から 出力するときは、最初に外部 機器、次に楽器本体の順に電 源を入れてください。電源を 切るときは、最初に楽器本 体、次に外部機器の順に行 なってください。

他の機器と接続して演奏する

Q

[AUX IN]端子からの入力音は、楽器本体の[MASTER VOLUME]ダイアルで音量調節できます。また、楽器での鍵盤演奏など、ほかのパートとの音量バランスは、 BALANCE(バランス)画面で調節できます(54ページ)。

NOTE

[AUX IN]端子からの入力音 の音量は、LIVE CONTROL ノブでも調節できます。ノブ へ機能を割り当てる方法につ いては、38ページをご覧く ださい。

フットスイッチやフットコントローラーを接続する(FOOT PEDAL 端子)

FOOT PEDAL端子に別売のフットスイッチ(FC4/FC4AまたはFC5)やフットコントローラー (FC7)を接続する と、足を使ってさまざまな機能をコントロールできます。機能のオン/オフを切り替えるときにはフットスイッチ を、ボリュームなどの連続した値をコントロールするときにはフットコントローラーをお使いください。



NOTE

フットスイッチやフットコン トローラーの抜き差しは、電 源を切った状態で行なってく ださい。

初期設定では、下記の機能を使えます。

・FOOT PEDAL [1]..........サステインのオン/オフを切り替えます。フットスイッチ (FC4/FC4AまたはFC5)を接続してください。

• FOOT PEDAL [2].......音量を調節します。フットコントローラー (FC7)を接続 してください。

フットスイッチやフットコントローラーに割り当てる機能は、変更することもできま す。割り当てられる機能の詳細は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧 ください。

•例:フットスイッチでソング再生をコントロールする

フットスイッチ(FC4/FC4AまたはFC5)をFOOT PEDAL [1]または[2]端子のいず れか一方に接続します。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー1) → カーソル ボタン[▲][▼][◀][▶] CONTROLLER(コントローラー) → [ENTER](決定) → TAB[◀] FOOT PEDAL(フットペダル)画面を表示させ、[1 ▲▼]ボタンで「SONG PLAY/PAUSE](ソング プレイ/ポーズ)を選び、フットペダルにソング再生スター ト/ポーズの機能を割り当てます。



USB機器を接続する([USB TO DEVICE]端子)

[USB TO DEVICE]端子には、USBフラッシュメモリーや別売のUSB無線LANアダプター (UD-WLO1)を接続できます。楽器本体で設定した内容や制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり(26ページ)、UD-WLO1を接続して、iPadなどのスマートデバイスと無線通信(93ページ)したりできます。

[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本機には[USB TO DEVICE]端子があります。[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守り ください。

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

・USBフラッシュメモリー

・USB無線LANアダプター (UD-WLO1) 上記以外のUSB機器(USBハブ、マウス、コンピュー ターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にイン ターネット上の下記URLでご確認ください。

http://jp.yamaha.com/products/ musical-instruments/keyboards/support/

本機では、USB1.1~3.0の機器がご使用できますが、 機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、 データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承 ください。

NOTE

[USB TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。 定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しない でください。

■ USB機器の接続

[USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



注記

USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/コピー/削除/フォーマットなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行なわないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。

• USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行なってください。

NOTE

USBケーブルで接続する場合、3メートル未満のケーブルを ご使用ください。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器本体 で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存した り、USBフラッシュメモリーのデータを楽器本体で再生 したりできます。

■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数 使用できるLICDフラッシュメモリーの数

使用できるUSBフラッシュメモリーは1台です。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(92ページ)することをおすすめします。ほかの機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

注記

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの 中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認 してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してし まわないようライトプロテクト機能のついたものがあり ます。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテ クトで書き込みができないようにしましょう。逆にデー タを保存する場合などは、ご使用の前にお使いのUSBフ ラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されている ことをご確認ください。

■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(保存/コ ピー/削除/フォーマットなど)によるUSBフラッシュメ モリーへのアクセス中でないことを確認してください。 USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれ があります。

USBフラッシュメモリーのフォーマット(初期化)

[USB TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続したときに、USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)するように促すメッセージが表示されることが あります。その場合は、フォーマットを実行してください。

フォーマットするUSBフラッシュメモリーを楽器の[USB TO DEVICE]端子に接続します。

2 操作画面を表示させます。

[FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀] MENU1(メニュー 1) → カーソルボタン[▲][▼][◀][▶] UTILITY(ユーティリティー) → [ENTER](決定) → TAB[▶] USB



注記

フォーマットを実行すると、 そのUSBフラッシュメモリー の中身は消去されます。必要 なデータが入っていないのを 確認してからフォーマットし てください。

NOTE

スタイルやソング、マルチ パッドの再生は、フォーマッ トが始まるとストップしま す。

- 3 必要に応じて、[3 ▲▼]/[4 ▲▼]ボタンを押して、フォーマットする USBフラッシュメモリーのドライブを選びます。 接続しているUSBフラッシュメモリーに複数のドライブがある場合、USB1、 USB2などと表示されます。
- **4** [7 ▲▼]/[8 ▲▼] (FORMAT) ボタンを押します。
- **5** フォーマットの実行を確認する画面が表示されたら、[+/YES]ボタン を押します。フォーマットが実行されます。

NOTE

フォーマットの実行を中止す るには、[-/NO]ボタンを押 します。

USBフラッシュメモリーの容量を確認する

手順4で[5 ▲▼]/[6 ▲▼](PROPERTY)ボタンを押すと、USBフラッシュメモ リーの空き容量が確認できます。

USBフラッシュメモリーのファイルを確認する

[USB]ボタンを押すと、USBフラッシュメモリーに保存したボイス、スタイルなどのファイルを確認できます。 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]でカテゴリーを選び、[ENTER](決定)ボタンを押したあと、ファイルを選びます。

iPhone/iPadと接続する([USB TO DEVICE]端子、[USB TO HOST]端子)

iPhone/iPadなどのスマートデバイスと接続して、PSR-S670対応のアプリケーションを使うことにより、楽器をもっと便利に楽しむことができます。 スマートデバイスは、下記の方法で接続できます。

- ・USB無線LANアダプター (UD-WL01、別売)を[USB TO DEVICE]端子に接続する。
- iPhone/iPod touch/iPad用USB MIDIインターフェース(i-UX1、別売)などを [USB TO HOST]端子に接続する。

接続のしかたについては、ウェブサイト上の「iPhone/iPad接続マニュアル」やリ ファレンスマニュアルをご覧ください。

対応のスマートデバイスやアプリケーションに関する情報は、ウェブサイト上の以下 のページでご確認ください。

http://jp.yamaha.com/kbdapps/

注記

iPhone/iPadを不安定な場所 に置かないでください。 iPhone/iPadが落下して破損 するおそれがあります。

NOTE

- ・[USB TO DEVICE]端子を 使う前に、「[USB TO DEVICE]端子で使用上の注 意」(91ページ)を必ずお読 みください。
- 楽器とiPhone/iPadのアプ リケーションを一緒に使用 する場合は、通信によるノ イズを避けるため、 iPhone/iPadの機内モード をオンにしてお使いいただ くことをおすすめします。

コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子)

USBケーブルを使って楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続すると、 コンピューターとMIDIデータをやり取りしたり、コンピューター用の音楽ソフトを 楽しんだりできます。楽器とコンピューターとの接続方法など、詳しくはウェブサイ ト上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。



注記

USBケーブルは、ABタイプ のものをご使用ください。ま た、3メートル未満のケーブ ルをご使用ください。 USB3.0ケーブルは、ご使用 できません。

NOTE

- 楽器とコンピューターを USBケーブルで接続する場 合は、ハブを経由せず直接 接続してください。
- ・楽器本体は、USB接続後し ばらくしてから通信を開始 します。
- 使用するコンピューターや シーケンスソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

9



楽器の詳細設定と機能(ファンクション)



[FUNCTION](ファンクション)ボタンを押して表示される 画面で、楽器全体に関わる設定や、特定の機能に関する詳細 設定など、さまざまな設定ができます。また、スタイル、ソ ング、マルチパッドを制作したり編集したりするクリエー ターメニューにもこの画面から入れます。

基本操作

FUNCTION MENU(ファンクションメニュー)画面を表示させます。 [FUNCTION](ファンクション) → TAB(タブ)[◀][▶] MENU1/2(メニュー 1/ 2)



 2 カーソルボタン[▲][▼][◀][▶]で、設定したい項目を選び、[ENTER] (決定)ボタンを押します。

設定項目の概要は、次ページのファンクションリストをご覧ください。



- 3 TAB(タブ)[◀][▶]ボタンで、設定したい項目のある画面を表示させます。
- **4 設定内容を変更したり、操作を実行したりします。** 詳細については、次ページのファンクションリストをご覧ください。

ファンクションリスト

FUNCTION MENU(ファンクションメニュー)画面で設定できる項目の概要をまとめたリストです。一部の設定項目の詳細は、下記リストの「取扱説明書」参照ページと、「リファレンスマニュアル」参照章をご覧ください。

MENU1(メニュー1)		説明	取扱説明書	リファレンス マニュアル
SPLIT POINT/CHORD FINGERING	SPLIT POINT (スプリットポイント)	スプリットポイントを設定します。	55ページ	_
(スプリットポイント/コード フィンガリング)	CHORD FINGERING (コードフィンガリング)	フィンガリングタイプを変えます。	49ページ	2章
HARMONY/ARPEGGIO (ハーモニー /アルペジオ)		ハーモニータイプやアルペジオタイプを選びます。	40ページ]章
REGIST SEQUENCE/ FREEZE (レジストシーケンス/フリー ズ)	REGISTRATION SEQUENCE (レジストレーションシーケ ンス)	TAB(タブ)[◀][▶]ボタンやペダルでレジストレーショ ンメモリーを呼び出す順番を決めます。	—	7章
	FREEZE (フリーズ)	レジストレーションメモリーに登録した設定のうち、呼 び出したくない設定(ボイス、スタイルなど)を指定しま す。	—	7章
CONTROLLER	FOOT PEDAL (フットペダル)	フットスイッチ/フットコントローラーに割り当てる機 能を選びます。	—	9章
(コントローラー)	KEYBOARD/PANEL (キーボード/パネル)	鍵盤を演奏するときのタッチ感度などを設定します。	37、43 ページ]章
MASTER TUNE/SCALE TUNE	MASTER TUNE (マスターチューン)	鍵盤全体のピッチを0.2Hz単位で微調整します。	36ページ]章
(マスターチューン/スケール チューン)	SCALE TUNE (スケールチューン)	音律(調律法)を選び、鍵盤ごとに、1セント単位で チューニングします。	36ページ]章
VOICE SETTING	VOICE CONTROL (ボイスコントロール)	ボイスの設定(タッチレスポンス、サステインなど)を変 えます。	—]章
(ボイスセッティング)	VOICE SET FILTER (ボイスセットフィルター)	エフェクトなど、ボイスに含まれる設定を自動的に呼び 出されないように設定します。	—]章
STYLE SETTING (スタイルセッティング)		OTSリンクタイミングや、ダイナミクスコントロール など、スタイル再生に関する設定をします。	—	2章
SONG SETTING (ソングセッティング)		リピートモード、チャンネル、練習機能(ガイド)など、 ソング再生に関する設定をします。	—	3章
MIDI		MIDIに関する設定をします。	—	9章
	CONFIG1 (コンフィギュレーション1)	フェードイン/アウトの時間、メトロノーム音、タップ テンポのタップ音、オートパワーオフなどを設定しま す。	15、35、 48、49 ページ	10章
	CONFIG2 (コンフィギュレーション2)	ヘッドフォン使用時のスピーカーオン/オフ、ポップ アップ画面の表示時間、アルペジオなどを設定します。	_	10章
(ユーティリティー)	PARAMETER LOCK (パラメーターロック)	レジストレーションメモリーやワンタッチセッティング などでパネル設定を切り替えたときに、特定の設定項目 (エフェクト、スプリットポイントなど)が切り替わらな いようにロックします。	_	10章
	USB	接続したUSBフラッシュメモリーのフォーマットや、 容量確認を行ないます。	92ページ	10章

MENU2(メニュー2)		説明	取扱説明書	リファレンス マニュアル
STYLE CREATOR (スタイルクリエーター)		内蔵スタイルを編集したり、チャンネルごとに自分の演 奏を録音したりして、オリジナルのスタイルを作りま す。	_	2章
SONG CREATOR (ソングクリエーター)		ソングを編集したり、録音したソングを部分的に再録音 したりして、オリジナルのソングを作ります。	_	3章
MULTI PAD CREATOR (マルチパッドクリエーター)		内蔵のマルチパッドを編集したり、新しいマルチパッド を録音したりして、オリジナルのマルチパッドを作りま す。		5章
PACK INSTALLATION (パックインストレーション)		ウェブサイトから入手したり、ヤマハエクスパンション マネージャーを使って自分で作ったエクスパンション パックをインストールして、ボイスやスタイルなどを追 加します。]章
	OWNER (オーナー)	楽器の所有者名や画面に表示させる言語などを設定しま す。	17ページ	10章
SYSTEM	BACKUP/RESTORE (バックアップ/リストア)	楽器のUSER(ユーザー)メモリーに保存した設定や データのバックアップやリストアを行ないます。	32ページ	_
(システム)	SETUP FILES (セットアップファイル)	特定の設定を保存したり呼び出したりします。		10章
	RESET (リセット)	楽器の設定を工場出荷時の状態に戻します (初期化)。		10章
WIRELESS LAN (無線LAN)		iPadなどのスマートデバイスと無線接続するための設 定をします。この項目は、別売のUSB無線LANアダプ ターを接続すると表示されます。	_	9章

ダイレクトアクセスチャート

[DIRECT ACCESS](ダイレクトアクセス)ボタンを押したあと、下記一覧にあるボタンを押すと(ノブ/ホイール/ペダ ルを動かすと)、表示したい画面を呼び出せます。

[DIRECT ACCESS]ボタンを押したあとに押すボタン(動かすノブ/ ホイール/ペダル)		ダイレクトアクセス操作で呼び出される画面				
[ACMP] (スタイル オン/オフ)			SPLIT POINT/	SPLIT POINT/		
	[AUTO FILL IN] (オート フィルイン)		CHORD	CHORD FINGERING		
STYLE CONTROL	[OTS LINK] (OTSリンク)			1		
	[BREAK] (ブレイク)					
	INTRO (イントロ) [I], [II], [II]					
	MAIN VARIATION (メインバリエー ション) [A], [B], [C], [D]	FUNCTION	STYLE SETTING			
	ENDING/rit. (エンディング/rit.) [I], [II], [II]	FUNCTION				
	[SYNC START] (シンクロスタート)		SPLIT POINT/ CHORD FINGERING	SPLIT POINT		
	[SYNC STOP] (シンクロストップ)					
	[START/STOP] (スタート/ストップ)		STYLE SETTING			
STYLE(スタイル)	STYLE(スタイル)カテゴリーボタン					
	[▶▶](早送り)					
	[◀] (早戻し)					
SUNG CUNTRUL (ハングコントロール)	[▶/▋▋] (再生/一時停止)	FUNCTION	SONG SETTING	SONG SETTING		
	[■] (停止)					
	[REC] (録音)					
[SONG FUNCTION] (ソング機能)		ソング選択画面				
[TAP TEMPO] (タップテンポ)			UTILITY	CONFIG 1	TAP	
TEMPO (テンポ)	[+], [-]	FUNCTION	STYLE SETTING			
[METRONOME] (メトロノーム)			UTILITY	CONFIG 1	METRONOME	
[FADE IN/OUT] (フェード イン/	アウト)			0011101	FADE IN/OUT	
TRANSPOSE (トランスポーズ)	[+], [-]	FUNCTION	CONTROLLER	KEYBOARD/ PANEL	TRANSPOSE ASSIGN	
UPPER OCTAVE (オクターブ)	[+], [-]	MIXING CONS	OLE	TUNE		
	[SELECT] (選択)					
MULTI PAD CONTROL (マルチパッドコントロール)	[STOP] (ストップ)	マルチパッド選掛	面画5	MULTIPAD EDIT		
	[1], [2], [3], [4]					
[FUNCTION] (ファンクション)		FUNCTION	MIDI			
[MIXER] (ミキサー)						
[BALANCE] (バランス)		MIXING CONSOLE VOL/VOICE				
[CHANNEL ON/OFF] (チャンネル オン/オフ)						
[USB]		FUNCTION UTILITY USB				
[USB AUDIO PLAYER] (USBオーディオプレーヤー)		オーディオファイル選択画面*				
TAB (タブ) [◀], [▶]		-				
[ENTER] (決定)		-				
[EXIT] (戻る)		MAIN				
データダイアル		-				
[▲], [▼], [◀], [▶]		-				
[-/NO], [+/YES]		-				

[DIRECT ACCESS]ボタンを押したあとに押すボタン(動かすノブ/ ホイール/ペダル)		ダイレクトアクセス操作で呼び出される画面			
	PART SELECT [LEFT] (パート選択 レフト)		VOICE SETTING	VOICE SET FILTER	LEFT
	PART SELECT [RIGHT1] (パート選択 ライト1)				RIGHT 1
	PART SELECT [RIGHT2] (パート選択 ライト2)				RIGHT2
	PART ON/OFF [LEFT] (パート オン/オフ レフト)	FUNCTION		VOICE CONTROL	
	PART ON/OFF [RIGHT1] (パート オン/オフ ライト1)				
	PART ON/OFF [RIGHT2] (パート オン/オフ ライト2)				
	[LEFT HOLD] (レフトホールド)		SPLIT POINT/ CHORD FINGERING	SPLIT POINT	
	VOICE(ボイス)カテゴリーボタン	FUNCTION	VOICE SETTING	VOICE SET FILT	ER
	[HARMONY/ARPEGGIO] (ハーモニー /アルペジオ)	FUNCTION	HARMONY/ARPE	GGIO	
(ボイスエフェクト)	[DSP]			EFFECT	
	[VARI.] (バリエーション)		ULL	EFFECT	TYPE SELECT
[MUSIC FINDER] (ミュージックファインダー)		MUSIC FINDER MUSIC FINDER SEARCH 1			
ONE TOUCH SETTING (ワンタッチセッティング(OTS))	[1], [2], [3], [4]	OTS INFORMA	TION)N	
	REGIST BANK (レジストバンク) [+], [-]		REGIST	REGISTRATION SEQUENCE	
REGISTRATION MEMORY	[FREEZE] (フリーズ)	FUNCTION	SEQUENCE/	FREEZE	
(レジストレーションメモリー)	[MEMORY] (メモリー)			REGISTRATION SEQUENCE	
	[1], [2], [3], [4]		ΜΑΤΙΩΝ	REGIST INFORMATION 1-4	
	[5], [6], [7], [8]		MATION	REGIST INFORMATION 5-8	
FOOT PEDAL (フットペダル) [1], [2]	FUNCTION	CONTROLLER	FOOT PEDAL	1,2
[MODULATION] (モジュレーション)		FUNCTION	CONTROLLER	KEYBOARD/ PANEL	MODULATION WHEEL
[PITCH BEND] (ピッチベンド)		MIXING CONS	IG CONSOLE TUNE		
LIVE CONTROL (ライブコントロール) [1]. [2]			PARAMETER ASS	BIGN	
[ASSIGN] (アサイン)		Somme			

* USBフラッシュメモリーが接続されているときのみです。

困ったときは

全般	
電源スイッチをオンまたはオフにしたとき、「カ チッ」と音がする。	異常ではありません。電気が流れたためです。
電源が自動的に切れてしまう。	異常ではありません。オートパワーオフ機能によるものです。必要に応じて、 オートパワーオフ機能の設定を行なってください(15ページ)。
スピーカーから雑音が聞こえる。	楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る 場合があります。 楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。
iPhone/iPadのアプリケーションと楽器を一緒に 使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンか ら雑音(ノイズ)が出る。	iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズ を避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことを おすすめします。
鍵盤で弾く音にわずかな音質の違いがある。	異常ではありません。楽器のサンプリングシステムによります。
ループして(繰り返して)鳴る音がある。	
ボイスによっては、高音になるほど雑音やビブラー トが付いてしまう。	
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	・ 全体ボリュームが下がっています。[MASTER VOLUME]ダイアルでボ リュームを上げてください。 ・ 鍵盤パートが全パートオフになっています。PART ON/OFF [RIGHT1](ラ イト1)/[RIGHT2](ライト2)/[LEFT](レフト)ボタンを押して、鍵盤パート をオンにします。 ・ 各パートの音量が下がっています。音量バランス画面で各パートの音量を上 げてください(54ページ)。 ・ 鳴らしたいチャンネルがOFFになっています。OFFになっているチャンネル をONにしてください(53、63ページ)。 ・ ヘッドフォンが接続されています。ヘッドフォンのプラグを抜いてください。 ・ スピーカーがOFFになっています。以下の画面でスピーカーをONにしてく ださい。 [FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → UTILITY(ユー ティリティー) → [ENTER](決定) → CONFIG2 ・ [FADE IN/OUT](フェードイン/アウト)ボタンがオンになっているため、音 が鳴りません。[FADE IN/OUT]ボタンを押してオフにしてください。
音がひずんだり、雑音が混じっている。	 ・ボリュームが上がり過ぎています。ボリュームを下げてください。 ・エフェクトやフィルターの設定に起因して音がひずんだり雑音が混じったり することがあります。エフェクトやフィルターの設定を確認してください。 詳しくは、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	最大同時発音数(101ページ)を超えています。最大同時発音数を超えた場合は、前の音を消してあとの音を優先的に鳴らすしくみになっています。
鍵盤で弾く音が、ソングやスタイルの再生音に比べ て小さい。	鍵盤パートの音量が下がっています。音量バランス画面で鍵盤パート 「RIGHT1」(ライト1)「RIGHT2」(ライト2)「LEFT」(レフト)の音量を上げ たり、「スタイル」「ソング」の音量を下げたりして調節してください(54ペー ジ)。
電源を入れてからメイン画面が表示されるまでに時 間がかかる。	USBフラッシュメモリーが接続されていると、電源を入れてからメイン画面が 表示されるまでに時間がかかることがあります。 USBフラッシュメモリーを外してから電源を入れてください。
ファイル/フォルダー名が文字化けする。	言語設定を切り替えたためです。ファイル/フォルダー名に適した言語に切り替 えてください(17ページ)。
ファイルが楽器本体に表示されない。	 ファイルの拡張子(.MIDなど)が変更/削除されています。コンピューターで、 ファイルの拡張子を付け直してください。 ファイル名が半角で50文字(拡張子を含む)を越えるデータは、この楽器で扱えません。ファイル名を半角50文字以下にしてください。

ボイス	
ボイスを選んでから鍵盤を弾いても、ボイスが変わ らない。	ボイスを選んだパートと弾いている鍵盤パートが違っています。選んだパート がオンになっているか、PART ON/OFF(パート オン/オフ)ボタンを確認して ください。鍵盤パートについての詳細は、34ページをご覧ください。
変に音が重なって聞こえる。鍵盤を押すたびに、わ ずかに音が異なって聞こえる。	RIGHT1(ライト1)とRIGHT2(ライト2)パートがオンで、両パートに同じボイ スが選ばれています。RIGHT2パートをオフにするか、ボイスを変更してくだ さい。
高音域や低音域で演奏すると、ピッチがオクターブ 単位でジャンプしてしまうボイスがある。	異常ではありません。ピッチの限界に達するとピッチがシフトするボイスもあ ります。
スタイル	
STYLE CONTROL [START/STOP](スタート/ス トップ)ボタンを押してもスタイルが始まらない。	リズムパートが入っていないスタイルです。[ACMP](スタイル オン/オフ)ボ タンをオンにして左手鍵域を弾くと、スタイル(自動伴奏)が再生します。
スタイルがリズムしか再生されない(自動で伴奏が鳴 らない)。	 スタイルがオンになっていません。[ACMP](スタイル オン/オフ)ボタンを押して、スタイルをオンにしてください。 コード鍵域(55、56ページ)を確認して、コード鍵域の鍵盤を弾いてください。
USBフラッシュメモリー内のスタイルを選択できな い。	スタイルデータの容量が大きい(約120KB以上)と、楽器本体に読み込めず、 選択できないことがあります。
ソング	
ソングを選択できない。	 言語設定を切り替えたためです。ファイル名に適した言語に切り替えてください(17ページ)。 ソングデータの容量が大きい(約300KB以上)と、楽器本体に読み込めず、選曲できないことがあります。
ソングを再生できない。	 ソングが終わった位置で停止しています。ソングコントロール[ストップ]ボタンを押してソングの再生位置を先頭に戻してから、再生してください。 プロテクトがかかったソングには制限があるため、再生できないことがあります。詳しくは25ページをご覧ください。
ソングの再生が途中で止まる。	ガイド機能がオンになっています(正しい鍵盤が弾かれるのを待っている状態で す)。[SONG FUNCTION](ソング機能)ボタンを押して[SONG FUNCTION MENU]を表示させて、[6 ▲▼](GUIDE ON/OFF]ボタンでガイド機能をオフ にしてください。
[早戻し]/[早送り]ボタンを押して表示させるソング ポジション画面で、小節番号が楽譜と異なる。	(ソングのテンポに関係なく)一定のテンポが設定されているミュージックデー タを再生しているためです。
ソングの再生時、再生されないチャンネルがある。	そのチャンネルが再生OFFになっています。OFFになっているチャンネルを再 生ONにしてください(63ページ)。
テンポ、拍、小節、譜面が正しく表示されない。	ソングのテンポに関係なく一定のテンポが設定されているミュージックデータ を再生した場合は、テンポ、拍、小節、譜面が正しく表示されません。
川CPナーディナプレーヤー機能	
USB ノラッジュメモリーが使用できない] という 旨のメッセージが表示され、録音が中断された。	 ・ 町1作確認済みのUSB ノフッシュメモリーをお使いください(91ページ)。 ・ USB フラッシュメモリーの空き容量が十分でありません。画面で録音可能時間(RECORDABLE TIME)を確認してください(73ページ)。 ・ 録音や削除を繰り返し行なったUSB フラッシュメモリーをお使いの場合は、必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットし(92ページ)、録音し直してください。
オーディオファイルが選択できない。	楽器が対応していないファイル形式です。この楽器ではWAV形式のファイルが 再生できます。(DRM付きファイルは再生できません。)
録音したファイルが、録音時と異なる音量で再生さ れる。	オーディオ再生のボリュームが変更されています。ボリュームを100に設定す ると、録音時と同じ音量で再生できます(71ページ)。

ミキサー	
ミキサーでスタイルやソングのリズムボイス(ドラム キットなど)を変更したら、サウンドがおかしくなっ た。	スタイルやソングのリズムボイス(ドラムキットなど)を変更すると、ドラムボ イスに関する細かい設定がリセットされてしまい、もう一度元のリズムボイス に戻しても元どおりのサウンドに戻らない場合があります。ソングの場合は、 ソングを先頭に戻す、スタイルの場合はスタイルを選び直すと元の音に戻りま す。

フットペダル	
FOOT PEDAL端子に接続したフットスイッチの、 オンとオフが逆になる。	フットスイッチの極性を以下の画面で変更してください。 [FUNCTION](ファンクション) → MENU1(メニュー 1) → CONTROLLER (コントローラー) → [ENTER](決定) → 3 PEDAL POLARITY

仕様

品名			電子キーボード	
	寸法	幅×奥行き×高さ	1004 mm × 410 mm × 134 mm	
サイズ/質量	質量		8.1 kg	
	鍵盤数		61	
	鍵盤	 タッチ感度	ハード2、ハード1、ミディアム、ソフト1、ソフト2	
		ピッチベンドホイール	0	
	その他の操作子	モジュレーションホイール	0	
操作子			2 (アサイナブル)	
5000				
	ディスプレイ	サイズ	43インチ	
			6言語(日 英 独 仏 西 伊)	
	パネル			
	音源	- 百四 		
	谷主物	吕 赤 万 式 是 十 同 時 祭 辛 物	128	
	元日奴	ボイフ数	116 ボイフ + 34 ドラム /SEX キット + 480 XGボイフ	
音源/ボイス	プリヤット			
	2221	ボイスタイプ	28 クールボイス, 19 ライブボイス	
	対応フォーマット	\\	XG, GS(再生専用), GM, GM2	
	パート		ライト1, ライト2, レフト	
	リバーブブロック	7	44 プリセット + 3 ユーザー	
	コーラスブロック	7	71 プリセット + 3 ユーザー	
エフェクト	 DSPブロック		283 プリセット + 10 ユーザー	
	マスターコンプレッサー		5 プリセット + 5 ユーザー	
	マスター EQ		5 プリセット + 2 ユーザー	
		スタイル数	230	
		スタイルタイプ	208 プロスタイル, 12 セッションスタイル, 10 DJ スタイル	
	プリセット	フィンガリング	シングルフィンガー、フィンガード、 フィンガードオンベース、マルチフィンガー、 AIフィンガード、フルキーボード、AIフルキーボード	
伴奏スタイル		スタイルコントロール	イントロ×3、メイン×4、フィルイン×4、 ブレイク、エンディング×3	
	その他特長	ミュージックファインダー (内蔵を含む最大レコード数)	1,200	
		OTS(ワンタッチセッティング)	各スタイルに4種類	
	対応フォーマット		スタイルファイルフォーマット(SFF), スタイルファイルフォーマット GE (SFF GE)	
	プリセット	内蔵曲数	4 サンプルソング	
		トラック数	16	
録音/再生	録音	データ容量	1曲約300KB	
(MIDIソンク)		ファンクション	クイック録音, マルチトラック録音	
		再生	SMF (フォーマット0 & 1), XF	
	フォーマット	録音	SMF (フォーマット0)	
フリイパッド	プリセット	マルチパッドバンク数	179バンク×4パッド	
マルナハット	オーディオ	オーディオリンク	0	
		ハーモニー	0	
ファンクション		アルペジオ	0	
	音源/ボイス	パネルサステイン	0	
		モノ/ポリ	0	

		スタイルクリエーター	0
	スタイル	スタイルレコメンダー	0
		OTSインフォメーション	0
		ソングクリエーター	0
		譜面表示	0
	ソング	歌詞表示	0
		テキスト表示	0
		ガイド	フォローライツ、エニーキー、カラオキー、ユアテンポ
	マルチパッド	マルチパッドクリエーター	0
	レジストレー	ボタン数	8
	ションメモリー	コントロール	レジストレーションシーケンス、フリーズ
ファンクション	USB	録音時間	80分/曲
	オーディオ	録音	WAV (44.1kHz、16bit、ステレオ)
	プレーヤー	再生	WAV (44.1kHz、16bit、ステレオ)
	デモ		0
		メトロノーム	0
		テンポ	5~500
		トランスポーズ	-12~0~+12
	全体設定	チューニング	414.8~440.0~466.8 Hz
		オクターブボタン	0
		スケール(音律)	9タイプ
	その他	ダイレクトアクセス	0
世祖(エクフパシ)	エクスパンション	 ソボイス	 ○(最大約32MB)
払張(エンスハン)	エクスパンション	ソスタイル	○(QQ)(N)SE(NE) ○(内蔵メモリー)
	±) / ())]]	内蔵メモリー	○((引成)(ビジー)) ○(最大約2MB)
	メモリー	外付けメモリー	
			16V
		<u> </u>	フテレオ煙進フォーン端子
メモリー /接続端子			
	接続端子	001101	1(サフテイン) 2(辛号)
		FOOT PEDAL	アサイナブル
		USB TO DEVICE	0
		USB TO HOST	0
	アンプ出力		15W×2
アンブ/スピーカー	スピーカー		12cm×2
	電源	電源アダプター	PA-300C (またはヤマハ推奨の同等品)
電源	消費電力		15W
	オートパワーオス	7	0
付尾品			取扱説明書(本書)、電源アダプター (PA-300Cまたはヤマ ハ堆粉の同等品) 電源コード 保証書 護商立て メン
니니바이나			バー製品ユーザー登録のご案内、和文シート
別売品			電源アダブター: PA-300Cまたはヤマ八推奨の同等品 ヘッドフォン: HPH-50/HPH-100/HPH-150 ソフトケース: SCC-53 フットスイッチ: FC4/FC4A/FC5 フットコントローラー: FC7 iPhone/iPod touch/iPad用USB MIDIインターフェース: i-UX1
			USB無線LANアダプター:UD-WL01 キーボードスタンド:L-6/L-7 (PSR-S670は、L-6の組立説明書で記載しているサイズを超えていま すが、問題なくご使用いただけることを安全性試験で確認しています)

※ この取扱説明書では、印刷時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウ ンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

[+/YES][-/NO]ボタン	.21
[] ▲▼]~[8 ▲▼]ボタン	.22

Α

ABリピート	
ACIMP	
AUDIO VOLUME	
(オーディオ音量)	71
AUX IN	

в

—	
BAR(小節)	19
BEAT(拍)	19

С

CHORD DETECTION AREA	56
CMP(マスターコンプレッサー)	87
CONFIG1	
(コンフィギュレーション1)	95
CONFIG2	
(コンフィギュレーション2)	95

D

DJスタイ	ル	46
DSP		40

Е

EFFECT(エフェクト)	37
EXIT	21

F

-	
FILTER(フィルター)	

G

GM	
GS	

L

iPhone/iPad	93
iPhone/iPad接続マニュアル	2

L

LIVE CONTROLノブ	19
----------------	----

Μ

MENU1/MENU2	24, 95
MEQ(マスターイコライザー)	87
MIDI	95

Ν

-	-	
Ν	JEXT(ネクスト)	60

0	
OTS(ワンタッチセッティング)	.50
OTSリンク	.51
OUTPUT	.89

Р

S

SFF (スタイルファイルフォーマット)9

т

U

USB		95
USB機器		91
USBフラッシュメ	モリー9	91
USB無線LANアタ	ヺプター	
		95
USER(ユーザー)		59

Х	
XF	 9
XG	 4

あ

アッパーオクターブ	19,	36
アルペジオ40,	42,	95

い

-	
イコライザー (MEQ)	
一時停止	60, 71
移動	

え

エクスパンションパック	
エコー	40
エフェクト	
エンディング	

お

オーディオファイル	18,69
オーディオプレーヤー	69
オーディオリンクマルチパッド	76
オーディオ録音	72
オートパワーオフ	15
オーナー	95
音量(オーディオ)	71
音量(マスターボリューム)	
音量バランス	54, 72

か

カーソルボタン	20
ガイド	63
歌詞	62
カット	29

<

•	
クイック録音	
くり返し再生	71

け

携帯音楽プレーヤー	
言語	
鍵盤パート	

Ζ

コード	18, 49
コード鍵域	56
コードチューター	50
コードフィンガリング	95
コードマッチ	75
効果	40
コピー	28
コンピューター	
コンピューターとつなぐ	2

Ċ	
削除	

١.

0	
システム	95
自動伴奏(スタイル)	45
仕様	101
小節(BAR)	19
初期化	31
初期化(USBフラッシュメモリー	-)92
シンクロスタート 46, 47,	60, 75
シンクロストップ	47

す

スケールチューン	36, 44, 95
スタート/ストップ	47
スタイル	
スタイルクリエーター	
スタイルセッティング)	
スタイルファイルフォーマ	ット
(SFF)	9
スタイルリトリガー	
スタイルレコメンダー	52
スピーカー	
スプリットポイント	19, 55, 95

Ħ

セクション(スタイル)	48
接続	88

z

た

ダイレクトアクセス	22
ダイレクトアクセスチャート	96
タッチ感度	43
タップテンポ	49
タブ(TAB)[◀][▶]ボタン	21

ち

- チャンネル	53, 63
チューニング	
チューン	

τ

-	
データダイアル	20
データリスト	2
テキスト	62
デモ	
電源	14
電源アダプター	14
テンポ	19, 48, 61

ح

ドラムセットアップ57
トランスポーズ19,36

な

は

ハーモニー	. 40,	95
拍(BEAT)		.19
バックアップ	. 32,	95
パネル設定		.13
早送り	. 60,	71
早戻し	. 60,	71
パラメーターロック		.95
バランス	. 54,	72

ぴ

- ピッチ(音の高さ)		36
ピッチベンドホイ	ール3	37

ふ

ファイル		.25
ファイル選択画面		.23
ファンクション		.94
ファンクションリスト		.95
フィルイン		.48
フィルター		.87
フィンガリングタイプ		.49
フェードイン/フェードアウト		
	48,	61
フォーマット		9
フォーマット		
(USBフラッシュメモリー).		.92
フォルダー		.27
付属品		9
フットペダル		.95
譜面		.61
フリーズ	85,	95
プリセット(PRESET)	24,	59
フレーズマーク		.61
フレイク		.48
プロテクトソング		.25

ヘッドフォン16

ほ

ボイス	18,	33
ボイスセッティング		.95

ま

マスターイコライザー (MEQ)	87
マスターコンプレッサー	87
マスターチューン	36, 95
マルチトラック録音	67
マルチパッド	18, 74
マルチパッドクリエーター	77, 95

ን

ミキサー86 ミュージックファインダー78

む

無線LAN	

め

メイン画面	18
メッセージ	23
メトロノーム	35
メニュー 1/メニュー2	24, 95

ŧ

文字入力	
モジュレーションホイール	37
戻る	21

ゆ

ユーザー (USER)	
ユーティリティー	

5

ライブコントロールノブ		19
ランプ48,	75,	84

b

-		
リアパネル	13,	88
リストア		.32
リセット		.95
リファレンスマニュアル		2

n

レイヤー	4
レジストバンク8	4
レジストレーションシーケンス	
	5
レジストレーションメモリー 18,8	З
レパートリー	1
レフトホールド	5

ろ

録音(MIDI)	66
録音(オーディオ)	72

わ ワンタッチセッティング(OTS)50

メモ

メモ

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマ ハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。 保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い 上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書 をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理さ せていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化 しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となりま す。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご 相談センターへご相談ください。

ナビダイヤル (全国共通番号)

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、 接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパットなど

- 補修用性能部品の最低保有期間
 製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、
 製造打切後8年です。
- 持込み修理のお願い まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度 お調べください。 それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最 寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわ せて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

 ・
 0570-012-808

 ・
 ・

 ・
 ・

 通話料金は音声案内で確認できます。

 上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830へおかけください。

 受付時間
 月曜日~金曜日 10:00~17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

 FAX
 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
 03-5762-2125

 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)
 06-6465-0367

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日~金曜日10:00~17:00(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く) * お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX 03-5762-2125 西日本サービスセンター 〒554-0024 大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F FAX 06-6465-0374

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

キーボードの仕様や取り扱い ご購入の特約店または下記ヤマハ お問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター



※固定電話は、全国市内通 通話料金は音声案内で確

上記番号でつながらない場合は 1 営業時間:月曜日〜金曜日 10:C (土曜、日曜、祝日およびセンタ-

http://jp.yamaha.com/supj

ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ http://jp.yamaha.com/

ヤマハ ピアノ・鍵盤楽器サイト http://jp.yamaha.com/kbd/

ヤマハ ダウンロード http://download.yamaha.com/jp/

ヤマハ 音楽データショップ http://www.music-eclub.com/musicda

ヤマハ株式会社 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町

●都合により、住所、電話番号、名称、営業時間あらかじめご了承ください

